夕刊 滿洲日報 五月八日

義務教育費增額案は十五名の委員に附託
田中文相より提案理由を說明
けふの貴族院本會議

【東京八日發電】いよ〳〵本舞臺に入つた貴族院は八日更に現內閣の大看板義務教育費增額案を迎へて一段の活氣を呈す、諸般の報告あつて午前十時十分開議、德川議長は日程を變更して第二より第七を先づ上程することを諮り直に

一、市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案(政府提出、衆議院送附第二讀會)

を上程、田中文相の提案理由の說明あつて質問に入り

消費稅か直稅の輕減が必要
森田氏義教案に反對

森田福市氏(交)登壇

一、今日の農村の不況は政府が農民の收入を減ずる政策を執つた結果であるから之を救ふには先づ消費稅か直接國稅を減ずべきではないか、僅か一千萬圓の教育費增額では何にもならぬ

一、將來如何にして地方の負擔を輕減するか

一、增額の財源たる歲入の見積は過大ではないか

一、文部省が小學教員の初任級引下げ反對の通牒を發したといふのは眞實か

一、減俸案は何故企て又何故止めたか

この增額は結局地方の負擔輕減

濱口首相

一、政府は農村の收入減を圖つたことはない

一、この增額は結局地方の負擔を輕減する、しかし減稅についても考慮してゐる

一、今後更正豫算に依りて負擔を輕減する方針である

一、歲入見積については委員會で申上げる

一、減俸の企圖は政府の緊縮政策の方針を示すものであつたが、輿論に鑑みて見合せた

田中文相 初任給引下げ反對の勸告を發したことは事實である

森田氏

一、一般の收入が減つてゐるのであるから官吏の俸給も減らすのが當然と思ふが如何

一、專門學校を出た者すら四十圓五十圓で就職してゐるのに地方費で就學した小學教員が從來通りの俸給を取るは寧ろ不合理ではないか

と喰つてかゝるが首相、文相答へず、次に

中村氏の質問脫線

中村純郞九氏(交)登壇 (施政方針に對し)く〳〵と何事かつぶやき續けるが少しも徹底せず、耐りかねた德川議長は「本案に對する質問に限ります」と注意する

一、本案は小橋君の文相在任中に發案されたものであるが、果して然らば動機に不純なものがある

一、かゝる重大案を何故短期の特別議會に提出しなければならなかつたか

(といふ意味らしい繰事を並べたかと思ふ途端に質問は大脫線して統帥權問題に轉じ)軍令部長が職を賭して反對してゐるのに政府のみの意見で回訓を發するとは怪しからぬといふや、議長は「君の質問は本案とは關係ないから注意します」と注意するも中村君「えへん」と咳ばらひして一向平氣、折角の議場はすつかりだらける

選擧の道具に使はぬ

濱口首相

一、小橋君の問題と本案とは關係がない、選擧の道具に使つたのではないかといはれたが政府は決してそんな不誠實な政治はやらぬ

一、今日のやうな財政難に際し負擔輕減の必要はないと申されるが、それは見解の相違である

一、明年度も一千萬圓を增額するといふやうなことは今から申されぬ

中村氏 一千萬圓を增額しても年々學級數が增加するから之を以て地方が減稅に當てる譯に行かぬではないかと迫り文相と押問答の後、中村氏減俸問題と本案の關係を質し、井上藏相關係なしと答へ代つて

一大行政整理の斷行が急務
政府に其意思ありや

高橋琢也氏(交)登壇 政府は本問題を大變重大視されてゐるやうであるが、それほど重大なれば何故一大行政整理を斷行して二千萬圓なり三千萬圓なりを增額されぬか、一體政府は行政整理をやる氣であるか(とて減俸問題、產業合理化問題、失業問題、思想問題等について政府の施設を論難し)首相は最も緊急を要する問題を先にすると言明してゐるが、然らば政府は本案を以て現下の失業問題並にそれに依つて一層激化されつゝある思想問題より重大視してゐると見る外はないが、それで差支へないか

濱口首相

一、官廳の事務改善には今後大いに努力する

一、救護法の實施については充分講究する

一、地方の窮乏は負擔が多過ぎるためで之を緩和することが最も緊急の問題である

林伯の動議で委員附託

此時林博太郎伯發言を求め

林伯 本案は重大案であるから特別委員數を十五名とし議長より指名されたい

との動議を提出し滿場異議なく賛成依つて議長は近衞文麿公以下十五名を指名す、次に日程を續け

一、輸出、補償法案

一、賠償金特別會計法中改正法律案

一、製鐵所特別會計において大藏省預金部又は日銀、正金、興銀に對する債權を受くることに關する法律案

一、關稅定率法中改正法律案

一、朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案

をいづれも委員に附託し

律案

を委員長報告通り原案可決零時二十一分散會

兵力量決定權と陸軍の態度
質問に對し冷靜沈默

【東京八日發電】兵力量決定の憲法上の解釋につき政府は明確なる答辯を避けてゐるが內實においては兵力量の決定は政府の**專管事項**なりと確信し居り將來も實際上この方針を實施すべきことは今回のロンドン會議の回訓における經緯に見ても明かである、これが實際問題として將來如何なる結果を生むかは重大問題であるが、海軍の場合は政府が兵力量を決定するとしても兵力量の根本は國際會議で大體協定されてゐるから實際上政府がこの權能を行使する場合は當分皆無と見てもよい、從つて實際問題として大なる影響はないとの見解も取り得るが、陸軍の場合は之と異り兵力量は各國の自由なる方針に依つて決定されるのであるから政府が必要と認めたる場合實際に兵力量の變更をなし得る譯である、從つて現に目前に迫つてゐる**軍制改革**に對しても實際問題としては宇垣陸相の在る限り制度や解釋がどうあらうとも政府の壓迫は受けまいが極端にいへば師團半減も政府がなし得るといふことゝなるのである、陸軍が今期議會で「陸軍の兵力量も政府が決定すべきものである」との結論に押詰めやうとする質問に對し冷靜鐵の如く沈默を守つてゐるのもこの陸海軍兵力量決定上の實質的な相違性に立脚するものであつて、いづれの政黨に依つて組織された政府であらうとも政府が萬一前記の解釋に基づいて强壓態度に出づる場合があれば敢然政府と抗爭することを避けざる決心である、而して陸軍が斯くの如く政府の兵力量決定權把握を**嫌忌する**のは實情に通ぜざる政黨政治家が政爭を通じて兵力量を左右することは國防を全うする所以に非ずとする信念に據つたものである

財部全權けさ着哈
日、支、露官民多數の歡迎裡に
今夜滿鐵公館に一泊

【ハルビン特電八日發】ロシヤが特に財部全權一行のため專用貨車を連結し國境滿洲里もこれまでのレコードを破つて乘換せず國境を通過し一行の第二二九號車は八日午前八時卅五分黎明の鳴をつげて全市に鳴るロシヤ寺院の鐘の音のうちに八木總領事、本省より出迎への古賀大佐、澤田特務機關長、細木少佐、軍司滿鐵、加藤商議會頭、岩永文化協會、窪田事務官、松島總督府事務官、小川署長、鈴木民會長代理、山田商議書記長、在哈新聞記者團その他官民多數、支那側からは張行政長官東鐵露支幹部メリニコフ・エムシヤーノフ・ルーデイ氏等の盛なる出迎へを受けたが財部夫人の顏は常になく晴々しく見え在哈邦人婦人會、白百合會の主なる人々と驛頭での挨拶を交してゐたのは人目を惹いた、財部全權は夫人、軍醫、副官と共に滿鐵公館に入り今夜一泊することになつたが全權夫妻は長途の旅行に花らしきものを見なかつたので庭園に今を盛りと咲き誇る桃の花を眺めてホッとした

輕率に進退しない
財部全權辭職說を否定

【ハルビン特電八日發】現在注目の的となつてゐる財部全權の進退問題につき眞意を質すと財部全權は政府が國家全權としての廣い見地から是なりと信じて調印した以上、假令不滿な點があつても之を基礎として最善の手段を講じ國防を全うしたい予一個の毀譽褒貶は度外視してゐる決して一時の快を得るため輕率に進退しないと暗に辭職說を否定してゐる

古賀副官と車中で密談

【ハルビン特電八日發】財部全權は途中出迎への古賀副官と約一時間にわたり車中夫人を退け秘密談を試みたが問題一身の解決は京城で齋藤總督と會見後の模樣、滿鐵理事公館に入つた全權夫妻はけふ休息をも取らず入浴後は總領事館から送つて來た新聞に目を通してゐた

東鐵沿線邦人送迎

【ハルビン八日發電】財部全權は滿洲里よりハルビンへの途中四月二十日以來の日本各新聞を興味深氣に讀み耽り東鐵沿線邦人の歡迎を受けつゝ元氣で八日午前八時官民多數の盛大な歡迎裡にハルビン着、尙財部夫妻左近司中將樺山伯以下四名はハルビン、京城に各々一兩日滯在し東京着は十六、七日頃となる豫定である

高松宮さま新嘉坡に御上陸
總督御機嫌を奉伺

【鹿島丸八日發電】鹿島丸は八日未明新嘉坡港外に到着した、午前九時新嘉坡總督サー・セシル・クレメンティ氏は鹿島丸を來訪高松宮、同妃殿下の御機嫌を奉伺し兩殿下には午前九時二十分御上陸直ちに總督邸を御答訪遊ばされたる後邦人小學校に台臨、在留邦人の奉迎を受けさせられ日本會評議員に謁を賜ひたる後兩殿下にはジヨホールを經て護謨園に成らせられ總領事館における午餐後植物園等を御視察午後八時十五分總督官邸の晩餐會に御臨席同夜十時御歸船あらせらるゝ筈

けふの寫眞

(上)皇太后陛下には大正天皇神避りましてより四ケ年青山東御所にお住ひ遊ばされてゐたが、六日午前十一時新たに御造營成れる大宮御所へ御引移り遊ばされた、お寫眞は新御殿御着の皇太后陛下(下)皇后陛下には五日午前十時青山檜田原の憲法記念館構內で擧行された日本赤十字社第三十八回通常總會に行啓、會員一同に對し優渥なる令旨を賜つた、お寫眞は中央皇后陛下、左は閑院總裁宮殿下、右は德川會長

海相不在中の事務報告に來た
副官として出迎へるは當然
出迎への古賀副官談

【ハルビン特電八日發】財部全權を迎へた後、古賀副官は別に緘口令に來たのではない東京を立つ時、各新聞記者諸君からその樣に報道することがニウスの價値があるとして傳へられたので副官としては當然、迎へねばならぬから來たまでだ、全權は京城一泊の豫定であるが齋藤總督夫人が、財部夫人と會ひたいといふことでもあり、かつ通過に際し素知らぬ顏をして行けぬからでもある、何分、五ケ月間の海相の不在で色々の要件あり打合せはした、軍令部長の說服は高等政策に參與せぬ私には分らない、矢吹海軍政務次官が京城に來るといふことは知らぬ來るとすれば出迎へに過ぎぬと遁げたが財部全權の最後の肚は京城で齋藤總督と會見の後に決定する模樣で京城の會合は注目さる

日本婦人も今後世界的に活動
財部夫人靜かに語る

【ハルビン特電八日發】財部全權の一行はボーイスカウト日支官憲の出迎へをうけて安達まで出迎へた古賀大佐と共に着哈直に滿鐵理事公館に到り休憩する間もなく多數の露支有力者の訪問をうけ軍縮會議に就て詳細說明を行つた、門前には特に支那側から派遣された巡警が嚴重警戒してゐた、車中に往訪せる記者に對し財部全權は四月二十日以後の新聞に目を通しながら「ヤー議會でやつてゐるな」と大きな聲を出して「東京へ歸つたらこきまわされるぞ、一つ元氣をつけやう」と夫人に風藥を出させ飲んだ後默つて讀みつゞけた、傍らの夫人は旅の疲れも見せず靜かに語る「英國の婦人は初めはちよつと交際惡いとの話であつたが松平夫人の御紹介で初めから非常に親しくして頂いて大變愉快でした、マック首相の令孃とも往來しましたがお年は二十七歲だが大變しつかりした立派な人でした、外國に出るのは初めてゞしたが、辛いことばかりでした、英國議會も見物しました、大變靜かなものですね」と洩らし日本議會の亂鬪騷ぎで論難されてゐる夫の身の上を案ずるやうであつたが「之から日本婦人も世界的に活動するやう教育し氣をつけねばなりませぬ」と結んだ【寫眞は財部夫人】

鮮人問題を討議
吉林全省行政會議

【吉林七日發電】吉林省政府主催の第二次全省行政會議は省政府樓上廣間にて去る五日より開會され張作相主席を首めとし、各省政府委員、各機關の領袖及び各縣長並に乾安設治員等合計五十餘名參加し會期は約十日間である、因に前回の會議に提出された議案は百二十七件其中討議されたのは八十九件であり多くは地方的問題で餘り注意を惹くものがなかつたが今次の會議は間島一帶の朝鮮人問題が議題に上される模樣で注目されてゐる

蒙旗諸問題提出

【吉林七日發電】東蒙古郭爾羅齋斯王は今次の吉林全省行政會議に對し蒙旗の諸問題を提議すべく目下城內官銀號內に止宿中であるが省政府では齋王の歡待に大童である

浮び上つた舊直隷派の將領
打倒蔣介石氏に蹶起

【天津特電七日發】舊直隷派の復活を一身に負つて江北招撫使に就任した齊燮元氏は次の如く部下を任命した

總參議 師景雲(前曹錕秘書長)
祕書長 陳宗遠(前國會秘書長)
參謀長 楊文愷(前農商總長)
財政長 張志潭(前內務總長)
軍法長 劉玉春(前吳軍師長)

右の顏觸はすべて舊直隷派の御大揃ひ五ケ年振りに浪人から浮び上つたことをハツキリ現はしてゐるこれ等の人々は鄭州へ旅行中だが齊氏は早くも就職の通電を發して南京政府打倒を宣言し「今や垓下の楚歌を聞く重ねて江東の父老を煩めむ」と更に結びつけて江蘇督軍の復活に萬丈の氣焰を揚げてゐる、また張學良氏の代表と自稱して入津した孫傳芳氏は頻りに舊部下及び山西側と聯絡を取つてゐたが愈々閻錫山氏から齊氏の江北に對して江南招撫使に任命されることとになつた、近く當地において就任し同じく南京政府打倒を叫んで浙江を目標に進むことにならうが北支那ではこの兩招撫使に對して注目を擁つてゐる

奉軍辦事處
灤縣城內に設置

【山海關特電七日發】奉天軍が灤河以西へ進出したとの說が再び喧しく傳へられてゐるが全然事實無根である、但し張學良氏は南北開戰近しと見て灤州方面を殊に注意し東北軍辦事處を灤縣城內に設け處長に李森芳氏を任命した

反蔣派の進擊期
閻氏太原歸着後

【天津特電七日發】鄭州に於ける閻馮兩巨頭の軍事會議につき當地支那側にては次の如き諸說を傳へてゐる

一、閻馮兩氏は二週間鄭州に滯在し然る後馮氏は前線に赴き戰爭を指揮し閻氏は北平に入りて中央の事務を執ると同時に汪精衛氏も北上して黨の問題を解決するであらう一般の觀測では北方革命政府は閻馮汪を中堅として遲くとも五月末頃成立するであらう

二、軍事會議は近く終了するが閻錫山氏は直ちに太原に歸るべく政府組織問題は戰爭終了後とならう、同氏太原歸着の日が前線に火蓋を切るの時である

莫全權一行イ市到着
熱狂的歡迎裡に

【ハルビン特電六日發】五月一日ハルビンを出發しモスクワの露支正式會議に向つた莫德惠全權一行は四日午後六時頃イルクーツク市に到着しソウエート側首腦者から熱狂的の大歡迎を受け同時にモスクワのリトヴイーノフ及カラハン全權からは一行を歡迎する旨の祝電を受取つたと

人事

▲陸大生一行五十六名 教官牛島少將に引率され八日入港うらる丸にて來連
▲女子藥專四十五名 同上
▲旅順師範學生三十名 同上
▲雙葉女子師範百二十名 同上
▲新庄清一氏(大阪商船專務) 同上
▲長澤奎五氏(關東廳土木課大連出張所長) 八日入港大連丸にて歸連

大觀小觀

初夏、新綠の候、秩父宮殿下の御英姿を拜す。ただ感激と申すの外なし。

◇

高松宮殿下、同妃殿下、今朝九時、新嘉坡に御上陸。

◇

財部全權、今朝、ハルビン着。

◇

時局の人だけに、その一擧一動が問題にされるのは已むを得ぬ。

◇

が、ただ少しく健康を害し、ハルビン、京城等に一泊するを餘儀なくせらると。

◇

若槻全權も、歐洲を旅行しつつあるが、少しく健康を害してゐるといふ。

◇

すべての問題は時が解決する。

天氣豫報

九日(南西の風) 曇時々雨模樣
滿潮 午前七時二十五分 午後七時五十分
干潮 午前一時五分 午後一時二十分

遙けき海路御恙なく 秩父宮殿下けふ御着連

陸大生と御ともぐうらる丸で 初めて拜すそのお姿

五月の空に若葉風吹くけふのよき日、われらの御待ち申し上げた秩父宮殿下には陸大生の御資格を以てうらる丸にて御來滿遊ばされた、朝來薄曇りの空に夜來の風波おさまり大連港内は各船とも三欄旗を掲げて敬意を表し奉つた、水先案内船鐵島丸は中尾水上署長、中川埠頭副長、長沼憲兵分隊長、佐藤陸軍運輸部出張所長、高橋關東軍參謀、日下關東廳文書課長及び新聞記者を乗せて午前七時甲埠頭を離れ港外に殿下をお出迎へ申し上げた、見渡せば三山島の山々は朝靄に霞み水上署の警邏船平安丸、遼海丸及び海務局の檢疫船金州丸ほか二隻は港外を航行して水上御警戒の任についてゐる、既にうらる丸は三山島沖に姿を見せ、黃白鷹を過ぎて午前七時半寺兒溝沖の港外に着く、鐵島丸より拜し奉れば前甲板のブリッヂよりカメラを御手に大連港内を御撮影遊ばさる御姿こそ、滿洲の地にて初めて拜し奉るわれらのお慕ひ申し上げる秩父宮殿下である。

赤誠溢るゝ奉迎裡に 第一歩を印せらる

埠頭待合所貴賓室において 畏くも有資格者に拜謁を賜ふ

うらる丸が港外に到着する頃より宮殿下には前甲板のブリッヂにあらせられ、岡本船長より展開しゆく大連港風景につき御説明を聽し召されつゝ埠頭を御展望あらせられるうちに、うらる丸は豫定の如く滿埠、太田關東長官、關東軍司令官代理三宅參謀長、滿鐵總裁代理大藏理事、三上副官、小林長官秘書官、鐵島總裁秘書役は船内に進み殿下御部屋に伺候して御機嫌を奉伺した、やがて午前八時三十二分宮殿下には

陸軍大尉 の通常軍服にて御部屋を出でさせられ、舷側まで岡本船長の御先頭にて悠々御上陸遊ばさる、神戸よりお伴申し上げた新庄商船專務、岡本船長以下船員一同及び御同船の光榮に浴した船客一同は甲板に整列してお名殘惜氣に殿下の御下船を奉送するうちに、宮殿下には秋山埠頭長の御先導、宇佐美鐵道部長の御誘導にてブリッヂを渡らせられ、岸壁に堵列して奉迎申し上げる學生團に

御會釋を 賜ひつゝ滿洲の地に第一歩を印せられた、太田長官以下扈從申し上げ宮殿下には埠頭待合所貴賓室に入らせられ、こゝにて關根、神鞭、大藏滿鐵各理事、高柳中將、佐堂中將、岩井少將、内藤少將、水谷大連民政署長、田中市長、恩田市會議長、服部滿鐵囑託に單獨拜謁を賜ひ、次いで待合所に整列した有資格者約八百名に對し

列立賜謁 あり、待合所通路の兩側に堵列した小學生、待合所前の少年團、女學生らに御會釋あらせられつゝ御見學の御日程に移らせられた

埠頭ビルから 港内御展望

市川次長の御講演を御聽取

埠頭ビルに入らせられた宮殿下には第三號エレベーターにて屋上に昇らせられ陸大生と共に市川鐵道次長の「大連港に就いて」の御講演を御聽取あらせられたが、宮殿下には設けの椅子にもよらせられず全く陸大生としての御資格で學生團の中央に立たせられ御熱心に御講話申し上げるのを御聽取、更に市川次長が五萬分の地圖によつて大連港を一々御指示して前後約二十分間に亘り御説明申し上げた

直ちに大連神社 忠靈塔に御參拜

滿蒙資源館へお成り

埠頭ビルを出でさせ給ふた宮殿下には先驅の自動車に次いで滿鐵より差し廻しの大連一號の自動車ロールスロイスに召され、本間御附武官御陪乗、太田長官、三宅參謀長、大藏理事、中谷警務局長以下乗合自動車三臺に分乗して港橋を山縣通大廣場へと御順路大連神社に向はせられた、アカシヤの新緑に爽々しい街々の御沿道には各學生團體及び

一般市民 が堵列して奉迎申し上げるうちを殿下には一々御會釋を賜ひ、民政署前には署員および市吏員、大連醫院前には白衣の看護婦が堵列し奉迎送申し上げた、宮殿下には九時二十分過ぎ大連神社に御到着、一ノ鳥居より御下車あらせられ、水野神官の御先導にて參道を進ませられ、拜殿前に御起立御拜あらせられて御退下、青葉に風薫る中央公園に自動車を進めさせられ、田中市長の御先導にて忠靈塔下に御參拜畏くも地中に眠る英靈を親しく弔はせられ、田中市長より附近の情景について種々御説明申し上げた、宮殿下には次いで御道を中央公園を拔けて

電園下へ 連鎖商店の外觀を左に眺めさせられつゝ西通りから伊勢町を經て午前十時兒玉町の滿蒙資源館へ成らせられた、館前には村上館長以下職員一同の奉迎裡に館内へ入らせられ、滿蒙の地質に就き村上博士より、また農業について松島滿鐵農務課長よりそれぞれ御説明申し上げるところがあつた

資源館員に 酒肴料下賜

秩父宮殿下には八日午前十時陸大生と共に滿蒙資源館にお成りの砌お附武官を通じて村上館長へ資源館關係員一同に對する酒肴料を賜はつた

あすの御日程

秩父宮殿下九日の御日程は左の如くである

九日午前七時二十分ホテル御出發、大山通、日本橋を經て大連驛着御、七時三十分特別列車にて御發旅順へ向はせられる、滿鐵よりは藤根理事、宇佐美鐵道部長、藤井、林兩秘書役、草場囑託將校等御陪乗、八時四十分旅順驛御着、有資格者に驛貴賓室にて賜謁、同九時三十分白玉山納骨祠御禮拜、途中在鄕軍人青訓生徒、學生等を御親閲遊ばさる、納骨祠前にては關東軍三宅參謀より御講話申上げ、同十時三十分戰利品陳列館にお成り本田德太郎氏の御説明を御聽取遊ばさる、同十一時五十分黃金山にお成り、久保田海軍中佐、松崎一等機關兵曹より日露戰役に殊勲を立てた閉塞隊の行動について御説明申上げ、午後一時二十分東鷄冠山砲臺にて御晝食を攝らせられる、同二時より同砲臺にて村田歩兵大佐、河村砲兵大佐、大塚砲兵大佐、中村少將、細川砲兵少佐の各專門家の御講話を聽取、右終つて御下山同六時三十分、偕行社における畑軍司令官の御招待宴に御臨席遊ばされ同夜は旅順ヤマトホテルに御一泊

華工に近づかせられて 御熱心に御覽

日清油房にお成りの宮殿下

滿鐵社員倶樂部で御晝餐

滿蒙資源館を出でさせられた殿下には山縣通を日清油房に成らせられ古澤專務以下社員の奉迎裡に御着、丸粕工場前にて古澤專務より大豆の出廻りに關し地圖を以て御説明申し上げたのち古澤專務の御案内にて丸粕工場内にて平常と何等變らぬ華工の作業狀態を御覽、畏くも陸大生と共にいと御氣輕に作業をする華工に近づかせ給ひ御熱心に御覽あり御興味深げに拜せられた、次いで精製工場にて精油の見本より圖解による油房作業を御聽取あり、二階の精製アルカリタンク、三階の脱色、脱臭タンクを御覽あつて種々御下問あり一時間近く御見學あらせられて正午油房を御發、順路大連滿鐵社員倶樂部に向はせられたが、滿鐵本社前には滿鐵社員が整列して奉迎申し上げた、宮殿下には倶樂部第二集會室に於て御晝餐を召させられた

午後の御動靜

大連滿鐵社員倶樂部にて御晝食、御小憩遊ばされた宮殿下には午後零時五十一分御發、大連窯業會社、中央試驗場、大連工場を御見學後御親閲式に臨ませられ大連運動場を經て再び社員倶樂部に成らせられ午後の御日程を終らせられて、滿洲館の滿鐵總裁の御招宴に臨ませられヤマトホテルに御假泊あらせられる

御着連の秩父宮

写眞

(1)大連埠頭に第一歩を印せられた殿下
(2)埠頭ビル屋上において市川鐵道部次長から陸大生と御同列で說明を聞召される殿下(前列向つて右からお二人目)
(3)大連神社御拜(寫眞右から中谷警務局長、仙石滿鐵總裁代理の大藏理事、三宅參謀長、太田關東長官、御先導は水野大連神社々司
(4)忠靈塔に御拜の殿下
(5)港橋附近に奉迎の女學生

殿下の御機嫌

太田長官から それぞれ打電

秩父宮殿下御上陸と共に御機嫌麗しく市内各箇所を御視察遊ばされたので太田關東長官は同十一時、秩父宮別當、宮内大臣、拓務大臣宛左の通り打電し御執奏を乞ふた

秩父宮殿下には海上御恙なく本日午前八時三十分大連御上陸、御機嫌麗はしく御豫定の通り各箇所を御視察遊ばさる

陸大生招待會

今夕、滿鐵社倶で

滿鐵では八日午後六時三十分より社員倶樂部に於て陸軍大學教官砲兵中佐孤田康一、同歩兵少佐奈良晃、副官歩兵中佐相良巳都鷹、學校附歩兵大尉本村千代太、宮内曾根田泰治、同溝口三郎の諸氏初め十三名、陸軍大學生五十名合計六十三名を主賓とし晩餐會を催すこととなつたが陪賓として關東軍村上副官、都間憲兵隊副官、朝鮮軍山田參謀、主人側は草場滿鐵囑託將校、同藤原囑託將校、市川鐵道部次長、市川地方部庶務課長、平野學務課長、石井庶務部庶務課長、太田運轉課長、酒井鐵道部庶務課長、清水工務課長、石本情報課長、金井衛生課長、小須田興業部庶務課長、長山主計課長、岡部社會課員等列席、市川地方部庶務課長が滿鐵を代表して挨拶をなす筈である

御歡迎宴出席を御遠慮

軍司令官と總裁

八日午後六時三十分より滿洲館に於て催される秩父宮殿下御歡迎宴の陪席者中、畑關東軍司令官は病氣のため御遠慮申上げることゝなつたが、また主人側の仙石滿鐵總裁も同樣御遠慮申上げることに決定した

滿洲美術家協會 展覽會

十日から開催

滿洲美術家協會會員九十餘名、眞山孝治、平島信、仁林遠信、石田吟松の諸畫伯を擁し、新たに帝展、二科の新進田口正人、佐藤功、福田義之助、竹林愛作諸畫伯を迎えて面目を一新した滿洲美術家協會では、第二回展覽會を來る十日から向ふ五日間大連商工會議所二階で開くが、前記眞山、平島、田口、竹林諸氏初め伊藤順三、石田茂、阿佐見庄三郎、江內豐、池田季藏の諸畫伯は既に各自の力作を搬入し、女流作家の作品も二十數點に達する狀況で今から盛會を豫想されてゐる

志賀庄七ら 有罪と決定

きのふ起訴さる

土地疑獄の中心人物と見られる大連民政署土地係主任志賀庄七氏らに絡る官有土地貸下不正事件は取調一段落となり七日大連地方法院檢察局において志賀氏以下五名を左の如く起訴した

大連民政署土地係主任屬 收賄 志賀庄七
建築設計技師 贈賄詐欺 土地ブローカー 福田忠一
贈賄詐欺横領 土地ブローカー 清野正夫
贈賄 土地ブローカー 川上福市
贈賄幇助詐欺 土地ブローカー 坂本茂市
贈賄詐欺 土地ブローカー 熊谷寛一

修養團向上會

毎月十一日開催の大連修養團向上會は今月に限り二十一日に延期、旅順師範學堂長津川元德氏を聘して開催するが一般多數の來會を歡迎すると

公示催告

大連市榮町四番地 申立人 見元七財

目録
一、船荷證券 壹通
一、番號 伏木壹番
一、發行年月日 昭和四年拾貳月貳拾七日
一、出荷人 札幌市南一條西參丁目 藤井商店
一、荷受人 大連市榮町四番地 見元七財
一、船名 大成丸
一、積荷 (S)小包漉直紙五拾個 拾噸 價格金壹千圓也

以上

右證書ニ付キ前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ昭和五年十一月十日午前九時迄ニ當法院ニ權利ヲ屆出テ且ツ其證書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及ヒ提出ヲ爲サヽルニ於テハ其無効ヲ宣言スルコトアル可シ

昭和五年五月五日

關東廳地方法院

御會葬御禮 安田万次郎

艶色生膽祕譚（105）

伊藤松雄作
河原塚龜太郎畫

品川沖（一）

ヴランヴキーラはフラスコをわきたたせてゐた燒酎火を消し、ぢいつとギヤマン管を見つめてゐた。

波の音は遠くわびしく、夜の更けるにつれ、いつものこと乍ら、邊りはぶきみなほどしづまり返つてゐる。

と、表扉がかるく叩かれた。

「風かな…」

耳を澄ませると、確に人の訪れらしい。

足音を忍ばせ書齋を出たが、家內には誰一人眼ざめてゐる筈はなかつた。

と、再び表扉がかるく叩かれる。いかにもおづ〳〵と、他聞をはばかつてゐるらしい音である。

「ほう、危害を加へやう人とも思はれぬ」

ヴランヴキーラはホッと安心した。

「どなたかな?」

低聲に訊いた。

「あ、先生でござゐか、手前蘭川でござるよ」

「お丶、蘭川殿か…」

ヴランヴキーラは急いでハンドルに手をかけたが、もう一度念を押すやうに、

「宇田川蘭川殿か?」

「はい、ヴランヴキーラ先生、江戸湯島の蘭川でござるよ」

ヴランヴキーラは鍵前をはづした。

ガッタり開いた扉、疲れきつた蘭川が、影のやうにスッと身を入れた。

「先生、すぐかたく扉をおしめ下さいまし」

ひどく慌て丶ゐる。

「もしやと云ふことがござる」

「さやう、近頃は警戒がきびしいでな、併しよくまいられた」

二人はヴランヴキーラの書齋へ入ると、はじめて顔をまともに向ひ合せた。

「蘭川どの、御婦人はどうなさつた?」

「え?」

ヴランヴキーラの唇からお仙のことをいきなりきかれやうとは思はなかつたか、蘭川びつくりした

「こいつアとんでもねえことになつてゐるぞ。いいかげんな饒へごとを云ふよりもいつそ何もかも喋舌ちまつた方がいいかもしれねえ」

さう思つた蘭川、三藏が懷中物をお仙にシテやられて以來のことを息もつかずに述べたてた。

が、さすがに追分宿で一服盛られたことだけは言葉を濁らしてしまつた。

處がヴランヴキーラは一應きき終ると、

「その御婦人の行方いまもつて分りませんか?」

微笑をうかべて訊ねる。

「それが、まア當分は別れやうと云ふことになつて……」

「は、は、は、私知つてゐます、その御婦人は江戸に歸つてゐます…」

「え!」

蘭川はギョッとした。

「ね、ヴラレヴキーラ先生、一體なんでまたあなたは私がお仙と江戸を出奔したことなんぞ御存知なのです?」

「血卍の左近殿、例の三藏二人がたづねて來ました」

「ナ?」

蘭川は自分といふ仲介者をだしぬいて二人が神奈川宿までやつて來たことをきくと一層腹立しくなつたのである。

「それも蘭川殿の行方さがしにな」

「成程」

「處が鐵砲火藥の話半に邪魔が入つてそのまゝお別れ申したが」

「ふうむ——その後は?」

「その後はお訪ねもありません。併し、その後思ひもかけぬ人がやつて來ましたよ、本人ではありませんが」

「ほう?」

蘭川は腑におちなかつた。

踊る幻影

「何が彼女をそうさせたか」を製作して果然注目された鈴木重吉監督と高津慶子のコンビネーションで杉狂兒と共に新興帝キネの代表作品として發聲されたもので物語りはサーカスを背景として、モンタージュ映畫として宣傳され、三木技師のカメラワークは凡ゆるテクニックを驅使し推賞されてゐる、寫眞は杉狂兒の道化師と高津慶子の曲藝團女王メリー【十日から演藝館上映】

アスファルト

新しい名花ベティ・アーマンの出現を高らかに傳へたウーファ映畫九卷、監督は名匠ヨウ・マイである、物語りは二十世紀の文明があはただしく行き過ぎる大都會のアスファルト舖道に咲いた女賊と警官の氣まぐれな戀がまことの相と惱みを描き出してゐる

◆そしてこの一篇の良さはファースト・シーンのオーヴアラップの連續によつて描いて行く夜のベルリンの情景から交通巡査の手が出て群衆の中に女賊エルザに扮したベティ・アーマンをスクリーンに發見するまで

◆次いで興味はベテイ・アーマンの性的魅力であり、そのスクリーンに醸し出されるエロチツクな場面と惱ましい男と女の爭ひの相である、而もその取扱ひが日本人の氣持に一脈相通ずるところに親しみを覺える作品であり、ベテイ・アーマンを樂む一篇である【次週常盤座上映】

キネマと演藝

嘆話

協和會館はいよ〳〵近く一部改築に着手するが▲外廓から工事を始めるから五月一杯はまだ催し物に使へることになつた▲常盤座の專屬樂團團員は大阪で約二十名ほど集つたと本間監督から通知があつたとのこと▲何のかのと言つても此頃の滿洲は浪曲全盛で噂のあつた篠田實の來演が確定▲細屋高尾のレコードで賣出してゐるだけ期待されてゐる

▲五月六日　協和會館で平間文壽氏の獨唱會、主催者の準備に手落ちがあつた爲に淋しかつたのはお氣の毒である、會は九時にもう散會になつたので聽衆は名殘り惜しそうに歸つて行つた、演藝館の「何が彼女を……」を見に旅順映畫協會の山口氏が來連、常盤座へ行くと長春日活社の森氏が來てゐる、バレてから「アスファルト」の試寫、ベテイ・アーマンが素晴らしい長いまつげで惱ましてゐる、內地のプリントで甚だ巧みにカットされてゐる、たゞデユープであるため細部が味はれないのは何と言つても心殘りである、豐竹昇之助一行の挨拶状が來る

ラヂオ

大連　JQAK

五月九日午後七時　廣告祭の夕

▲挨拶「廣告祭に就て」大連新聞社長寶性確成
▲講話「廣告に就て」大連商業學校商業科主任教諭横山一郎
▲合唱「廣告祭行進曲」合唱廣告祭參加者有志、指揮西村不二
▲講話「廣告劇演出に就て」後藤計吉
▲廣告劇「新線即興四景」（五城杜夫作）總指揮西村不二、演出指揮後藤計吉、音響効果西村不二 △第一景途上スケッチ（思出の吹）△第二景商店街景△第三景カフェー時代△第四景五十年後
▲料理獻立
▲天氣豫報

東京　JOAK

五月九日午後六時廿五分

▲講演「日本の發明が西洋へ買はれてゆく話」倉橋藤治郎
▲連續講談「浪花三兄弟終席」神田山陽
▲聲色「吹寄せ」櫻川長壽
▲義太夫「義經千本櫻」竹本小仙

帝國館　開演 晝 二・三〇分　夜 六・三〇分
貳日より特別公開
バンクロフトの全發聲映畫
巨人
大河内傳次郎・伏見直江主演
劍を越へて
全市に於て大日活のみ 一つの發聲映畫興行場
唯一の誇り

大日活　六日ヨリ特別大公開
悲愴壯絕これ鮮血の歷史
總指揮 池永浩久　監督 村越章二郎　脚色 八尋不二
葉山純之輔　雲井龍之介　河合菊三郎　松林清三郎　高光正二郎　松村光夫　生方一平　琴糸路　橘喜久子　千代田綾子　外オールスターキヤスト
丘虹二監督作品
國宝莊一時代劇
米戸浪士
淺草丹

常盤座
五日（月曜）より特選番組
流行暗黒街　監督 小津安次郎　高田稔・川崎弘子主演
朗かに歩め
父性愛　Wチヤイルドの原作　高田唱　市川右太衛門　鈴木澄子　高堂國典
難行苦行
名物の喜劇　大川平八郎　山崎健二　川崎弘子主演
花嫁選手
御觀覽料　階上金六十錢　階下金四十錢
次週はいよ〳〵明眸ドロレス・デルリオ主演「ラモナ」

帝國館　六日封切
春風駘蕩映畫季節來まづ此名番組を見よ
満間朝日春季特別號所載　長谷川伸氏原作　谷崎十郎近代的名演技
人斬伊太郎
西條照太郎原作　勝見庸太郎主演　月形龍之助特別出演
大逆倫
觀覽料　階上・階下　金五十錢
▼全松竹座チエーンに三週續映せし驚嘆▲
獨逸ウファ社特作無聲映畫日輪篇
次週公開　アスファルト
ベッティ・アーマン孃主演・・・

演藝館
急告!!　問題の名畫三日より公開
新時代の尖端を切るプロ文學陣營の最大巨砲篇
新興文學の權威藤森成吉氏傑作戯曲映畫化
何が彼女をそうさせたか
名匠…鈴木重吉…監督
明眸…高津慶子…主演
宣傳文句不用に候
駄辯はやめる何故なら……帝都五週京阪神到る處二週三週續映の足跡を殘した本格的前衛映畫である
笑王ハロルド・ロイド氏主演
ロイドの夢遊病者
實川延松・八島京子主演
送り狼
◎御觀覽料階下五十錢

浪速館
五日より!!
初日以來連日連夜大入滿員!
◇嵐寛壽郎・原駒子主演
花街情話——小女郎——新兵衛
淚で描かく戀愛悲曲
三國一刀流
モダンナンセンス一〇〇パーセントスピードコメデー
ルイスブルツクスばりの柳富士子主演。空中の巻
戀の獵人
阪東太郎主演時代映畫　青木繁助演
赤城屋騷動顛末
東亞現代劇部超特作寶玉篇
……次週封切……
黒白の街　前篇 戀愛篇
原駒子・里見明主演
團德麿一人二役熱血篇
夕凪城の怪火

誰か其の優劣を語り得やん他社の製作し得ざる此の大覇業・昭和五年度
春季超特作品こして世におくる大忠臣藏こそ映畫王國の記念塔たらん！

元祿快擧
大忠臣藏
全廿卷

明九日封切
映畫史上に永劫に記錄さる可き大日活の大偉業篇
五月の日輪の如き未曾有の光輝篇遂に大公開

日活昭和五年度吉例春期超特作品・池永浩久總指揮・池田富保監督・新舊總員總出演・製作費に・配役に・其の解釋に・幾多の忠臣藏を發表した都度
斯界を征服しつゝありし日活が眞に完全無缺の忠臣藏として製作せし本篇こそ實に世界的不朽の作品と御推選申上るに足るものであります

絕對完璧の名配役　天下に比類なき最善配役

役	俳優
大石內藏之助	大河內傳次郎
淺野內匠頭	片岡千惠藏
茅野三平	澤田清
棟梁藤兵衛	小川隆
武林唯七	清川壯司
片岡源五右衛門	光岡龍三郎
堀部安兵衛	鳥羽陽之助
神崎與五郎	楠英二郎
立花左近	山本嘉一
吉良上野之介	三桝豐
間重次郎	南部章三
清水一角	高木永二
將軍綱吉公	谷幹一
僧良雲	村田宏壽
糟谷平馬	田村邦男
阿部道十郎	大崎史郎
脇坂淡路守	金平軍之助
大石の妻お陸	酒井米子
瑤泉院	梅村蓉子
三平の許嫁お勝	伏見直江
苅藻太夫	瀧花久子
娘お艶	櫻井京子
雛菊	山田五十鈴
不破數右衛門	新妻英助四郎改
村上喜劍	市川小文治
小林平八郎	尾上華丈
仲間幸助	尾上桃華
仲間頭作右衛門	葛木香一
俵星玄蕃	高瀨實
中村勘助	久米讓
重次郎妻お貞	澤村春子
深雪太夫	川上彌生
戸田局	常盤操子
武林の母千代女	小松みどり
愛妾おかる	吉野淺子
大野妾お君	木下千代子
平八郎の妻	瀧澤靜子
千馬三郎兵衛の妻	衣川光子
潮田又之丞の妻	辻峰江
女中お雪	山本絹子
大野の乳母お兼	露野文子
大石の母堂	伊藤すゞ江
岡島八十右衛門の妻	小林叶子
芝山の妻	牧きみ子
おかく	田中君代
侍女お梅	衣笠淳子
愛妾お蘭	竹久燁子

特に此の壯擧を記念すべく本週御入場の方に次週公開猛獸映畫『テンビ』の特殊優待券を洩なく呈上致します

開演 晝十二時半　夜六時四十分
勝手乍本週特別興行に付從來發行の御入場御斷り申候

大日活

映畫解說總てに第一位に誇る
解說員
里見凌洋
白藤蘭光

輸入組合の改善意見擡頭

從來の消極的運用を改め積極的にすべしと

全滿各地輸入組合の大部分は創設後滿二ケ年を經過し略所期の目的を達成しつゝあるが、今日までの業績を概觀すれば主力を堅實な消極的經營に注ぎ專ら内容の充實に力めた傾きがある、右は創業日尚淺く且つ

不景氣 の折柄肯定さるべき經營方針たるはいふまでもないが既に輸入組合の基礎も相當確立したので今や業績に對する批判と運營上の改善が加へらるべきものとの議論が漸次輸組の内外に擡頭しつゝあり、現に滿鐵當局としてもその融通資金の最高限度たる五百萬圓の半をも活用し得ない現状を慊らずとし、合理的にして統制ある準備手段を以て運用するならば現在の貸付限度二倍を三倍に擴張するも差支へなからうとの意肚を包藏してゐると傳へられてゐるされば遠からず何等かの形に於て改善更新の

方途が 講ぜらるゝに至るべく、六月上旬開かれる聯合會總會に於ても奥地二三の輸組より之が提案を見る模樣である、目下のところ聯合會並に大連輸組としては提案をなす運びに至らないと稱してゐるが、聯合會神成理事長は左の如く改善意見の一端を洩らした、なほ改善の一核心をなす貸付年度擴張を實施せんとすれば相當の準備を要し、就中地場仕入に伴ふ弊害を防止する對策を講ずることが緊要である

各地輸組を一律に拘束するは不可

貸付擴張は第二段 神成輸組聯合理事長語る

地場仕入の名にかくれ實體なき取引により資金融通を受くるものが全然ないとは云へぬがそれは極めて少いと思ふ、かゝる弊害は組合員日常の經營状態につき間斷なく周到な調査を行へば發生の餘地がない、貸付限度擴張に當りかゝる方面の弊害防止に腐心するよりは當然問題の中心に觸れねばならぬ即ちそれぞれ土地事情の特異性を有つ各地組合を現在の如く一律に規束してゆくのは考へ物で各地事情を大別分類した上で、出資口數の如きも一定の最高限度を定むると同時に最底限度も低下する

必要が なからうか、次に現在の組織が預金や貸付利息をそのまゝ流動資金化しつゝある根本方針を改組して之等を別途積立如きものに編成替することにより一定の時期まで固定資金化することが組合の内容を充實堅實化す所以ではなからうか、かゝる方針が樹立されたのち貸付限度を二倍半乃至三倍に擴げても後顧の憂ひなく堅實に最高額まで活用され得る見込みが立つであらう、この場合融通資金の増加は當然著しく限定されるが組織に於ける増加額が加速度的に年々倍加されて基礎を强くするのに較ぶれば强ち非難さるべきではない、而もこの缺點に對しては融通回轉數を極力増加するやう努力すれば必要額の需要を充たし得るものと信ずる、ともかく當方としては滿鐵の資金回收に對し豫め合法的にして確實な一定の對策を樹立しておくことが最も肝要なことゝ思ふ

當組合は空取引を防止してゐる

霍田大連輸組理事語る

大連市内の取引乃至大連奥地間の取引に於て組合員が空取引の上に資金融通を受けるといふ事實はないでもないが當組合では左の方法によりかゝる弊害發生の餘地なからしめてゐる、即ち專任の事務員一名をして組合員の資産や信用状態や營業状況を絶え間なく巨細に調査し、昨今の如く相場の變動甚だしき折柄は大量のストックを抱へてゐるものに對してその値下りについて注意を加へる外ブラックリストに載つてゐる人々に對しては特に警戒をしてゐる、此の日常の調査が最も大切でこれが十分行き屆いておれば資金融通狀態が正常的のものか變則的のものかは取引の時期、金額、品種、取引先等を考へ合せて容易に判ずることが出來る、そこで貸付に關し警戒を要すると考へた場合はその都度取引商品の所在をつきとめ取引の實體を確めた上で融通することにしてゐる、かくすれば地場取引の弊を完全に防止し得べく今日までのところ此の種の被害に遭つたことゝもない、それで當組合としては目下のところこれ以上の方法を講ずる必要はないと思つてゐるのでこれに對し別にこれといふ意見はない

聯合見本市 哈市も希望

パンフレットで勸誘

大連に於て七月七日から三日間本邦商品の見本市が開催されるが、ハルビン輸入組合では滿鐵勸業と商議の應援で、見本市の終了後同見本市の北滿進出策につきパンフレットを出して勸誘することに決定したと

不景氣打開に小策は駄目だ

行くところまで行くがよい 新庄商船專務談

大阪商船專務新庄精一氏は八日入港のうらる丸にて來連したが左の如く語る

秩父宮殿下御渡滿のため特に便乘してきたもので、他の私用乃至社用を帶びたものではない、うらる丸にて直ちに歸阪する、内地財界不況の深刻なることは今更云ふ迄もなくこれがため海運界の悲況は層一層に目立つてきてゐるが、而も世界的の不景氣に刺戟さるゝこと多大なるものあるがため、今姑息なる手段方法を以てしては到底現下の不況を打開し得ざるのみならず、却つて實勢を惡化することゝならう、此の意味に於て吾々としては民政黨内閣の主義政策を可とするものである、行詰る所まで行つて後に建直すのでなければ本當の底力は生じ得ないものであるし、財界の光明は認め得られぬものとしなければならぬ從つて此の際徒らに小策を弄するを避け飽くまで質實に此の悲況に堪えることが必要である、海運界の不況を打開するの窮策として内地船主間では共同して繋船又は解船が刻下の問題となつてゐるが繋船、解船によつて結局利するものは外國の船舶會社であるから、容易に實現を期待し得ないのである、商船會社の如きも新聞によれば今期は無配當なるを免れないかのやうに傳へられてゐるが、一、二、三月は例年に於ても收入は少ないのであり、五月、六月において充分の利益は擧げ得なければ結局無配當となるかも知れぬ

四月卸物價續落

白米綿糸布類は騰貴

大連商工會議所調査による四月末現在における大連卸賣物價は調査品目七十種中前月に比し騰貴十一種、低落二十八種、保合三十一種にして平均一分七厘の低落、之を前年同期に對比すれば一割九厘の低落となる、即ち品目別に前月と比較すれば

騰貴 白米(滿洲特等同一等)大豆、高粱、粟、馬鈴薯、玉葱、綿糸、綿布、モスリン、大豆油

低落 小豆、麥粉(米國、内地、上海物)牛蒡、醤油、食鹽、鰹節、砂糖、茶、ハム、鷄卵、晒木綿、蒲團綿、木材、丸鐵、銑鐵、亞鉛引平板、洋釘、疊表、塗料、木炭、薪、大豆油

保合 白米(朝鮮特等)押麥、清酒、麥酒、味噌、牛肉、豚肉、鷄肉、煉乳、色甲斐絹、銘仙、金巾、綿ネル、羅紗、煉瓦、セメント、屋根瓦、板硝子、平鐵、酒清、石炭酸、石油、石炭、コークス、燐寸、半紙、洋紙

更に類別に依る騰落を前月及び前年同期を基準とし指數にて表示すれば左の如くである

類別	前月對比	前年同期對比
穀類(十二品)	一〇二、六	九七、二
蔬菜類(三品)	九九、六	九九、一
調味料及飲料(十品)	一〇七、三	九〇、九
肉類(七品)	九七、三	八八、六
衣料品(十品)	九九、四	八七、三
建築材料(十五品)	九六、二	八四、三
雜品(十七品)	九九、〇	九四、六
平均	九八、三	九〇、一

墨西哥銀と兩輸入禁止

◇大した材料ではない◇ 西山正金支店長談

國民政府は今回メキシコ銀及び兩輸入禁止を發表したとの電報が當地に入つたが右につき正金西山支店長は左の如く語る

私の方には特電は入らないが、兩及びメキシコ弗輸入禁止の情報が入つたことは耳にした、しかし兩は支那で作るものであるから兩輸入禁止とは一寸變ではないか、又メキシコ弗とは西貢よりピアストル銀が少しばかり輸入されてゐるから、きつとそれを禁止するのであらうと思ふ、しかし大した材料にならうとは思へない、支那で銀輸入禁止は絶對に出來ないことはないだらうが、北に閻氏南に蔣氏が並立してゐる間は絶對に不可能だらう、しかし最近は宋子文も輸入禁止に贊成しつゝあるといふから——

四月中の特産市況(下)

豆信調査

四月中に於ける特産市況は左の如くである

高粱 月初各限に亘る賣方主力の崩れ退きに漸騰商狀を呈して初旬末五限四、五八、六限四、五六と月中の高値を出した然れ共市場空氣は概して先安氣構へにて引續き奥地筋の轉賣多く、且小口の賣もの等に取引稍盛況を見たが其後踏上げ一巡に市況閑散軟弱となつた、而して近來銀暴落の影響であらうか山東及び上海方面の需要は運賃諸掛りより營口方面よりの輸出漸次旺盛の傾向ありて着車著しく減少し、中旬初に於ける埠頭在荷は僅かに六十車見當にして前年に比し五百車餘り減少したが、輸出不振及假需要筋の減退等より更に仕手に妙味なく遂に下旬初四限四、四八、五限四、四一、六限四、三九、七限四、三八と月中の安値を出した、其後市況は當限納會接近に伴れ旗埋め多く、滿騰商狀を呈して四限四、七四と急騰したから概して强調裡に越月した、而して其出來高三、二七〇車にして前年に比し七七車の減少を示した、出來高及最高最低値左の如し(單位出來高輌、値段錢)

限月	出來高	最高	最低
四月限	一、一三三	四七四	四四八
五月限	六四四	四五八	四四一
六月限	六六〇	四五六	四三九
七月限	三七一	四五六	四三八
八月限	一三二	四五八	四四二
合計	三、二七〇車		

豆粕 月初閑散であつたが現物に邦商の買氣潛在と、且原料大豆の好調を眺めて華商油房の買戻續出し、氣配昂進して初旬末四限二、三七〇、六限二、三六五、五限二、三六五と月中の高値を出した、其後引續き落ち玉多く亞で中旬に入つたが、當限納會の仕手關係も一段落を告げたると内地亦金解禁後に於ける財界受難時に際して株式暴落し其他勞資爭議問題等に財界益々不況を喞ち、剩へ糸價補償法により一時急反撥見し生糸も再落に至り米價亦依然軟弱の域を脱せざる等環境不良は地方農村の購買力を減殺し、加へて尚産地は原料品の高張りに製品割高なる爲邦商の期物に對する買氣實に寂寞の觀を呈し、無味凡調を辿りて下向に至るや現物紛積急需筋の手當ものに案外小蹉りなりしも、折柄大豆の急落と邦商及び南支筋の手詰ものに伸力なく氣配軟化して五限二、二九〇と月中の安値を以て越月した、而して其出來高一、六六〇千枚にして前年に比し五三五千枚の減少見た、出來高及最高最低値段左の如し(單位出來高は千枚、値段は錢)

限月(銀建)	出來高	最高	最低
四月十四日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月十四日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月末日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月十四日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月十四日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	一、六六〇千枚		

豆信手數料改訂申込

組合對策協議 米突制は承認

大連取引所信託株式會社では屢報の如く手數料改訂問題につき種々頭を惱ましてゐたが豆信側より六日取引人組合書記長荻原氏に非公式に手數料改訂を申込んだので取引人組合では昨八日午後取引所樓上會議室に於て委員會を開催し種々協議を重ねたが、問題が問題であるだけに、卽答を控へ、今後數回委員會を重ねたる上、回答することになつた、又同委員會で屢報の滿鐵の米突法實施につき協議を行つたが、既報の第一案たる一車三百五十二袋積み受け渡しの場合は三百五十二袋を渡し、二袋は約定値段ではなく標準値段に於て決濟されることに決定した

黄塵

◇…けふわれ等の宮樣として御慕ひ申し上げる秩父宮殿下をお迎へ申し上げ目のあたりその御勇姿を拜し奉る誠に有難い限りである。

◇…殿下には陸軍大學生の御資格を以て滿洲の戰跡を親く御見學遊ばされるのであるがけふ滿鐵其他民間事業を親く御視察遊ばされあす旅順の戰跡を御覽になり廿五年前の屍山血河の激戰を偲ばせ給ふ御豫定と聞く。

◇…東洋平和維持のため一死以て君國に捧げた忠勇無比のわが英靈は殿下の御英姿を拜しさぞや地下において感激の涙に咽ぶことであらう。

◇…さるにてもこの貴き犠牲の上に立つ在滿邦人の活動としては滿鐵會社の事業と關東廳の施設の外にみるべきものなく、民間の事業振はず、殿下の御台覽を仰ぎ奉るに足るべきもの尠きは誠に畏れ多い極みである。

大阪商人と在滿の邦商

兩者の不平不滿 (二) 野添孝生

四、過信の結果が祟る

かくて大阪商人が、本年の舊正前後から今日に亘り、滿洲殊に奉天の支那商に、大變な目に會つたのである、この間のことは、既に周知の事柄であつて、今更事新しく述べるの要もないが、その當時の狀態は、實に氣の毒なほど憐であつた、殆ど大阪から奉天商工會議所に來る書狀も、また日毎に來る電報も、その悉くが支那商に對する債權の取立て依賴であり、しかもその上に、次から次にと大阪から債權取立てにやつて來られたには、私達をして一驚を喫せしめたばかりでなく、隨分氣骨を折らしめたものである。何分にも倒産者中には、明かに詐欺破産と認められるものが少くない狀態にて、これに對し若もその手段をあやまつたが最後、所謂惡事千里を走る喩に洩れず、必ずや全滿洲に波及し如何なる狀態を見るやも知れない虞が充分にあつたからに外ならぬ當時最も私達をして心配せしめた支那商の遣り方は、邦商がその決濟を迫ると、金を以て決濟は出來ないから、商品を受取つてもらひたいといふのであつた。しかしてこれを受取らんとすれば、高々金三圓位ひのものを十四、五圓に評價し、これが厭なら受取つてもらわぬまでじやと空嘯いた點である若しも斯樣な狀態が、次から次と傳染して、我れも人もと云ふやうになれば、全然手がつけられなくなる、奉天會議所が極めて强硬な態度を以て、奉天總商會に交涉警告したことは、恐らく今日まで多くの人の知らない苦心の存した點であつた。私が前に述べたやうに、支那商が一度假面を脫げば、驚くほど大膽となり、全然恥を知らない徒になるといつたのは、實にこの一事を指すのである。大阪商人が平素支那商の何者なるかを知らず、總てを信用して取引する結果は、斯樣な祟りを見るに至つた。私がこの度大阪に行つて、多くの方々と懇談したのも、かうしたことを再び繰返さないやう希望するために他ならなかつた。私は更に進んで、尚この機會に支那商の如何に恐るべきものであるかを次に述べなければならぬ

五、危險な合同組織

支那商は經營組織の上に巧であるから、安心して取引が出來ると稱し、大阪あたりでは、この組織たる聯號(レンハオ)を非常に謳歌してゐる。成程この聯號組織なるものは一人の財東(資本家)を中心として、種々なる店が出來てゐるため、平素事なき時代に於ては、極めて鞏固な便利な經營組織であらう。しかしこの度の奉天に見る如く、多年に亘る軍閥搾取による民力の疲弊、奉天票の慘落、銀の暴落、官憲の亂暴な都市計畫による金融極度の梗塞等によつて一般的に打擊を受けた際は、平素聯號なるものを信用して、取引高が多額に上つてゐる結果、非常な危險を見たのであつた。現に詐欺破産によつて著名である奉天の豐盛玉、慶豐久にしても、また同潤を中心に倒産を見た三商店にしても、これ皆聯號組織のものである。その他今尚大阪あたりにて、非常な信用を贏ち得てゐる某聯號の如き、一般に危險視されて居りこの五月節句を無事に切拔けたとしても、八月の節句が何うかと危ぶまれてゐる。聞くところによれば、この某聯號の如き、若しも馬脚を現はせば、大阪邊の問屋にて殆ど倒産に近き打擊を受けるものがあると稱されてゐる。尚最後に注意を要する點は、既に倒産して多額の迷惑をかけた店が、更に商號(ツーハオ)をかへて、表看板を立派に商内をやるものが今後必ず出來る一事である。本年舊正前後から今日まで、奉天城內支那商の破産休業實に大小約千五百軒を算する狀態であるから、商號をかへて更に大阪商人を欺瞞するものがないと誰れが保證しやう。

市況

今日の相場

▲五品 先限七圓七十錢
▲新株 新豆鐵鈔共同事
▲綿糸 二三圓方の低落

特産

奥地反撥で高粱强調

今朝の市場は概して各品共に平調なる場面に推移したが、高粱は奥地の反撥で當地も强調を呈した

◇定期前場(銀建)

▲大豆(强調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 八十八車

▲普通大豆 出來不申

▲豆粕(强調)單位厘 / ▲豆油(軟り)單位錢 / ▲高粱(强調)單位厘 / ▲包米 出來不申 — [illegible]

◇現物前場(銀建) — [illegible]

前場

麻袋(保合) 産地保合と地場銀塊安に全然買物無く閑散裡の保合であつた引際氣配は現二十七錢五厘五月二十七錢七厘六月二十八錢七月二十八錢三厘八月二十八錢五厘見當

綿糸布(低落) 米棉三十錢高大阪三品前場寄各限五七十錢方引締

株

今朝大阪は大株大新二十錢高、鐘紡鐘新六七十錢高と踉り新東短期も六十錢高と昨後場に引續き强調を報じた

當市動かず

今朝北濱寄は大株二十錢高、大新三十錢高、東京短期も東新六十錢高、鐘紡七十錢高、鐘新六十錢高と强含みを報じたので當市定期新東一圓二十錢高、東新二圓內外高にて內地相場に添ひ、鐘新六十錢高と締つたが地場株は定期の新豆、鐵鈔、五品何れも同事現物の新豆、鐵鈔は十錢高、出來高定期四十枚、現物七百七十枚

上海標金

八分の一安にて現物と共に下げ不足の感あり寄鼻元盛永、永康、志豐永賣り安値住友圓及弗を買ひ、三井、滙豐、中國銀行等弗買ふ、標金は恒興の買に急騰した、高値工商銀行、大通銀行圓を賣り、三菱と思はれる永康、三井と思はれる志豐永の賣りに下押した、寄あと恒興の買は三井の買煽りとも見られ此鼻吹値にて利喰するものと思はる、標金の大勢押目買ひ目吹値賣りが面白いと思ふ

銀塊安で鈔票弱氣配

今朝の海外材料としての倫敦銀塊は十九片十六分の七と(十六分の一安)先物は十九片八分の三と(四分の一安)…[illegible]

市場電報(八日)

銀塊及爲替 / 棉花 / 大阪株式 / 東京株式 / 大阪期米 / 東京期米 / 大阪綿糸 / 大阪棉花 / 神戸豆粕 / 横濱生糸 / 印度麻袋 — [illegible]

◇定期取引 / ◇現物取引 / 錢鈔 / 奥地市況(八日) / 爲替相場(八日午後) / 上海爲替情報 / 手形交換(八日) — [illegible]

滿洲日報

社說

大工業地としての關東州

大工業地としての條件はその工業の性質、並に種類によつて多少の相違はあるが、如何なる工業にも缺くべからざる必要條件は云ふまでも無く、製品の需要地を背後に控ゆること、製品の輸出、原料の輸入に便宜なる良港を、その前方に有することである。この意味において物資に對する無限の消費力を持つ滿蒙を背後地とし、中支における國際的港――上海と、山東の關門――芝罘とを結ぶ三角形の頂點に位し、沿岸貿易上の中樞である大連港を有する關東州は正に上記の大工業の勃興すべき最も有利なる條件を享有するものと云へる。

關東州の保有する有利なる條件は單にそれのみでない。一衣帶水を隔てゝ内地を控えてゐる、而も内地への輸出には一部の製品ではあるが免税の特典を與へられてゐる。更に凡ゆる動力の源泉をなす石炭は撫順より比較的安價に且つ無限に供給を受ける事が出來る、加ふるに勞銀は低廉である。然るにも拘らず關東州は未だ工業地としての名を聞かない。そこに何等か缺陷が――地の利の上にでなく――制度、施設の上に存在するのではあるまいか。

翻つて關東州内に於ける工事の現勢を見るに、地方的事業である瓦斯、電氣は別として、油房業、鐵工業、窯業、精米或は釀造業其他投資額十萬圓以上の工場は僅々百餘。この投資總額は五千數百萬圓に過ぎない。生產高は一億一千六百萬圓で、油房業の八千五百萬圓、鐵工業の一千五百萬圓を除けば爾餘の工業の生產額は一割强に當つてゐる。而も此等諸工場が全能力を發揮すれば、その產額は二億圓、即ち現在の二倍に達すると云はれてゐる。斯く工場施設五割の休止狀態は如何に關東州內工業の不振なるかを如實に物語つてゐる。

更に製品の販賣方面を觀るに總販賣高約一億一千九百萬圓、內外國向輸出八千九百萬圓、即ち總販賣價格の八割を占め、次に州內消費一千四百萬圓で一割二分九厘、滿洲向三百九十萬圓三分六厘、最低は支那諸港向の二百萬圓、一分八厘である。右の數字中、外國向の大部分、即ち八千五百萬圓は油房生產品にして他工業製品は僅かに四百五十萬圓に過ぎぬ。

滿洲向三百九十萬圓、支那各港向二百萬圓では寔に話にならぬ少額であるが、寧ろ此の少額なることが將來への餘力を存するもので決して悲觀すべきものでなく、州內工業の發展の上に喜ぶべきことである。邦人の滿蒙發展と稱するも、商租權問題は依然解決せず、農業的發展は到底望み難く、結局は商業的、工業的發展に俟つ他はないのである。それには工業的發展の根源地として關東州を選ぶが最も至當ではあるまいか。

過般、開催された第五回關東廳經濟調査會に於ては範圍を擴め諮問案「滿洲に於て特に奬勵すべき重要工業の種類及び之が助成の方策如何」に就て審議し、目下、小委員會に於て夫々研究調査中であるが、由來、同種會議の答申案にして實行された例を聞かぬ、單に暇潰しの仕事に終つたのは遺憾である。今回は特に幹事より「實現性乏しき工業に就ての調査審議は自ら諮問の範圍外にある」との諒解を各委員に求めてゐるから、恐らく近く完成すべき答申案は實現の可能性あり、且つ關東廳として實行すべき義務を有するものと思はれる。出來得べくんば同會議は更に一步を進めて、州內工業不振の原因を検求調査して根本的にその病源を芟除、剔抉し、以てその健全なる發達に資せんことを併せて希望する。

婦人公民權案は特別委員に附託
政府委員から時期考慮を表明
きのふ衆議院本會議

【東京八日發電】八日の衆議院本會議は午後一時二十分開會前日を以つて政府提出法案全部を通過し本日より議員提出の法律案が上程された、殊に婦人公民權附與の法律案が上程される日なので婦人傍聽席には市川房枝女史を初め婦選獲得同盟の猛者連がズラリと列んで居るのが目立つ、大臣席には安達內相只一人ポツネンとして控へてゐる、先づ砂田重政氏議事進行について發言を求め新潟警察署長助川某の選擧干渉問題につき安達內相の答辯を求め內相は人を派して調査をさせてゐるがまだ歸京しない遺漏あつてはいけないので更に人を派して慎重調査させると答へ議事日程に入る、即ち

一、市制中改正法律案(末松偕一郎外三十四名提出)
一、町村制中改正法律案(末松偕一郎外三十五名提出)
一、北海道會法中改正法律案(末松偕一郎外三十二名提出)
一、市制中改正法律案(若宮貞夫外十三名提出)
一、町村制中改正法律案(同上)
一、北海道會法中改正法律案(同上)

を一括上程・先づ提案者末松偕一郎氏(民)提案理由の說明をなす

末松氏 婦人參政權は理論的には認むるが漸進的に先づ公民權を認めたいといふのである

若宮氏(自席より) 末松君の答辯通りである公民權を先づ認めるのはやがて婦人の解放を實現する所以である

齋藤政府委員 婦人公民權は主義としては反對せぬが實施の時期範圍資格等については十分考慮の餘地がある故に本案には遽かに贊成し得ぬが政民兩黨が過半數の贊成を得た提案であるから政府においてはこの點に重きを置き十分考慮する

と答へて十八名の特別委員附託と

婦人公民權は世界の大勢
反對論は全く杞憂
政友會は擧黨贊成

末松氏 世界の主要國中婦人に公民權を與へてゐないのは日本とフランスのみである、今や婦人公民權は世界の大勢であつて政友、民政が互に本案を提出したからといつてそれは斷じて黨利黨略に基いたのではない今日の社會生活において婦人の地位は決して男子に劣るものではない工場勞働者、農業勞働者の數からいつても經濟上重要な地位を占めてゐる婦人の綿密な注意力は地方自治體の政治に最も適切なものである歐米各國の永い間の經驗は種々の反對論が全く杞憂であつた事を立證してゐる故に速かに本案を通過せしめられん事を望むと述べて降壇

若宮氏 次いで同じく政友會側の提案者若宮貞夫氏提案理由說明のため登壇本案は政友會は黨議を以つて擧黨一致第五十七議會に提出したが不幸解散となつた本案が衆議院を通過するは確實であるが貴族院を押し切るにはそれだけ力強きものでなければならぬから民政黨も宜しく黨議に依つて本案を贊成されたい

次いで質疑に入り

山崎傳之助氏(民) 登壇、本案に大體贊成である歐洲大戰中の働きは大したものである

選擧權も與へよ
無產黨の片山氏叫ぶ

片山哲氏(無產) 今日の我國の自治體は幼稚なもので單に公民權だけでは今日の複雜なる政治上の訓練は提案者のいふ如く望み難い故に婦人解放の實現は公民權は勿論選擧權をも認めて國政に參與せしめなければならぬこの點に就て提案者は如何なる見解を有せらるゝや又政府は公民權の提案に對し如何なる態度を執るものなりや又別個の選擧權を附與する意志ありや

宗教家に選擧權

日程第十二、治安警察法中改正法律案(後藤亮一外八名提出)第十三、同上(安藤正純外六名提出)を一括議題に供し先づ提案者後藤亮一氏(無所屬)より

後藤氏 僧侶その他諸宗教師に選擧權被選擧權を與へて置きながら政治結社に加盟を認めぬは不都合であるから宜しく本案に贊成あらん事を望む

と述べ議長指名九名の委員附託、日程第十四、國家賠償法案(小俣政一外二名提出)を上程提案者小俣政一氏(民)その提案說明ありて盗犯防止法案委員會に併託

日程第十五、牧野法案(山內亮外六名提出)第十六、同上(八田宗吉外四名提出)を一括上程、議長指名十八名の委員附託、大臣席には婦人公民權の終つてからは一人の閣僚の姿も見えず一瀉千里議事は進んで行く

勞働運動の健全な發達助成
自主的失業の防衛策

日程第十七、勞働組合法案(片山哲提出)を愈々上程先づ提案者の提案說明

片山哲氏(無產) 資本主義經濟組織の下にて勞働者が勞働組合を組織して團結の力に依つて資本家に當る事は必然である故に國家は勞働組合を認め勞働組合運動の健全な發達を助成すべきである第二に勞働者が失業に對する自主的防衛策として勞働組合は各種賃銀低下に對して鬪ふ唯一の武器である第三に勞働者が官憲の不當なる壓迫に對抗するには勞働組合に依る力以外にない第四產業合理化を勞働者の負擔に依つてのみなさしめない爲にも組合は必要である而して此の組合法は自主的であらねばならぬ

と提案理由を說明し議長指名十八名の特別委員に附託

未成年者禁酒

日程第十八、未成年者飲酒禁止法中改正法律案(長尾半平外十八名提出)議長指名の九名の委員に附託

失業者手當問題
議場俄に殺氣立つ

日程第十九、失業手當法案(松谷與二郎提出)を上程

松谷與二郎氏(無產) 政府は本會議に於て失業者を三十五萬であるといつてゐるが建築業者の失業關係のみでも六十萬人に上つてゐる假りに三十五萬人としても一家族四人とせば百五十萬人が飢に迫つてゐるのである現在政府は對失業應急策として僅かに六十九萬圓許りで百五十萬人の生活問題をどうする事が出來るか近時社會に「親殺」「一家心中」等相踵いで起るは正に現內閣の責任である政府が今日の如き態度を以つて失業問題に對したならば再び第二の燒打事件が起らぬとも限らない

といふや與黨一齊に喚き立て、議長も松谷氏に注意すると淺原氏議席に突つ立ち「議長干渉するな」「松谷君構はず遣れ」と呶鳴る民政側は懲罰々々を連呼し議場俄に殺氣を帶びるが政友會は冷然と傍觀してゐる驟て與黨席より栗原彥三郎氏議長席に驅けつけて耳打すれば

藤澤議長 松谷君の發言中不穩當の發言ありしや否や速記錄を調べる事とする

と述べこれで議場も稍鎭まり

松谷氏 銀行救濟のため數億金を出すのに比すれば失業者に一人一日の手當を出す位何でもない政府において失業對策を講ずる事なくば國家として不祥事を惹起するだらう

と結び無產派の拍手と與黨の罵聲を浴びて降壇

田子一民氏(政)(議席より)

失業者の窮狀に同情

安達內相 失業者の窮狀には同情に堪へぬが勞働者に何等の負擔も與へない手當法には贊成し得ない政府としては別個に失業對策を講じてゐる

と答へ勞働組合法案委員會に併託さる

日程 第二十、衆議院議員選擧法中改正法律案(西尾末廣提出)を上程・提案理由の說明を省略して婦人公民權委員に併託

日程 第二十一、中央卸賣市場法中改正法律案(藤田若水外四名提出)九名の委員附託

日程 第二十二、船舶業組合法案(加藤鯛一外三名提出)第二十三、船舶業組合法案(內田信也外二名提出)を一括上程、前田卯之助氏(民)勝田銀次郎氏(政)より提案理由の說明後

加藤鯛一氏(議席より) 政府は本案に對し贊否如何

中野遞信次官 大局において本案は適切なものと認めてゐる

と答へ十八名の委員に附託、斯くて二十三の議員提出の法律案を一瀉千里に片づけて午後五時四十分散會

法權紊亂質問書
政友會幾多の罪惡を列擧して
與黨が衆議院に提出

【東京八日發電】民政黨の小俣政一氏は山桝代議士外十五名の贊成を得て八日衆議院に法權紊亂に關する質問趣意書を提出したがその要旨は左の如くである

一、東大阪電鐵疑獄に關し同社重役より鈴木喜三郎氏は二萬圓、鳩山一郎氏は十萬圓、前田米藏氏は二十萬圓を收受し東邦電燈疑獄に關し秋田清氏は六十萬圓を收受せりとの疑惑濃厚なるのみならず賣勳疑獄に關し鳩山一郎氏は海原清平を通じ勳章製作會社及び日本紙業會社と聯絡を執り御大典記念章箱勳章綬を二割乃至九割一分高價に納入せしめなほ東京市疑獄に關し前田米藏氏は中島守利氏に請託して京成電車市內乘入れ案が市會を通過するやう運動せしめた然るに之等が不問に附せらるゝは檢事局の政黨化にあらずや

一、減俸案發表の際反對の急先鋒たりし東京檢事局の背後には鈴木喜三郎氏、平沼樞密顧問官の策動あり之れに依つて倒閣せんとせるは司法官の政黨化にあらずや當局の所見如何

一、若槻全權の赴任せんとするに當り荒唐無稽の惡宣傳をなし世論を沸騰せしめ濱口內閣を倒さんとせる陰謀は組織的に計畫されその中心人物は平沼樞密顧問官、鈴木喜三郎、山岡萬之助三氏にして而も捜査の秘密を嚴守すべき檢事局より當時捜査中の越鐵疑獄の內容が刻々山岡氏に報道せられその報道を虛構して新聞に惡宣傳をなせりこれ檢事局の政黨化司法權の紊亂にあらずして何ぞや

尚この外五項目を掲げて政友會側の事實を擧げ當局の所見を訊してゐる

貴族院の議事圓滿に進捗
民政黨前途を樂觀

【東京八日發電】民政黨では豫算案を定刻で議了し、義務教育費案を僅か二時間の討議を以て議了したるは空前の好成績である、殊に教育費案は野黨も內心贊成で殆ど全會一致で可決したるは全く國民總意の反映である若之を貴族院にて濫りに阻止する如きことあらばそれこそ國民を敵とするもので、又統帥權問題の如き政友會は內心政府と同一意見を有しながら政爭の具に供してゐるのであり、統帥權第十一條、第十二條の論議も明白である、然るに貴族院で殊更に政府を窮地せんとするにおいてはこれ亦國民の意志を無視することゝなるを以て政府を鞭撻して堂々と貴族院に對抗すべきであると强硬意見を抱いてゐるが、幹部多數の觀測は貴族院反政府系の一部の策動はあつても多數公正の識者は政府の態度を是としてゐるからかゝる重大決意を要せずして會期を終了するものとしてゐる

貴族院豫算總會
不景氣問題で
三井清一郎氏質問

【東京八日發電】貴族院豫算總會第一日は八日午後一時半開會林委員長開會を宣し八、九、十日を質問日として十一日分科會十二日に總會を開かんと諮り決定し質問に入る

三井清一郎氏 財界不況の現狀は國民生活上不問に附すべからざる問題である首相はこの經濟狀態を何と見るか

濱口首相 前途に對して左程悲觀してゐない然し出來る限りこれが打開に努力せんとしてゐる

三井氏 これが對策として政府は國產品愛用を奬勵してゐるが速かに有効なる對策を講ぜねばならぬ

濱口首相 不況を救ふには國際貸借の改善を圖る要あり、そのためには產業合理化國產の振興をなすべきである

三井氏 首相は貴衆兩院にて先般來金解禁の準備は完全にして居つたと言明せるも果して然るや

井上藏相 日本の對外的理想は成るべく外國に金の出ない樣にするのが目的であり金解禁も此の理想に向つて成されたのである、而して解禁後の經濟界は順調であると思ふ

三井氏 解禁の準備行爲として外國爲替を買入れこれを以つて在外正貨の充實を圖らんとしたるもこの方法以外に遣り方はなかつたか若槻內閣は金塊九千萬圓を現送したではないか政府は現在の資金の減少に對し如何なる對策を有するか

首相 政府は在外正貨のみを目當てに解禁したのでなく總ての事情が適當となつたのを見て解禁したのである在外正貨補充の爲めに現送する間は通貨の收縮を圖る事が出來ぬから現送を不適當としたのである

三井氏 政府は現在の兌換制度を改善する意志ありや

藏相 日銀條例の改善に就ては考慮してゐる成案を得次第金融制度調査會に諮りたいと思つてゐる

三井氏 兌換券に對する正貨準備が僅か三月の間に非常な減少を來したのは何か特殊の原因があるのではないか

藏相 輸入超過である以上正貨の流失は已むを得ない

三井氏 現在現送する正貨は建値の點に於て利益を受けるものがある爲めではないか

藏相 爲替相場の建値は日銀が定めるもので其の値段も取引の事情に依り一定するものではない

三井氏 商相は解禁準備につき如何なる計畫を樹てたか

俵商相 政府としては國產品愛用奬勵、產業合理化運動その他の施設をしてゐる

三井氏 米價下落を防ぐことは出來ぬか

町田農相 米穀補償法發動は尚早と考へる

次いで井上清純男より軍縮問題につき質問應答あり、午後六時五分林委員長休憩を宣す、午後八時再開、長岡隆一郎氏實行豫算編成並に木炭、森林收入等につき質問し首相及び田淵農林省會計課長よりそれ〴〵答辯ありて九時四分散會した

宇垣陸相
十一日頃登院

【東京八日發電】宇垣陸相はその後經過良好で八日主治醫の談によればこゝ一兩日はまだ登院は許せぬとの事であるがこのまゝ順調に進めば十一日頃には登院し得る見込みである

義教費案の
貴族院特別委員

【東京八日發電】貴族院における義務教育費國庫負擔增額案の特別委員は左の如く議長より指名された

近衛文麿公(火曜)柳澤保惠伯(研究)西尾忠方子(研究)野村益三子(研究)加納治五郎(同和)眞野文二(同和)伊澤多喜男(同成)紀俊秀男(公正)斯波忠三郎男(公正)千秋季隆男(公正)南弘(交友)湯地幸平(研究)津村重舍(研究)綿澤總明(交友)大谷尊由(研究)

政友新陣容
近く大會で指名

【東京八日發電】政友會は特別議會終了後來る十五日大會を開き總裁指名で全幹部の改選を行ひ陣容を新にすることゝなつてゐるが、今回の改選は他日犬養內閣出現の場合の閣員銓衡方針で自ら窺はれるため各方面から深甚の注目を惹いてゐる、而して幹部中幹事長の任は黨の活動の中心となるものであるだけに犬養總裁も特に慎重の態度を以て人選中であるが、從來唱へられてゐる候補者松野鶴平、山崎達之輔、內田信也、秋田清、田邊熊一、東武氏等の內最近の情勢よりすれば松野、山崎氏が最も有力で、有力幹部の多數が松野氏を推してゐる關係から多分松野鶴平氏に落つくであらう、一方總務については八名說と五名說と二說あるが、八名說を採るとして現在有力視されてゐる候補は左の如くである

東北(一名)堀切善兵衞、關東(二名)秦豐助、森恪、北信、東海、近畿(二名)山本粂太郎、加藤粂四郎、大口喜六、田邊熊一の內より二名、中國(一名)島田俊雄、砂田重政、岡田忠彥の內より一名、四國(一名)秋田清、九州(一名)山崎達之輔(山崎氏幹事長の場合は松野鶴平)

衆院決算委員會

【東京八日發電】衆議院決算各分科會は午前十時から引續き質問を行ひ全部午前中を以つて質問を終了散會したが九日午前十時より小委員會、十日總會を開き討論採決をなす事となつた

近衛公渡支

【東京八日發電】貴族院火曜會近衛文麿公は近く東亞同文會總裁の資格で創立二十五周年記念のため渡支の筈

江西北部の
中央軍兵變

【東京八日發電】その筋着電に依れば江西省北部を守備中の第十二師金漢鼎軍の一部は兵變を起し德安、九江方面に向ひつゝありとの報傳はり漢口にては邦人保護のため軍艦鳥羽急行の筈

王部長我外相に祝電

【東京八日發電】去る六日南京にて日支關稅條約の正式調印を見たるにつき國民政府外交部長王正廷氏は七日附にて幣原外相宛祝電を寄せた

掃除法案可決

【東京八日發電】貴族院の汚物掃除法中改正法律案特別委員會は八日午前十一時十分開會提案理由の說明質問あつて後採決に入り全會一致原案を可決した

蔣氏徐州へ

【南京八日發電】蔣介石氏は今朝一時幕僚衞隊及嚮導一師約三千の兵を從へ浦口發徐州に向つた、同地着後直に總攻擊令を發するはず

米海軍豫算
千三百萬弗增加

【ワシントン七日發電】アメリカ下院支出豫算委員會は本日本會議に一九三〇年度海軍豫算案を報告したが右は總額三億七千九百三萬六千八百八十六弗で其中ロンドン協定の範圍內の建艦費は四百九十萬弗で前年度豫算に比し一千三百三十五萬一千五百十九弗の增加である

秩父宮のお側近く
光榮に浴した人々の謹話

數字的なものに御興深げに拜す
御說明者 市川鐵道部次長謹話

埠頭ビル屋上において「大連港について」市川滿鐵鐵道部次長は約廿分に亘り明治三十七年五月廿七日大連を占領した當時より今日までの大連港に關する概況につき御說明申上げたが恐縮して語る

露西亞から占領した當時の埠頭地圖と現在の地圖を比較しながら御說明申上げたが、殿下には終始御熱心に

お頷き あり、殊に數字的なものに對しては御興深かげに拜された、一つ〳〵地圖を御比較のうへ御研究態度で御聽取遊ばされたが、大體お話した筋は滿蒙の鐵道並に貿易との關係、不凍港にして自由貿易港たる所以、出入船數及び輸出入貨物數港灣設備及びその能力、そして建設費等を詳しく申上げ、更に將來の計畫たる

甘井子 石炭船積專用埠頭の完備、グレーンエレベーターの試驗設備、沿岸の埋築工事等の大要につき御說明申上げたのである

農產につき御說明
滿鐵農務課長 松島鑑氏謹話

私はお出迎へ申上げると共に玄關口に侍立して御誘導申上げ神鞭理事より村上氏と共に一般農產方面台覽の說明者としての御紹介を賜はり農產室、畜產室等の各室を御案內申上げました、殿下は農產室のうち特に羊毛、棉花、大豆等の工業用原料作物を極めて仔細に御覽になりそれに對する御說明を特に熱心に御聽取遊ばされた樣に拜しました、殊に御說明申上げる間いつも個々の陳列品の前に御起立約一時間に亘り終始端然たる御姿勢にてお耳を傾けさせられたことは申上ぐるだに畏いことで感淚に咽んでゐる次第であります、拜察するに御兄君陛下と共に殿下には殊の外博物學的方面に御興味を有せらるゝかの樣に拜しました

御熱心に御傾聽
誠に恐懼に堪へない
御說明者 村上滿蒙資源館長謹話

資源館の一般農產室、同參考室及び畜產室等における御說明は松島農務課長より申上ることゝなり不肖は殿下御加入の陸大生第二班を、第一班は立川、第三班は赤瀨川の兩所員がそれ〴〵分擔致しまして一般鑛產室並に參考室、地質調査所各部を御案內申上げました、畏いこと乍ら殿下には各室に於て御說明申上るごとに「ふむ〳〵…」とおうなづき遊ばされ終始御熱心に御傾聽を賜はりましたが誠に恐懼に堪へない次第であります

最初に 鑛產室の模型室から台覽遊ばされましたが、石炭陳列箇所に於ては殊の外御興深げに御觀察遊ばされたかに拜せられ不肖が母國の鑛產界と對比致しまして滿蒙に於ける原鑛物の狀態を言上致しましたところ、一般鑛產室の陳列品に對しては特に熱心にお眼を留めさせられたかの樣に拜しました、殿下が產業方面に特に御留意相成る御樣子のうかゞはれましたことは所員一同と共にまことに感激の至りであります

各所の風景をフイルムに
船中の宮殿下
高橋うらる丸事務長談

六日門司を出帆した日は時化ましたが、昨日は頗る好天氣で殿下にも御元氣にて一日デッキゴルフに興ぜられたが、そのお上手なのはスポーツの宮さまとしてわれ〳〵の仰ぎ奉るところであります、また殿下には至つて平民的に渡らせられ食堂も一般の一等船客食堂にて畏くも牛島少將、本間御附武官、蓮田陸大教官、新庄大阪商船事務長、岡本船長と食卓につかせ給ひ、夜は御部屋にて御讀書に耽けさせられ十時頃御就寢あらせられました、その他一般の陸大生と何等御變りなく船中に於ける陸大生の講話も學生と共に御聽取あらせられました、また殿下には十六ミリ撮影機で各所に於て御自らクランク遊ばされ下ノ關までのフイルムを同所より宮家に御送りになりました

無事大任を果した岡本船長
謹んで語る

殿下御乘船の光榮を荷つたうらる丸の岡本船長は語る

神戶出帆の節は非常に盛んな奉送で曾てないものでした、殿下には航路の島々についても種々御下問がありましたが、地理的微細にわたつて御研究になり私は御答へ申上げられず却つて殿下の方が御承知な位で恐縮いたしました、門司を出帆した六日晚は少し荒れましたが幸ひ大したこともなく無事大任を果しました、殿下は始終デッキゴルフに興ぜられてゐましたが非常に御上達にわたらせられ船川誰も御相手する者がない位でした、非常に御質素なことは驚くばかりで他の學生同樣、木綿の靴下に木綿手拭を御用ひになり、お居間に備へつけの手拭をさへお使ひにならずその御質素ぶりには船員一同も感激しました、食事もいつも他の船客と同樣食堂でとらせられ至つて平民的な御態度に却て他の船客が恐縮申上げた位です

專門的御質問に恐懼
岡部山本兩氏談

台覽競技の御說明役を承つた岡部平太、山本壽喜太兩氏は謹んで語る

殿下には終始御熱心に御質問遊ばされ專門的に御下問があつた、滿洲は趣味に乏しいから運動を盛にしたら好いと思ふとの御注意があり、殊に支那のスポーツに關して御下問あらせられ日支學生の對抗競技なんかやることがあるかとの御下問等があつた、又滿鐵社員はどの位運動をやるか又重役連も運動をやるかの御下問に對し重役は主にゴルフをやり非常に運動には力瘤を入れて下さいますし社員も大いに最近目覺めて體育ボールを作つてやつて居る旨を申上げましたところ非常におほめにあづかつた又ウインタースポーツの御話もありスキーが出來ると云ふことだが何處でやるのかと御質問に對し降雪が少いので盛でないことを申上げたところ非常に好いスロープがあるのにと申された又ラグビーの事は非常に專門的に渡らせられどうも滿洲のラグビーは內地に比べると餘り進步して居ない樣だ、オフサイドも餘り有り過ぎる、內地では此頃マークなどやらないやうだ一寸五年ほど前のラグビーの觀があると御批評遊ばされた、又[illegible]のプレーをおほめ遊ばされた、殿下のスポーツに御通じ遊ばされることは誠に畏い極みであります

安興卸子

滿洲館における秩父宮殿下御歡迎宴の御料理調進の光榮に浴した市內監部通り濱の家主人菊田鉢之助氏は宴後滿洲館にて謹んで語る

御料理は御膳向(初松魚土佐作、若君荷、柚子酢)御汁(身取鯛、柄葱、露生姜)御口代(鶉照燒、小鯛松前卷、荒磯戶、艶煮)御鉢物(一口南京入込煮、信乃多瓜、新里芋、小粒茄子)御溫物(火取鯛、みぞれそば、鶉玉子)御皿物(千石豆、八方漬)御茶碗盛(此花豆腐、早松茸、松葉)御酢香(鮑鹽蒸、鴫昆布押、花丸胡瓜、東防風)御椀盛(三州味噌仕立、川鱒、小かぶら、水からし)御飯、御香の物(白菜、胡瓜)御果物(メロン)同高杯盛(まんじ、ふどう)御菓子(銘、花ふぶき)で御果物、御菓子に至るまで一品も御殘し遊ばされず御召し上りの光榮に浴して身に餘る面目をほどこし感激のほかありません

特產

定期後場(銀建) [illegible]

現物後場(銀建) [illegible]

商品

後場(出來不申) [illegible]

錢鈔

定期後場(單位錢) [illegible]

現物後場(單位錢) [illegible]

神戶特產(八日)

[illegible]

東京株式(長期)

[illegible]

東京株式(短期)

[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	六五一〇	六四九〇
大新	五〇六〇	五〇五〇
鐘紡	一七二四〇	一七一六〇
新	七八七〇	七八一〇
日糖	不申	不申
郵船	四五九〇	不申
東新	九六八〇	九六八〇

大阪期米

限月	後場寄	後場引
五月	二七八七	二七八七
六月	二八〇二	二八〇二
七月	二八三六	二八二九

神戶期米

限月	後場寄	後場引
五月	二七八四	二七八〇
六月	二八〇八	二八〇四
七月	二八三五	二八三一

東京期米

限月	後場寄	後場引
五月	二七七一	二七六九
六月	二七八一	二七八二
七月	二八一一	二八〇七

滿日地方版

奉天

二名の馬賊　我警官に捕はる
人質で八千元儲け　逃走準備中惡運盡きて

六日午後三時頃奉天署の巡捕は市内宮島町六番地支那旅館天泰棧に一人組の怪支人が潜伏してゐるの[illegible]探知し、時を移さず警官隊が同棧を包圍し難なく逮捕したが被等の一名は蓋山縣生れ住所不定無職李閣臣事李喜山（賊名山林）(三七)他の一名は開原縣生れ住所不定無職田星五(三〇)と稱し

劉先生と　稱する馬賊頭目の部下で西安縣附近に於て掠奪強盗を働いてゐたが、その後支那官憲と交戰して四散した、その中頭目の劉光生は前記二名其他六名の部下を率ゐて昨年十一月西陵河水子の豪農王某を襲ひ同家長男王慶子(九)を人質として拉去しその身代金二萬元を要求中の處間もなく頭目以下過半數支那官憲のため逮捕された本年四月廿三日その片割なる李喜山、田星五、鄭子満の三名は人質なる王慶子を伴れ四平街より來奉し、夫々變名して奉天驛前瀋陽旅館分號に投宿し身代金要求の交渉を繼續五月五日夜現洋八千元を受取りて人質を引渡し鄭はその中

四千元を　得て同夜四平街に逃走した、一方李喜山は六日午前十一時頃北市場料理店雲發堂方抱妓女蓮舫(二四)を現洋六百元で落籍も千代田通りの支那貴金屬店で金腕輪一個、金指輪六個を購入し同夜三名共四平街に逃走すべく天泰棧に於て準備中を逮捕されたるものである

主家に三回放火
全家族を燒殺す目的　＝怖ろしい支那少年

去る四月九日十間房第五區湯屋業鄧直大郎所有新築家屋二階に何者か古新聞で放火を企てたが、其翌日にも又右家屋内に忍び入り階下物置に蠟燭で放火したものあり、更に雜戒中の處本月五日又も復前記家屋の隣家京兆軒理髮館王君兆方階上床板に紙屑及び燐寸を使用して放火したものがあつたが今度も早く發見され大事に至らず消し止めた、總領事館警察署では捜査の結果王君兆方使用人王職多(一九)を怪しと睨み七日朝これを逮捕し嚴重に取調べたるところ同人は昨年十一月右理髮館に雇はれてゐたが仕事が出來ぬので主人から苛酷な取扱を受けるので、その恨はらしに一家族を燒き殺す目的で三回放火を企てたる旨自白した

乞食狩
九十名捕ふ

奉天署では七日朝奉天附屬地内の乞食狩を行ひ九十名の收獲あり、一應取調べの上支那官憲に引渡した、右の中鮮人三名、露人二名を除く外は全部支那人であつたが今後も時々行ふ由

珍らしい烈風

七日は朝來烈風吹きまくり、市中は黃塵萬丈眼も明けられず殊に午後の風速は廿二米突と云ふレコードを作つた

公金を拐帶し　情婦と逃ぐ

北海道後志支廳屬手塚金吾(二七)は本年始め公金六千四百圓を着服し同所女給仕熊谷タケ(二〇)と手に手をとり逃走その親友たる龍鳳坑東案七號角川千里方へ最近來た形跡があると言ふので警察では手配中

枕木と石塊を　鐵道線路上に
撫順驛と古城子間で

時節柄警戒すべき列車妨害事件が一兩日前奉撫線に於て突發した奉天機關區機關手渡邊重三郞は本安藏の運轉する撫順驛を午後三時五十五分發車した古六十八列車（客車）が同四時十分古城子より西方百四五十米の地點進行中、軌上に怪しきものあるを發見急停車取調べると三尺位の枕木二本、石塊四個をならべ不逞の計畫をたてたものあり事重大なので沿線警備の守備隊側及び警察兩當局實地檢證目下犯人嚴探中である

九十八名の中から　七十四名合格
花柳病は皆無近視は多い　好成績だつた徵兵檢査

五年度在撫壯丁百名の徵兵檢査は六日午前七時より奉天春日小學校に於て檢査官高木奉天守備隊長、正醫官岸本遼陽衞戍病院長、副醫官米澤撫順守備隊附軍醫に依つて行はれたが、撫順壯丁は茲八年來の好成績で

花柳病の　如きは一名もなかつた
前記百名の內病氣屆出不參二名で受檢者九十八名の內甲種昨年は十五名なるに本年は廿九名、第一乙昨年は十五名なるに本年は廿一名、第二乙昨年は十一名なるに本年は廿四名で結局七十四名合格丙種は廿四名丁種は一名もなかつた、甲種のみの合格率昨年は二十パーセントであつたが本年は三十パーセント、全體の

合格率は　昨年は五十三パーセントなるに對し本年は七十五パーセントと云ふ好成績であつた
疾病で一番多かつたのは近視の十名で撫順の壯丁は大概中等學校卒業以上の者が多い關係上眼鏡使用者が二十五名もあつた、既報の彌生町三丁目の竹原重好君は見事甲種に合格し鬼の首でも取つたやうに狂喜してゐた

全奉ア式蹴球　優勝旗爭奪戰
◇來る十一日擧行◇

奉天體育協會主催の第三回全奉天ア式蹴球優勝旗爭奪戰は來る十一日（日曜）南滿中學堂グラウンドに於て擧行することとなつたが、七日まで參加を申込めるは左記十校で試合當日までには尙二、三校増加の見込みで盛會が期待されてゐる
（日本側）醫大、南滿中學堂（支那側）馮大、同普醫專、小河沿醫專、文會中學、平且中學、一中、農科中學、工科高中

町の便り

◇四洮鐵路視察中であつた在奉新聞通信記者團一行十名は六日夜無事歸奉した
◇小西關市場居住金炳泰(三六)は詐欺未遂にて懲役二ヶ月、朝鮮生れ住所不定元福充(一八)は竊盜罪で懲役二ヶ月、十間房柳華永(三一)は館令違反にて拘留十四日、撫順千金寨朴海山(三八)は竊盜罪で懲役五ヶ月金龍朱(一九)は竊盜罪で懲役三ヶ月、六日夫々判決言渡しがあつた
◇七日午前十一時五十分頃馮庸大學々生葉維翰(一九)が自轉車に乗り皇姑屯に向ふ途中驛前において滿鐵撒水用自動車と衝突し、葉ははね出され左上眼その他に全治三週間の重傷を負ふた

哈爾賓

吾等の町を語る
先づ靈の向上
植民地氣分を離脫せよ
三菱商事哈爾賓支店長　岡茂氏談

「明るい働きやすい町にするにはハルピンが經濟都市だけに精神的修養——靈の向上が必要です」とメソヂスト派のカテゴリー、信徒として每月一回は大連から必ず布敎師を招聘する三菱支店長岡茂氏の談——
◇
「私は大正三年に來ました、當時のハルピンは卑賤區にしても亦傅家甸にしても殆ど問題でなかつたのです、傅家甸は僅に一道街（現在は十二道街）角に一軒ちよいとした洋雜貨、吳服類を賣る店舖があつて、六道街に滿洲製粉會社が設けられたのが大正六年で一聚村に過ぎなかつたのに、十有餘年の今日——大廈高樓で埋つてしまつたのです、この發展振り超スピードの伸び方は特產物のお蔭です、當時、大豆は一布度三十錢內外でしたが、今は約其の三四倍となり總產額は五十萬噸——であつたのが、現在二十萬噸——內南行沿線は約七倍の三百五十萬噸を算し其の大部分が支那人を發展せしめることになつたのです」
◇
「どうして日本人は伸びないのでせう、何か缺陷でもあるのですかな」
「隨分缺點がありますネ、私の知つてゐるだけでも十有餘年の間に日本人の特產商が十三軒倒れました、先づ鈴木、小寺を始め一卿、協信、久原、增田、藤井岩等々——で其の倒れた原因は色にありますが大部分は料理屋ですよ、鈴木の人などのうちには三十日のうち二十日以上も料理屋に流連し、儲かつたと云つては吞み　損をしては飮むと云つた工合で、大小ともにお靑樓に蕩盡した金は莫大なものです、それだけならよいが、全部店のものがさうした調子になるのだからうまく行かぬのが當然ですな」
◇
「人件費の如きも支那人は大洋の五元位で濟むが、日本人は其の十倍も要るとか、ちよツと招待しても一夕の宴に金の二、三百圓は飛んでしまふのですから——然し是非必要な經費は別に問題ではない日本人は眞面目に働けば、そして日滿、日露の役に於けるが如き困苦に堪へるならば、決して世界の何處にも恐れるには足らないでしよう、が最も惡いのは俸給生活者も商人も植民的氣質のある點です、これは海外に住んでゐるのだから——と商人として立つには不眞面目となり、官吏、俸給生活者は自から身を損ねる結果となるのです、商人は破產する、俸給者は酒を呑み過ぎて動脈硬化症となる、彼自らが泥沼に墮ち込んで行かうとしてゐるのだ、これでは日本人は永遠に發展は難しいでしよう」
◇
「特にハルピンは過去の進步から推測すれば、鐵道の敷設によつて今後十三年間には現在の特產が五、六倍增加するとして、十年前には東支が運賃率を値下して浦鹽輸送に努めた歷史を反對に南滿も東支も共に輸送に應じ切れぬことにならう」
「この大勢からいつて、日本人が働くにはどうですか、これまでの缺陷の經驗でよいでしようか」
「まだ〳〵當地は日本人のみならず誰でも活動し得る餘地はありますよ、但し日本に居る考へで働くことを條件とし、且つハルピンが國際經濟都市として伸びて行く素質をもつてゐるから物質的に陶醉してはならない、することです、靑年向上の修養をことです、隙があれば麻雀をしたり、酒を飮んだり、ダンスをして夜ふかしするとか、さうして閑があれば勉強することです、ロシヤ語でも支那語でも一人前通り拔けてをれば生活に不安を來すやうなことはない、ヤレ俸給が少ないの、ヤレ待遇が惡いのといつて眞面目に働かないものは、自然的淘汰されるのは當然ですよ」
◇
「不景氣だと云つても、一生懸命働けば食へないことはないのです仕事がないと云ふのは、仕事を見つけない人のことだと私は思ひます、靑年團、誠志會でも私の希望としては每月二、三回は精神修養になる會合をするとか、體育の獎勵をするとか、有意義な生活をしたいものです、さうした團體が邦人を指導するならば、必ず健實な發展を求められます、私は半生の殆ど北滿で暮し、ロシヤ勢力の最盛期から支那の擡頭と其の變遷の多い民族鬪爭の話題史を見て、我々日本人の學ぶべき點が多くハルピンは實によい處だと思ひましたし斯うした實驗は他にありませんか」
◇
岡さんの哈爾賓觀は單なる觀測ではならしい、十有星霜の生活が愉快であつたのである、これでないと住める町は愛されぬだらう【寫眞は岡氏】

また腦膜炎發生
＝益々蔓延の模樣＝

又復六日流行性腦脊髓膜炎が發生した右は北臺町一の五越勝吉(二〇)で即時入院せしむると共に警察では交通遮斷大消毒を行つた、傳染病棟主任伊藤醫學士は語る
今年の腦脊髓膜炎は極めて惡性で前月來既に五名も發生した、傳染系統は今なほ不明であるから各家庭では充分注意を要す、特に幼少年に罹病者が多い、その豫防法としては外出先から歸つた時オキシフルの含嗽をやらし咽喉部をいためぬやうするに限ると

人事

▲多田第十六師團參謀　六日過奉北行
▲板垣關東軍參謀　六日來奉
▲宮崎關東軍々醫部長　七日歸旅
▲八木奉天高女校長　七日着任驛には同校職員生徒多數の出迎へがあつた
▲李吉海鐵路局長　六日長春へ
▲片瀨啓氏　奉天機關區長に五日附を以つて任命さる

◇鞍山中學校の學生一行は來る十八日午後四時半來哈、二村滿鐵社會課長は十二日チチハルから來哈の豫定
◇特別區警察管理處にては奉天當局よりの命により特別區管內の赤化宣傳を目的とする左翼分子を警戒するやう取締令を施行した
◇仙藁木樽九本田巳代之助から二男榮一(二四)が家出したまゝ行方不明であるから居所判明すれば御通知下さいと、ハルピン日本總領事館に捜査願狀を送付して來た、子を想ふ親心
◇二名の支那人共產黨員が支那側に逮捕された、廿一ヶ條文を懷中にしてゐる
◇領事館を襲擊した鮮人暴徒は東部琿阿城縣を根據地としてゐた者と判明、歸化しても鮮人は鮮人であると證明された

注目される—　鐘交涉員の態度
此の問題を機會に　歸化權問題の根本的解決

日本總領事館を襲擊した暴徒は支那當局の主張する處では、悪逆を有する鮮人であるから支那法により處罰したいと鐘交涉員は述べてゐる、韓僑歸化人同志會は吉林省城を中心にして昭和二年始めて正義府の首領株が勸告で成立したもので、在滿鮮人の各團體首腦者が秘密裡に會合し支那當局の庇護のもとに歸化權を拾得することを決議したが、正義、參議、新民府等の幹部會議も結局地盤協定が成立せず決裂したのである、當時

吉林當局　と我吉林總領事との間には該歸化問題に就いて折衝が重ねられ、今日に至るも未解決の儘で、今回の事件により根本的の解決を必要とする氣運となつて來た、鐘交涉員は吉林省の出身で本問題については十二分の豫備智識を有してゐるが、相當の責任あり單に歸化鮮人だからとの理由で引渡しを拒否することはできないでもらう

犯人を庇護するか　奇怪な支那側
◇……引渡を澁る

我總領事館暴行鮮人に對し八木總領事から嚴重交涉し犯人引渡方を支那當局に通告したことは既報の如くであるが、支那側は依然として歸化鮮人を理由に目下取調中と稱して交涉に應ぜず、寧ろ暴行犯人庇護し、事件を有耶無耶に葬つて暴行者を釋放せんとするの意嚮さへ有してゐると傳へられてゐるが、假なりとせば今や南京政府が主張せる法權回收に對し影響する處があらうと見られてゐる、

濱江雜俎

在哈鮮人婦女子のため一口金廿圓の二百口合計金四千圓を資本として婦人勸業所を設け失職せる婦女子や手に職のないものに賃仕事を與へ、將來は彼女等の精神向上と修養をも指導すると
◇
居留民會補習學校に二日から設けられた露支人への日本語科は、既に百餘名の入學希望あり盛況

夏物仕入期を控へて　冴えぬ哈市財界
輸組の金融狀態平凡

四月は夏物仕入期の注文品が到着する月ではあるが、ハルピン輸入組合の金融狀態から邦商の現在を視ると、貸出額に於て一千百餘圓を減じ、新らしい仕入も餘り行はれてゐない、いづれにしても一般經濟界は堅實以外にスペキュレーションを許さぬ時代であるから當然かも知れない、それでも一ケ月二十數萬圓の金融は行はれてゐるので、邦商が全然沈滯してゐると云ふ譯ではない、四月末現在は左の通り
出資金　[illegible]圓
貸出金（九〇口數）二六八、[illegible]
其の動靜は、貸出九六口に對し九二の回收、金額に於て回收は一一五四四〇圓八八に對し貸出一一四四一一五圓五三で回收金高は一千圓增となつてゐる、三月末現在に比較すると口數に於て四口增で前月と同樣平凡であるこれは財界の原狀維持を物語るものであらう

松江餘滴

張煥相の建立寄進になつたハルビン郊外の極樂寺▲八日は灌佛會で支那人の人出無慮觀衆十數萬とあり佛前の賽錢がトンズルの山▲飽警察處長は浴佛會に民衆が盲動してはならぬとあつて廟會を禁止し樣とした▲人間が多數集合すると暴動をすると假設してゐる飽君の頭腦の明晰さが判る▲盲滅法の取締には浴佛の開眼も必要だ▲飽君はカンカンの反共產黨だとあり▲人間の集合はよくないと禁止する處永垅佛性は少ない▲泥棒した兒にも繩捕がうらめしい▲群衆を赤化だ暴動だと愚信してゐる飽君を誰が濟度する?▲電信電話權は主權が支那にあるから監督權は當然支那のものだとの二段論法▲歸納者には首肯してよいが▲露支協定の精神がうらめしい▲「其第九條には東支鐵道の直接管理下にある營業に屬する事項を除き」とあり▲問題は東支の電話、電信が直管下にあるものなりや否やを先決問題とせねばならず▲其の點では東支の營業であることに疑ひがないから支那の主權は二重に及ばない結果となる▲だから監督權は支那にないとソウエート側は主張するだらう

鐵嶺

待たれた龍首山の　大◇野◇遊◇會
愈二十五日に決る　兒童運動會や寶探しもある

延期に延期を重ねた鐵嶺敎化聯盟及び緊縮委員會主催の鐵嶺全市民の野遊會は、七日地方事務所で協議の結果來る廿五日開催と決定した、會場は龍首山、午前十時を期して會場に集合、子供運動會や寶探しなどの餘興を加へ各種賣店を山上に設備し辨當は各自持參、用意無き者は會場に於て隨意求められるやうにする、會費は不要、健康增進の爲めにも終日春の一日を愉快に過ごさうといふのである

五氏に記念金
夫々贈呈す

前鐵嶺小學校職員たりし白髮、志田、鈴木、磯西、小野寺五氏に對し鐵嶺父兄會からの記念品贈呈醵金は百四十一圓に達したので下山會長から謝狀を添へそれ〴〵任地に送金した

豐田驛長辭任
近く歸鄕する

平頂堡驛長豐田賢次郞氏は今回職を辭し近く鄕里岐阜に引揚げると

「ヴオルガ來る」
けふ公會堂で

大連に封切上映されるや幾萬のファンを熱狂させたといふ泰西映畫「ヴオルガ」十二卷は今九日當地公會堂に上映番外として河合映畫特作杉狂兒鹿島陽之助等主演の「熱火の舞」全八卷がある、入場料は大人七十錢軍人四十錢小人二十錢と

遼陽

全遼陽春季運動會　競技種目決る
出場申込は明日まで

遼陽滿鐵運動支部では市中側も參加せしめて十八日午前八時から白塔公園グラウンドに於て春季大運動會開催の準備中であるが、當日運動競技に參加希望者は十日迄に地方事務所社會係迄申込まれたしと競技種目左の如し
▲百米、二百、四百、八百、千五百、忠魂碑往復マラソン、八百米リレー、棒高、砲丸、走高跳、三段跳、盲啞競爭、提灯、跛競爭、煙草、パン食、鯉摑み、抽籤借物競爭、緣の糸、瓶運び、洗面器被り、一人一脚、步度制限、戴嚢スプーン、白面競爭、障碍物、サツクレース、二人三脚、抽籤競爭、土嚢運び、假裝行列

適齡壯丁出發

昭和五年の徵兵檢查適齡者は遼陽在住壯丁で卅八名の處、內一名事故、卅七名が八日奉天檢查場に於て受檢、

白塔だより

遼陽警察署の橫田兵事係が引率出張した
招魂祭最初の企てとして八千米突マラソン競走が發表せらるゝや、靑年も老頭兒も地下に眠る英靈一萬二千有餘の慰安と云ふ意味で申込既に五十人に及び、當日は六十人以上に上らうと、體育獎勵にもなり結構の事だ▲滿鐵社會係は招魂祭に一人でも多く參拜さす爲め杵淵校長と相談の上招魂祭標語を作成し近日中兒童をして各家庭に宣傳すと▲日本で有力な生命保險會社が被保險者に保險金の支拂上ごた〳〵が起つて居るとの噂がある、早く解決せぬと會社の信用問題だとの風評

長春

讀書子の福音　圖書館を新築
神社附近の庭球コートを利用し　庭園を有つ壯麗なもの

長春圖書館は益々利用者が增えるが現在の建物は借家なので設備にも種々缺ける所があつて、今春地事は中央通り長春神社向ひ側テニスコートの場所を使つて理想的の圖書館を建設することゝなつた、新圖書館は中央通りに面して相當大きな庭園を持つ筈で、圖書館利用者にとつて一大福音である許りでなく長春市街に一段の美を添へるものである

今度は生活改善
家庭研究會が＝　一周年記念の新目標

長春家庭研究會は昨年四月創始以來各方面から歡迎されてゐるが、滿一周年を迎へるのを機會に今度は生活改善に向つて邁進すべく八日午後一時から滿鐵俱樂部に總會を開き隔意なき協議を遂げた

警備演習終了

長春守備隊は公主嶺騎兵隊と合同して五日午前九時から鐵道警備演習を開始公主嶺獨立守備隊の三浦大隊長が統監官となり三日間に亘つて繼續し七日終了した

ツーリスト　ビユーロー
移轉新築着手

長春のツーリスト・ビユーローは近く停車場前に移轉決定してゐたが愈々工費三萬圓を投じ停車場前廣場の一隅に建築することゝなつた、新建物は三層樓にて九十三尺に三十四尺だと

少女歌劇團來る

目下南滿各地巡業中の少女歌劇一座は來る九日來長、長春座に於て九、十兩日興行すると

普蘭店

春祭り賑ふ

普蘭店神社春祭は五日宵祭、六日本祭を施行し各戶國旗神燈を點じ神輿の渡御はなかつたが境內には子供相撲や福引等で賑はつた

淸潔檢査良好

普蘭店一圓の淸潔檢査は七日早朝より三街全般に亘りて施行、概して成績良好なりしと

鞍山

全滿素人相撲大會　前景氣頗る旺
九、十の兩夜は活動寫眞　大會の經費を捻出

鞍山に於て來る十八日擧行される全滿素人相撲大會の經費捻出の爲め、九、十の兩日演藝館に於て活動寫眞を開映するが當日入場者は相撲大會も無料入場出來ると、尙州外の奉天、撫順、安東、長春等では何れも二組宛の出場申込みあり、鞍山でも每夜猛練習を續け前人氣盛んである

軍人會員の　招魂祭參拜
十日午前發で　遼陽へ

鞍山在鄕軍人分會では十日午前九時二十五分發列車にて赴遼、招魂祭に參拜するが希望者は當日午前九時十分までに驛前に集合されたしと因に祭典後は自由解散

輸組四月業績

鞍山輸入組合の四月中業績は左の通りである
一持分　組合員數七十八名、口數二七一六口、出資金一三六、八〇〇圓、拂込尙一三四、〇二四一
貸付　本月貸付件數一七九、貸付高七五、六〇二圓、回收高七二、八〇七圓、月末現在件數四六〇件、月末現在貸付高一二三、〇五一圓

小學生旅行
旅大方面へ

鞍山小學校尋常六年男子三十七名女子三十二名計六十九名は木村、大倉、矢野の三訓導に引率され、六日午後十時半發夜行列車にて旅大視察に出發した

製鐵所見學

鐵嶺小學校生徒は八日午前十一時四時三十分着列車にて營口より來鞍し製鐵所を見學した

警備演習打合
菅原主計來鞍

遼陽駐箚第十六師團の各聯隊警備演習は六月より七月にかけて鞍山を中心として擧行すべく之が打合せの爲め、經理部菅原二等主計は六日來鞍し地方事務所に於て宿舍軍用品配給能力等の調査をなした

畜牛結核豫防注射

滿鐵下山多次郞氏は來る十五日來鞍し十八日まで四日間に亘り鞍山管內の畜牛の結核豫防注射及び檢査を行ふと

仁川公立商業學校生徒は九日午後四時三十分着列車にて營口より來鞍し製鐵所を見學した

開原

十一日は兒童デー
小學校庭で種々の催し

來る十一日の兒童デーには開原にては開原小學校々庭に於て午前九時より兒童愛護デーを開催し、幼兒並に兒童の遊戯童謠舞踊及び體育運動をなすと、尙當日は幼稚園及び學校に通學せざる幼兒にもお土産袋を呈する、兒童デー趣意書の配布、兒童愛護に關する標語ポスターの撒布も行ふ

春期慰安車
金溝子と滿井

滿鐵にては中間驛在住社員慰安のため每年春秋二回慰安車を巡廻して居るが、本年度春季慰安車は目下巡廻中にて來る二十日金溝子驛二十一日滿井驛に停車慰安する

安東

全鮮警視級異動
平安北道では四名

豫て噂のあつた全鮮警視級の異動は二日付發表された、內地移入警視界任及轉勤を合せて二十九名、退官十五名と言ふ近來の大異動であるが、森岡警務局長が朝鮮警察界の空氣を一新し能率の增進を圖る爲めに着任後初めて揮ふ大斧鉞である、此の大異動で
平北道保安課長橋口政義警視は咸興署長に、新義州署長古市金彌警視は釜山署長に、江界署長山下正藏警視は平壤署長に、楚山署長東川茂警視は仁川署長に轉補されたが、四氏とも揃ひも揃つて榮轉許りである、而して四氏の後任には靑森縣休職地方警視木村與惣吉氏が保安課長、忠北高等課長田中嘉一警部が警視に昇進新義州署長に、忠南大田署長武藤利三郞警部が警視に昇進江界署々長に、平北寧邊署長前出貴警部が警視に昇進楚山署長に任命された

警察の分駐所
六道溝に設置

密輸入取締り並に江岸警備の徹底を期する爲め安東警察署は新に六道溝に分駐所を設ける事となり、同時に半年に亘る懸案であつた海關監視所も近く開設される筈になつてゐる

幼兒用プール
六道溝に新設

滿鐵地方事務所社會係では近日中に六道溝桃源滿鐵プールの修繕工事に着手する事となつたが、同プールは小學生以上の專屬となつて居る爲め今年は更に幼兒專用プールを附近林間に新設する事に決定し、總工費は約九百圓にて六月下旬には完成の筈であると

競馬の三日目

安東競馬第三日は細雨に祟られながらも總賣揚高一萬六千九百餘圓で初日以來通算すれば四萬六七千圓の揚高となり、殘り三日間が雨に祟られざる限りは豫想の八萬は突破するものと見られてゐる、尙大連競馬終了で同地よりの參加もある筈で一層人氣を呼んでゐる

釜の中に　嬰兒死體
鮮支人の所爲？

去る五日安東縣滿鐵病院構內第三病舍後方汚物燒き場の釜の中に生後間もなき嬰兒の死體を投棄してあつたのを巡廻中の同昌橋派出所巡査が發見した、嬰兒は桃色の病院用ガーゼに包まれ鮮血に染まり脫脂綿の上に裸體の儘橫に寢せてあつた、捨場所を特に釜の中に選らんだ點と死體がガーゼや脫脂綿に包まれてある點が從來の鮮人や支那人の嬰兒殺し事件と趣きを異にしてゐるので當局の捜査は多大の興味を以つて注目されてゐる

金剛鐘乳洞の　探勝會

安東山岳會主催の平北寧邊郡地下金剛鐘乳洞探勝會は來る十八日午前七時五十分安東驛出發、同十九日午後八時安東歸着に決定した、募集團員は二十名以內で會費は金十二圓九十錢、參加希望者は來る十五日迄藤之口、原田、影山、相

吉林

劍道稽古納會
五日警察署で

吉林總領事館警察署では五日午後四時より劍道稽古の納會を行つたが、石射總領事、長岡副領事等列席し三本勝負より始まり次で公所員龍谷三段審判の下に高點試合を行つた結果
△一等木山部長△二等東巡査△三等竹中部長等夫々入賞した、終つて堀、山崎兩氏の帝劍道型があり盛會裡に午後七時頃閉會した

吉林研究會の　名稱變更か

吉林研究會では從來支那側から吉林省に內政其他重要事項でも研究するかの如く誤解を受けるので、此際「研究」の二字を適當なる文字に換へようとの意見が擡頭、近く改稱を見るであらうと

大學校起工式
七日擧行さる

吉林省立大學校の工事入札に關しては既報の通りであるが、起工式は七日午前十時より吉海線吉林驛附近の建築豫定地點に於て盛大に擧行された

苦闘を語る
創業廿周年を迎へて
南滿洲瓦斯株式會社に 富次專務を訪ふ

（四）

副產物のコークス、タールは主產物の瓦斯さへ賣れない狀態にあつた當時であるから尚更賣口がない、たま〳〵鑄物用にと思つて少量ながらも買ひに來る人はあつても瓦斯コークスはその用途に向かず、家庭用の燃料には極めて重實だが、これを餘り勸めると肝腎の瓦斯が更に賣れなくなる、瓦斯設備のない支那人方面には勿論賣れない、結局滿鐵の鑛業課（今の販賣課）を經て、市民に一手販賣を引受けせしめたが、最初の引受人は販路を見出すまでに潰れてまつたやうな始末である、

▽―△

タールも同樣、支那人方面に戎克の船底塗料とし或は泥屋根塗料として勸めても見たが、これは極めて少量で、タール・タンクには溢れる、仕方なくボイラーで焚いたものだが、今日では道路用として使用されるやうになつたから、コークスと共に販路にはヤツト困らなくなつた、

▽―△

創業當時、も一ツ惱まされたのは瓦斯原料炭である、當時の撫順炭といへば所謂千金寨坑の行炭であつが、これは非常に固まりの惡い炭質であつて、爐に入れて使用して見るとコークスは半分以上粉コークスとなり、塊コークスを拾ひ取つて瓦斯製造の燃料にするとあとは賣品にならない粉コークスだけになる、これは瓦斯工業に於て根本經濟に狂ひを生ずることゝなるので、凝固性の強い石炭を得たいと撫順の各層について炭質を試驗したが矢張駄目であつた、

▽―△

已むを得ず掘たてのピカ〳〵した新しい塊炭を取寄せ、これを粉碎して瓦斯の製造に充てたが、これでは餘りに炭價が贅澤であり、更に粉碎費までも加算せねばならぬ事情にあつたことである、今日では大山坑、東鄕坑の兩炭が凝固性に富み塊炭が切込みとなり、切込みが粉炭となつて瓦斯の製造費は著るしく低下されるやうになつた、

▽―△

開業當時は企業計畫書通りに千立方呎が三圓といふ料金で、當時の內地瓦斯會社料金二圓四十錢に比し非常に高率のやうに思はれたが、大連はその設備に巨額の費用を要することゝ、植民地だけに萬事が贅澤であるといふことから、三圓でも充分賣れるだらうとの意見から決定されたもので、何等の根據によつて制定した譯ではなかつた、

▽―△

當時、瓦斯の使用率が極めて少かつた理由は矢張料金が高價だつたこともその一つの原因であつたらうと思はれる、そこで開業早々自分は內地へ料金制定の根據を調べに行つたものだが、東京、横濱では別に根據はないけれど、最初から二圓四十錢にしたわけで、說明は出來ないが、多分英國あたりの標準をそのまゝ持つて來んだらうとのこと、大阪、神戶、名古屋等では東京、横濱が二圓四十錢にしてるからそれと同額にしたまでだと如何にも賴りない話であつた、そこで歸連後自分は當時の炭價と滿鐵の配當を基準にして、五年後に豫定量の瓦斯が賣れるとすれば二圓で賣つてもいゝといふ計算をたて、大いに說明に努めた結果、重役の決裁を得たので開業六ケ月後の十月から三圓を二圓に値下したが、當時としては例のない大英斷であつた（寫眞は開業式に招待の奉天側諸名士）

十月十日から施行の 貸借の時効法
邦人には適用されまいが 手續の必要はある

本年十月十日より實施さることゝなつた支那の改正民法施行にかゝる經過法たる貸借時效滿了、其他消滅事項の規定は該法にして若その効力が本邦關係者にも及ぶものとすれば、その影響甚大なるものあるので、關係當事者は至急相當の

對策を 必要とする、即ち該法總則第六章に依れば

一、法律に特に時效期間の規定を設けざる請求權は十五年

二、貸金の利息、不動產賃貸料、株式の利益配當金、其他一年又は一年以下の期間を以つて定めたる定期給付債權等は五年

三、旅館、飲食店及娛樂場等の宿泊料飲食費、其他運賃商人又は製造人の供給したる商品產物の代價等都合八種の債權は二年

と以上三種を以つて時效滿了、何れも消滅時效を

完成す ることとなつてゐる而して右時效中斷原因としては、請求、承認及起訴の三規定が設けられ更に同施行法第十六條に依れば、右に依りて消滅時效完成したるもの、或は時效期間に一年未滿の不足あるものは、該法施行の日より一ケ年以內請求權を行使し得とあるも、その但書に於ては時效完成後より該法施行時に至る間に於て、既に同法所定の時效期間の二分の一を越へたるものはこの限りに非ずとあるので、結局本年十月十日以後數ケ月にして時效滿了後より同日迄に時效期間の二分の一を經過せざる

債權は 同日より一年以內に於てのみ請求權を行使することが出來るが、十月十日に於て時效期間の二分の一に相當する時日を遡りたる時點以前に於て時效完成したる債權は、全然請求不能といふことゝなつたわけで、例に依つて支那式の隨分亂暴なる法令であるが、帝國政府筋では別に特殊の意思表示なき限り、本邦人に對しては當然效力なきものとしてゐる一般には至急相當の手續きに出づるが得策であらう

▽―新刊批評―△

▲**土曜講座講演集**（第一輯）社會の正しき輿論の喚起のため、社會敎育の使命と重要性に鑑み關東廳が毎週土曜に旅大兩地で開らいてゐる成人敎育土曜講座での各知名講師の講演集が本著である、藤根滿鐵理事の「滿洲の鐵道概況」其他、園山良平、森本大連地法院長、佐藤潤平、佐藤正典工學博士、西山正金大連支店長、津田旅順師範學堂長、金井滿鐵衞生課長、難波勝治諸氏の講演を載す（四六版二百八十二頁定價八十錢大連紀伊町中日文化協會發行）

▲**現代暴露文學選集**（第一期）表題の如く銘打つて先づ最初に七册を出版したがそのうち「ある私娼との經驗」と「バルチザンウオルコフ」の二册はつひに發賣禁止となり、近日改訂出版されるはずである

「暴力」（武田麟太郎著）は或る共產主義者の筆になつた都市勞働者の生活を深刻に表現しやうとしたもの

「熊の出る開墾地」（佐々木俊郎）は內地を追はれて北海道の新開拓地に依然たる貧乏生活をつゞける農民生活の陰慘な生活の內面を

「或る自殺階級者」（淺原六郎著）は子供は病んでゐる或るサラリーマンの家庭の生活內容を

「工場勞働者」（岩藤雪夫著）は煤煙と機械の中に生きる工場勞働者の生活を

「炭坑」（橋本英吉）は、或暗い鑛山勞働者の各方面の生活をそれぞれを、被壓迫者の立場から現はさうとしたものである、淺原氏の筆は流石に勵らされたもの、他の四人はそれと反對に率直に無技巧にと筆を進めてゐる例によつて所々に〇〇××の羅列を見るが、かうした種類の出版である以上、それは致し方もない事であらう、各册二百頁前後（定價各册三十錢、東京市神田區表神保町天人社發行）

紙上漫談（下）
高尾雄峰

『投機の解剖』

投機が如何に人間の運命を弄ぶか、てな事は皆百も承知か、二十五歲の若い男、頭は丸刈り、風采は頗る揚らねど、機を捉む事は一種の天才で、既に十餘萬の財を蓄へて居ると云ふ、其の横の五十男へ品卑しからず、されど衣服破れて見るかげもない人、これなん關西財界に鳴らした大實業家のなれの果ての由、時と所と因果律との二線の合する宇宙の一ポイントを巧に掴んだものが此の社會の偉人である、投機の字を考證するに機は幾なり、危なり、又稀なりとある、何れもキと音ずるけれども、幾はほとんどで、危はあぶない、稀はまれと解すれば、この一點を掴むことの如何に至難にして危險なるかゞ、ぼんやりながら分つて來る、けれど、人生の成功者にして未だ嘗て此機を掴むことを忘れたものはなかつたやうだ（ある取引所で―）

『ユーモアーと笑』

日本人にはユーモアーが無いと或る書物に書いてあつた、それにあるえらい人の講話も聞いた事がある、然し私は決してそうとは思はぬ、何故ならば日本の女性を見たつてわかる事だ、箸の上げ下しが可笑しいと笑ふ、人の歩み方が面白いとて笑ふ、まして彼女等が二三人集まつて居る處にそーつと立つて聞いて居ると、何か知らくすく〳〵と笑つてゐるのを見受けるからだ「娘十七八よく肥えよく笑ふ」とさへ云ふではないか、それから日本の俚言にも「笑ふ門には福來る」「笑ふ顏には矢立たず」「笑ふ顏に打たれぬ」「笑つて損した者なし」この終りの奴、少々いや時々當らぬ事がある、時と場合ではぶんなぐられぬとも限らぬから、まだ〳〵廣く調査したら笑に關する資料はざらにあらう、兎にも角にも日本人にユーモアがない、笑はぬ人種だとは間違つた見解ではあるまいか「アヽ」「アハヽヽヽ」「アツハツ〳〵」「ワハヽヽ」「ウフウフ」「フヽヽ」「ウフウフアハヽヽヽ」御婦人ならば「オホヽヽ」「オホヽヽ」豪傑は「カラ〳〵」「カンラカラ〳〵」北叟笑みに「エヘヽヽ」「エヘ〳〵エヘ」呂律の廻らぬ「イヒヽヽ」「イヒヽ」「イヘヽ」忍び笑ひ「クツ〳〵」「グツ〳〵」「クツリ〳〵」「クツ〳〵」「ブー」其他「ゲタ〳〵」「チラ〳〵」「キヤツ〳〵」「ムムムム」等がある麥の粉やむせて腹立つ大笑ひ。

人世を蝕はみ誰にでも傳染す！
癩病の話
醫學博士 小久保惠作氏（遺稿）

（一）

西曆一八七二年ハンゼン博士の癩菌發見によつて、癩は遺傳ではなく傳染性である事が斷定せられ、內外の學者は擧つて此の說を是認唱導する處となり、臨床醫學上に一新紀元を劃する事になつた。

×

此の業病が遺傳でない事は生理學上に於ても、男子の精虫及女子の卵子は他の微生物の介在する時は斷じて受胎せざる事實によつて證明されてゐるにも拘らず我國に於ては未だ「遺傳」と信ずるもの多く、從つて警戒を怠るために年々新患者が增加し今日に於ては世界第一の癩病國に列せられ誠に寒心に堪えぬ次第であります。（東京朝日所報）

×

抑々癩菌が人體內に浸入すると徐々に密集繁殖して外部に症狀があらはれるので此の間を潜伏期と云ひ一年乃至十年位に亙る事もある。

×

潜伏期中は血液檢査をしても癩菌は發見出來ず、僅に患者自身の感覺に異狀を呈するに過ぎぬものである爲め偶々、皮膚病、梅毒、神經痛、と誤られ枯息な手當てを施す裡に潜伏期が過ぎて昂進期に進むのである、昂進期に入ると病勢の惡化する速度は極めて迅く僅か數日のうちに顏面筋肉が膨張弛緩し果には腐敗せる梨の實の如く凸凹を生じ口唇は腐蝕崩壞して齒を剝き出すの醜怪極まる相貌となるものであるから吾人は平素警戒せねばならぬ。

×

既に發病せる患者は勿論本稿末尾の初期兆候に心當りの人は予の知友福田秋水氏（東京市下谷區車坂町九二ノほ號）に照介し治療書を乞へば小包便で無代送呈さる

傳染初期の兆候

（一）眉毛が痒く、搔けば粉が剝れ又は頭髮、眉毛、睫毛、腋毛陰毛等が徐々に脫毛する。

（二）多期になると顏、手足が褐色を帶び粗肌となり、或は擦傷或は、水疱を生ずるも夏になると治り亦は顏面を塗りし如き光澤あり而て顏面に熱を發し、逆上て頭痛を起す。

（三）鼻孔內に腫物を生じ鼻の疏通を缺き液は膿の如く粘り、而て偶々齶が爛れる事がある。

（四）躰の一部に小虫の這ふ如き感のする事あり、亦はチク〳〵と針を刺さるゝ如き痛みあるも瞬時にして熊む。

（五）睫毛が逆生し拔き採るも亦生え眼球を刺して痛く眼瞼もビク〳〵と痙攣しウルミて淚が出る。

（六）手足に脂肪氣なく、皮膚に皺を生じて老人の如く爪は白く脆くなり指先の知覺が鈍くなる

（七）田虫樣の頑癬を發生し、搔けば粉を剝す。

（八）躰の一部に知覺を失ひ亦は反對に此の部分に物が觸れば非常に疼痛を感ず。

家庭とコドモ

婦人參政權附與は時季尚早か

市川房枝女史談

婦人參政權問題を以てたまく時期尚早論を唱へたり、甚だしきに至つてはこれを阻止せんとして反對する者さへありますが、これ等の人は世論に反對し時代の潮流に逆らはんとするものと云はなければなりません、我々婦人は何が故に男子の爲すが儘に屈服しなければならぬのでせう、人類社會の半數は婦人であります、社會は決して男子ばかりによつて組織されて居るものではありません、社會も家庭も畢竟同じ事で、家庭が夫婦によつて作られ、そこに一つの政治が行はれてゐるのと同樣に社會も亦男女共力して築き上げられてゐます、それと同時に國家の政治が男子ばかりで行はれなければならぬと云ふそんな不合理な事はないと思ひます。國家將又人類社會の自由、平等、幸福のため婦人に對して參政權を附與する事は寧ろ當然過ぎる程當然の事で、決して尚早ではないと思ひます。彼の米國の禁酒法案は誰の手によつて爲されたのであるか、それは婦人大衆の努力の結晶であつたのであります。又公娼廢止運動なども我國では多年唱へられて來たのでありますが、たゞかけ聲ばかりで何等解決されず依然として取り殘されてあります、其の他幾多の諸問題が山積してありますが、これ等はすべて我々婦人の手によつて解決されなければ、何時になつても單なるかけ聲ばかりに失する憾みがあると思ひます。これ等の目的の達成を圖らんとするには、先づその手段として我々婦人大衆が一致團結し、婦選獲得の爲めに邁進しなければならないと思ひます。

敎專內讀物調査會の推薦兒童讀物
少年水滸傳外五種

敎專內兒童讀物調査會では第十八回例會で左記五册を推薦した

▲少年水滸傳　幾分の殺伐殘忍の氣分はあるが義によつて働く諸豪傑の心に引きつけられるものがある、四年以上、三島霜川著四六版裝幀乙、金の星社發行價一圓五十錢

▲少年王　在來の所謂童話と異り殆ど全部感激的な實話で明治大帝の人間味にあふれさせられた御仁德や「大震災記」における美しい逸話等、只單なる兒童の讀物としてのみでなく作者の抱負たる「家庭の人々の愛用婦人に向つての訓話材料として使用されることを切望」してよい本である、四年以上鈴木三重吉著菊版春陽堂發行裝幀甲、價三圓五十錢

▲木馬のゆめ　どの小話も總て子供の生活に親しみ深い玩具や虫けらや草花などを材料として之を童話風に詩情な筆づかひで面白く書かれてある、空想的で直覺的で二三年生の讀物としては申分のない書である、酒井朝彥著、菊版裝幀甲、金蘭社發行價一圓卅錢

▲日蓮上人　傑僧日蓮の面目躍如たるものがある、權勢にも怖れず法難を惡戰苦鬪し己が信ずる宗敎の傳道に努力する涙ぐましい迄の日蓮の姿が子供にも理解される程度によく現はされてゐる、五年以上程度、川崎春二著四六版裝幀乙、金の星社發行定價九十錢

▲ひらがなえばなしワンくものがたり　全部十二篇から成つてゐるが何れもワンくの話で父親がその愛兒をそばに置いて物語つてゐる樣な親しみの深い態度でしかも上品に書かれてある尋一、二年程度千葉省三著菊版裝幀甲、金蘭社發行價一圓卅錢

童詩

大廣場二年　若木節子

お寺のじぞうさま

じぞうさま
どうしたの？
おこつたやうに
だまつてる。

木

今まで
はだかだつた木も
靑いおべべをきた
だれに
かつてもらつたの。」

大チヤンノ モウジウガリ (98)

ハルミチ作　ジラウ畫

オモハヌ ヘウ ノ エモノ ニ イサミタツタ ドジンドモ ハ アシドリ モ カルク オクヘ オクヘ ト ズンズン ハイツテ イキマス 大チヤンタチヲ ノセタ ジドウシヤ ハ シヅカニ ドジンドモノ アトヲ ツイテ イキマス。

シバラク ユクト セントウノ ドジン ハ ナニカヲ ミツケテ ピタリト アシ ヲ トメマシタ「シヅカニ シヅカニ」「ナンダ？ ナンダ？」「アレヲミロ アレヲ」ドジンドモノ メハ ヒトリノ ドジンノ ユビノサキニ アツマリマシタ。

鶴田畫伯の講演會
家庭研究所で

渡佛の途次大連に立寄つた鶴田畫伯は滿鐵社會課の依賴により來る九日午後一時より播磨町家庭研究所に於て一般婦人のため繪畫鑑賞について一場の講演を試みる由、同氏は現日本美術學校敎授で太平洋畫會の重鎭である

＝献立と榮養＝

献立は　食物の各成分の合理的な組合せでなければならぬ、例へばビタミンAを多く含む肉フライや天麩羅にはビタミンB及びCを含むキャベツや海草を組合せる必要がある、汽車の辨當などにはカツレツや魚や馬鈴薯などばかりでビタミンBCを含む靑い野菜やトマトなどの類を添へないのがあるがこれは榮養價値から見て完全な辨當といふことは出來ない組合せから言ふと日本の刺身など

組合せ　は組合せから見て理想に近いものである、しかし、刺身とツマとが組合せられて始めて完全な食物となるのであるから、ツマを食ふのは見つともないなど言つて食はないのは間違つてゐる、世には榮養だとかビタミンだとかそんな面倒臭いことを考へる必要がない、食ひたいものを食つてゐればそれでいゝんだなど〻濟ましてゐる人があるが、本人の氣づかないところに榮養上いろくの缺陷が起つてゐるのである（醫學博士佐伯矩氏談）

ブルクント ラヂオ

メ ヲ ツブツテ ラヂオ ニ キキトレテヰマス

「ボツチヤン バカリ キイテヰナイデ ボク ニモ キカセテ チヤウダイ ヨウ」ブルクン ハ ボツチヤンニ ネダツテ ラヂオ ノ レシーバー ヲ アタマニ カケテモラヒマシタ「アー キコエル キコエル、オモシロイナー」ブル ハ

カメラ遍歷 水產試驗場の卷【上】

お次は關東廳水產試驗場　老虎灘線の終點凉見棚で電車を降り約一丁ばかり後もどりをすると風光明媚な靜ケ浦の入江を前にして木柵をめぐらした平家建の小さな木造建築物がある、これが卽ち水產試驗所だこの建物に隣合せて活動常設館のやうなコンクリートの建物があるが、これは近年建增した別館ださうである。

門を入つて玄關のドアを押すと建物の中は人つ子一人居ないやうな靜けさだ、左側の事務室らしいところを硝子越しに覗いて見ると事務員らしいのがひとりぽつねんと机に向つて何かやつてゐた、廊下を掃除してゐた日本人の小使に來意を告げると

「どうぞこちらへ」

と別館の方に案內される

◆　◆

こゝの所長は關東廳殖產課主任が兼ねてゐるので本日は不在庶務主任の近藤氏及市村氏が交々話してくれる

◆　◆

元來水產試驗場といふのは殖產事業の一つであつて、漁業の指導機關である、昔の漁師は祖先傳來の捕獲法でやつてゐてそれでよかつたのであるが學術の進步した今日では舊式な漁撈法ではせち辛い生存競爭に打ち克てゆくことが出來ない、魚は海に網を入れさへすれば必ず獲れるものとは極まつてゐない、昨年の何月何日には××島の附近で海老がうんと獲れたから本年も同月同日に網を入れたら屹度獲れるだらうと思つても、どつこいさうはいかない、網の下には常に鰕が居るとは極まらないのである、氣候、溫度、潮流、さうしたものゝ變化は直ちに魚族の棲息位置に影響して來る、本年はいつ頃どこに網を入れたらいゝかさうした豫想は學理的研究の結果として地圖の上にちやんと現れて來る、漁師は一々水產試驗場の指揮を仰いで船を動かせば必ず大漁が得られ、魚が澤山捕れゝば市價が安くなり、一般家庭の食膳が大いに賑はふと言つたわけで水產試驗場の存在は間接的に我々の臺所に影響して來る、こゝに於て我々が水產試驗所の仕事のアウトラインを知ることも强ち興味のないことではない筈だ。

◆　◆

現在關東廳水產試驗場でやつてゐる仕事は漁撈、製造、養殖、海洋の四部に分れてゐる、此四つの中で一般漁業と最も密接な關係のあるのは海洋調査であつて、海洋調査が完全でないと魚族の棲息位置をはつきり知ることが出來ないこゝの水產試驗場では絕えず船を出して大連から對岸の山東高角約百哩の間山東高角から朝鮮沖の大靑島間約百哩、及山東角から南方百哩の間の海底の狀況、海流、水溫、海水の比重、微生物等を絕えず調査研究してゐる、こうした調査を材料として詳細な分布圖が作り上げられるのであるがこの地圖を見るとどこには何日頃どんな魚が集つて來るといふことが手に取るやうに分るのである＝此項未完

寫眞說明
上＝關東廳水產試驗場の正門
下＝製造試驗室

探偵小説 **女妖** (84)

江戸川亂歩作　横溝正史　伊藤幾久造畫

古塔の老婆（四）

澁子は郵便配達夫に別れると大急ぎで河内邸へ向つた。

自分の他に二人も河内邸の事を聞いた者があるといふ事は、何となしに、彼女を不安にさした。ひよつとすれば、自分の敵が自分を出し拔かうとしてゐるのではなからうか。今自分の目的としてゐる事を、彼も亦先廻りをして探り出さうとするのではなからうか。

澁子はどちらにしても、これは一刻も猶豫ならぬと思つた。

河内邸といふのは、シャトワール村の、殆ど端づれのところに建つてゐる。見るからに陰氣な、古びた建物だつた澁子はその表門のところに立つた時、何かしら異常なおののきを感じた。それは、そのの建物から來る、一種不可思議な威壓するやうな匂ひのためであつたらうか。それとも、何か又、他の理由があつたためであらうか。

河内邸の門を入ると、右の方に小さな窓がついてゐる。それが臨時に拵へられた村役場の受附らしかつた。澁子はその薄暗い受附の前に立つと、

「一寸、お訊ねします」

と聲をかけた。

と、奥の方から、五十格好の、見るから田舎の村役人らしい爺さんが、よぼよぼと奥の方から出て來た。

「はア、何か御用かね？」

「あの——。一寸、謄本を見せていただきたいのですが」

「謄本、はア——。して誰のものですな」

「河内兵部の子孫を知りたいのですけれど……」

「河内兵部？」

役人は眉をひそめた。

「えゝ、河内兵部——たしかこの河内邸の主人だつたと思ひますが……」

「おかしいな」

役人は首をかしげながら「今日はどうも變だぞ。河内兵部の事を訊ねて來たのは、今日はこれで三度目だぜ」

「えゝ？」

澁子は又しても思はず息を呑み込んだ。

「まアあたしの他にも河内兵部の事が聞いて來た人があるんですつて？」

「ありましたよ。しかも、たつた今のことですよ」

爺さんはさう言ふと、ごとごとと立つて奥へ引込んだかと思ふと厚い謄本の綴りを抱へて持つて來た。

「さア、御覽なさい。その代り、後でちやんと返してくれなきやいけませんよ」

「有難う。ぢや、一寸……」

成程、さういへば、大抵かうした役場の謄本といふものは垢にまみれてゐるものだのに、こればかりは綺麗に垢もついてゐない。たつた今誰かが見たものだと直ぐ分る。

澁子は大急ぎで河内兵部の部を引いて見た。

河内兵部——

一八一七年、シャトワール村に産る。

河内史郎の長子、一八六〇年死亡。

長子、河内楷樹、一八三八年生る。

山科珊子と結婚。

翌年長女、かづ子出生——

茲まで讀んで來て、澁子は突然はつと息を呑んだ。

驚いた事には、それから後にあるべき筈の頁が、無殘にも引裂かれてゐるではないか。

誰かが引千切つて行つたのだ。切口の新らしいところを見ると最近に千切つたものに違ひない。

「やられた！」

澁子は思はず眞蒼になつた。

御滯連中の秩父宮殿下

譚家屯大廣場に於て大連空前の大分列式

殿下の御資格を以て御親閲　光榮の四千七百名

秩父宮殿下には午後三時五分大連運動場南方廣場の御親閲場に御到着、君ケ代喇叭吹奏裡に御臨場遊ばされ在郷軍人、學生、靑訓生、少年團の各參加團體の敬禮を受けさせられて

關東軍司令官 より差遣した芳山に召され馬上御勇姿颯爽として殿下の御資格で愈々御親閲が始まつた、總指揮官岩井豫備陸軍少將先頭に立ち本間御附武官、三宅參謀長、太田長官、高柳中將、伍堂中將、内藤少將、井上工大學長、二宮憲兵隊長、水谷民政署長事務取扱、保々滿鐵地方部長、平野同庶務課長等も馬上にて扈從し先づ左翼在郷軍人團より順次御親閲あり、場を一周遊ばされ所定の假御座所に御歸りになるや岩井總指揮官殿下の右に侍り號令一下參加團體四千七百名の大分列式が始まつた、在郷軍人團を先頭に工專、一中、二中、商業、靑訓、育成、少年團の順序に步武堂々と

殿下の御前を 行進し場内を一周す、特定陪觀者、一般參觀者は、さしもに廣き場を埋めこの大連では空前の大分列式の見事さに恍惚となつた、同三時三十分分列式を終り水谷奉迎委員長代表し一同の最敬禮を受けさせられ君ケ代吹奏裡に殿下は御退場、直ちに運動競技台覽のため大連運動場にならせられた

皇太后陛下　多摩御陵御參拜

【東京八日發電】六日大宮御所に御移轉あらせられた皇太后陛下には八日午前十時十五分入江大夫以下を從へさせられ御所御門原宿より汽車に召され正午多摩御陵に御成り親しく先帝に御移轉の儀を御奉告遊された尚ほ御陵所において午餐を摂らせられたる後先帝の御領權、檜、樅等を御手植ゑ遊ばされ新緑の神苑を御賞覽遊され午後三時十分原宿驛御還啓あらせられた

大連窯業會社や中央試驗所　大連工場等を御巡覽

御巡行遊ばされた御辨當にて御晝食を終らせられた秩父宮殿下には八日午後零時五十一分大連滿鐵社員倶樂部を御出發、御順路大連窯業會社に向はせられ、電園下を御通過東關街にて車上より初めての支那街を御覽遊ばされつゝガード下を大連窯業會社へ午後一時御成り中島社長以下の

奉迎を 受けさせられ陸大生第二班として中島社長の御説明にてガラス工場に進ませられカット・グラス製作部にては製品を一つ〳〵御手にされて御覽あり、いと御興味深げに中島社長に御下問あり御豫定の御時間以上に御見學あつて同一時半窯業會社を御出發電車道に沿ふて伏見臺の中央試驗所に御成り、佃良所長代理の御説明にて階上應接室に於て大豆抽油、高粱、石炭、マグネサイドの滿洲特殊の工業に關して御聽取、次いでマグネシーム實驗場より大豆抽出研究工場を御巡覽あつて午後二時中央試驗所御出發、電車道を水源地に出でさせられ、大正通を沙河口神社前を左へ

御順路 には小學生及び市民が整列して奉迎送申し上げるうちを大連工場へ御着、船田工場長の御説明にて近代科學の躍動する機關車工場にてはクレーンにお目を止めさせられ各職場を經て屋外の各種貨車を御覽の上三等客車より御乘車、車内を二等車、一等車と御巡覽御下車の後、石炭車の特殊裝置の操作を御注目あらせられ午後三時大連工場御發、陸大生一行と離れさせられ御順路御親閲場へ向はせられた

御巡覽畫報

[一]

[二]

[三]

[四]

(一)譚家屯大廣場における御親閲(二)同上分列式(三)大連運動場における國旗掲揚式(四)大連工場御巡閲(×印は殿下)

賀陽宮殿下　元山へ　朱乙溫泉御立寄

【京城特電八日發】參謀演習御參加のため御滯城中なりし賀陽宮恒憲王殿下には京城における演習を終へさせられ七日午前八時五十分京城驛發列車にて將校四十名と共に元山に向はせられたが殿下には元山より更に羅南會寧に赴かせられ朱乙溫泉に御立寄りの筈にて十二三日頃には再び御寄城の御豫定であると

全市學生らの體操、競技を台覽　大連運動場に御成

御親閲を終らせられた秩父宮殿下には再び自動車に召され、スポーツの宮さまとして畏くも大連運動場に成らせられた、運動場三方オープンのスタンドは各學校生徒、在郷軍人、靑訓員、少年團で埋められた、午後三時三十分殿下が御到着

會場内の 奉迎者は一齊に起立脫帽して御迎へ申し上げた、殿下には御影池學務課長の御先導にてメーンスタンド正面上段の設けの席に御着席滿鐵音樂會の君ケ代奏樂裡に茂木善作、宮畑虎彥兩氏の手でスタンド中央前二本が檣頭高く日章旗掲揚された、かくてラグビーは岡部平太氏其他は山本壽喜太氏御説明役を承り直ちに豫定のプログラムに入つた、神明、彌生、羽衣、女子商業、四高女の生徒ハ約

千九百名 の胡蝶のやうなマスゲームは津上ツヤ女史の指揮にて見事に行はれ、公學堂生徒、尋常科男女、兩生徒のリレース終り、坂本次人氏指揮の全市小學校男生徒公學堂生徒等の合同體操あり、次いでリレー出場選手および滿鐵、醫大ラグビーチーム競技役員一同は中央御座所直線コース上前に整列、殿下から御會釋を賜り、同四時二十分より滿鐵對奉天醫大のラグビー戰に移つた、試合は同五時二十五分終了したが殿下には終始御熱心に台覽あらせられ再び全員起立の裡に御機嫌麗しく同三十分御退場遊ばされた

秩父宮御覽　校歌や舞踏を　同船した女學生の光榮

八日入港した光榮のうらる丸三等室には滿鮮修學旅行の帝國女子藥學專門學校學生五十四名及び愛媛女子師範學校生徒百二十二名が乘合はしてゐたが、七日午後三時より二等食堂に於て陸大幹事牛島少將より同女學生團に對して「秩父宮殿下の御日常」と題して講話があり、右終つてから一同三等デッキに出で藥專學生は校歌を合唱し愛媛女子師範生はダンス、體操をなした、殿下にはブリッヂにお出ましになつてこれを御興深げに御覽あらせられた、後で學生團一同に對し殿下より御菓子を御下賜になつたが一同は今更殿下の御平民的なのに感泣して皆御下賜の御菓子を大切に保存し家に持つて歸つて兩親にも分ち與へると大喜びであつた

社員倶樂部と滿洲館御成

殿下には順路大連滿鐵社員倶樂部に向はせられたが、電園下廣場の上空には本社の氣球が奉祝の大文字を掲揚して敬意を表し奉つた、大連滿鐵社員倶樂部にては御小憩後仙石滿鐵總裁代理として大藏理事の「滿鐵の事業に就いて」と題する御講話を聞し召された後、午後六時二十六分夕闇迫る社員倶樂部を御出發、滿洲館における滿鐵總裁御招宴に台臨、御晩餐後午後九時四十分滿洲館より御假泊所の大連ヤマトホテルに入らせられ、玄關より二階貴賓室の御部屋まで寺澤支配人が御導き申し上げた、殿下には御休憩の御暇もなく引續き一室に陳列申し上げた大連各中等學生、小學兒童、公學堂生の手工圖畫習字の成績品を台覽後滿洲に於ける最初の一夜を過ごさせ給うた

台覽競技の成績

▲公學堂男子四百米繼走

一着　西崗子チーム(周家禎、王宗文、劉汝堂、王士金)五七秒六

二着　伏見臺チーム(盧南春、李楨芳、張春霖、桃明智)

三着　沙河口チーム(孫世章、李福升、劉人財、劉思福)

四着　土佐町チーム(潘泰霖、楊鳳桐、趙洪義、陳德林)

▲小學校尋常科女子四百米繼走

一着　春日チーム(飯島久米子、山田八重子、沖野陽子、國廣信子)一分〇一秒四

二着　朝日チーム(秋元德子、平原正子、吉野朝子、內田節子)

三着　聖德チーム(日塔滿子、西末子、內山智惠子、入江直)

四着　大正チーム(鈴木喜代子、江頭ヨシノ、熊谷利子、牧山ユリ子)

▲小學校尋常科男子八百米繼走

一着　伏見臺チーム(吉村健治、山口幸男、石河陽二、中村留士)二分〇六秒二

二着　聖德チーム(河野治郎、久保田正登、壽丘山銘吉郎、川上久芳)

三着　朝日チーム(山田信輝、折井宏、奧壽一、池田大作)

四着　常盤チーム(倉橋榮造、横田優、河田匡起、池田融)

▲全滿鐵十六―九奉天醫大

滿鐵　11―3 / 5―6　醫大

(主審渡邊諒氏、線審大石强、今井卓藏兩氏)

經過

◇前半　醫大トスに勝ちプール側に陣し滿鐵キックオフ▲直に滿鐵攻入りしも醫大もり返へし二十五ヤード內に入りしも田中の强張りとFWのドリブル効を奏して敵二十五ヤード內にもり返せしもトロップアウト、四分六分共にチヤンスありしも成らず九分醫大一擧米港のダッシユでゴール、ポスト前まで攻入りしも成らず漸く十一分滿の反則でプレスキックを得西內プナルチーゴール成り三點を先取す▲十六分滿二十五ヤード內で醫大の反則でプレースキックを田中ゴールをねらひしも球左ポスト近くに落ちしを高橋とび込んでトライゴール成らず▲二十一分滿敵十ヤード附近ルーズの球井上高橋と渡りしも成らず二十五分ポスト前ルーズの球田中浦野と渡り左ポスト、フラッグ中間にトライ、ゴール成らず▲二十八分峰十ヤードライン附近よりロングキックして二十五ヤード內に攻入り後醫大TBパスを浦野インターセプトし左ポスト近くにトライ高橋のゴール成るその後一進一退にしてハーフタイムとなる

◇後半　▲醫大キックオフせしもセンタースクラムとなり、直ちに攻入り壓迫を續く十分漸く右五ヤード前ルースの球を弓道もぐつてトライ、ポストにあたりゴール成らず▲後滿FWドリブルで敵陣に攻入りしもチャンスを逃し二十五分FWパスの後古瀨のパンドを高橋とび込んで左ポスト寄りにトライ田中のゴール成る▲醫大力鬪よろしく滿を壓迫し二十五ヤード內で競合ふ二十七分滿の反則で平野ゴールをねらつて成る▲二十八分滿FWドリブルの後田中、浦野、古瀨と渡りチヤンスと見えしも成らず壓迫を續けながら遂にタイムアップとなる

(滿鐵)　月田　手邊　岡　泉川　口瀨　上高　中野　橋尾　／　上平　井渡　辻今　金野　古井　森田　浦高　峰

(醫大)　田場　下日　居川　村下　井淺　島川　野川　內　／　中弓　大靑　折熊　今木　酒米　中澄　平立　西

FW　HB　TB　FB

十日の御日程　御滯旅第二日

九日夜御假泊所旅順ヤマトホテルに御一泊あらせられたる秩父宮殿下には、十日午前八時御旅館御出發、先づ水師營會見所、同西南方高地に成らせられ關東軍參謀の講話を聞召され、それより二〇三高地に御登攀、三宅少將、本田陳列館長より説明を御聽取、同所にて御晝食、午後二時將校集會所に成らせられ太田關東長官、畑軍司令官、厚東要塞司令官、草場步兵中佐等より講話を聞召されて御發、同四時三十分博物館に御着、津田師範學堂長より説明を御聽取、ヤマトホテルに御歸還、午後六時三十分より長官々邸における關東長官の御招宴に台臨あらせられる御豫定である

小日山前理事退任告別

滿鐵理事小日山直登氏は七日附を以て正式に退任したので九日午前十一時三十分より本社會議室にて在連社員に對し退任告別をなす筈而して右告別が終つた後記念撮影をなす筈

聖德太子大祭

市內聖德街、聖德太子の春季大祭は九、十の兩日にわたり執行されるが、兩日とも午前七時から祭典を行ひ、第一日は御輿の渡御があり第二日は午前九時一同着席、聖德、藤浪兩校生徒の奉贊歌について僧侶讀經、會長の祭文奏上、參列者の禮拜があると

全滿料理業者聯合大會

全滿料理業者聯合大會は八日正午から西園亭で開會、各地同業者二十五團體出席白川大連三業組合長座長席に着き議事に入る、聯合會規約の一部改訂を行ひ、各地提出の議案二十二案は委員附託となり次年度大會主催地は奉天と決定午後五時三十分散會

說諭願ひ　レヴュー團員に

さきに常盤座に大艦レヴュー團員として出演中であつた、伏見良子桃山タエ子の兩名は同團解散後大連にて新劇團を組織すべく當地に居殘つてゐたが、數日前大阪我孫子警察署より小崗子署に對し金四十圓を添へて兩名の歸國說諭方を移牒して來た、同署では直ちに兩名に對し歸國方を促したが、兩名は兩親の諒解のもとに來連したからと稱して歸國を肯ぜないので同署ではこの旨我孫子警察署へ移牒した

福田博士逝去

【東京八日發電】福田德三博士は八日午後二時半慶應病院にて逝去した

料理店荒し捕ふ

去る一日市內伏見臺料理店一樂方へ四人組の無賴漢が押しかけ歸國旅費を强要した恐喝犯人については市內各署に於て搜査中のところ、六日夕方伏見臺曉翠軒に前記四名が押しかけ恐喝手段で金五圓を受取り逃走したとの急報により犯人嚴探の結果、七日午前八時ごろ市內丹後町堀本明方へ四人連れで立ち寄つたところを大連署員に檢擧された

大連紙廣告祭擧行

大連新聞社では十日午前十一時より電園下において廣告祭を擧行し廣告行列を行ひ、十一日は午後六時半より大連劇場において感謝の夕を催し九日午後六時よりはラヂオ放送をなすといふ

片野代議士等有罪

【秋田八日發電】秋田縣第二區選出代議士片野重脩氏及び秋田縣會副議長佐々木孝一郎氏外前縣議七名にかゝる選擧違反事件は七日いづれも有罪と決定し公判に附せられることゝなつた

本社見學

鐵嶺日語學堂生徒二十三名は八日來連、野島敎諭に引率され本社を見學した

實業・滿倶野球戰　六月八日から擧行に決定

試合日數を短縮、八日間に三回戰　審判に新田　錢村兩氏招聘

わが滿洲球界の模範野球戰として好球家の人氣を集めてゐる本社主催の實業野球團――滿洲倶樂部の對抗野球試合は八日に大連ヤマトホテル特別室に於て實業團側より宮崎憲一監督、安藤敬主將、中島議彌、若槻五郎兩選手、滿倶側より中澤不二雄監督、疋田拾三主將、芥田武夫、片岡秀雄兩選手、本社側より佐藤編輯局長、本村庶務部長、山口事業部長、立上運動部記者參集協議會を開催した結果、左記の日取により昭和五年度の定期戰を擧行することになつた、なほ今回決定された期日は從來擧行されてゐた日曜日毎の對戰を變更して、三回戰を八日間の短時日に擧行することゝなつたから一層この試合に對する興味は加はるわけである

第一回戰　六月八日(日曜日)實業球場で二時三十分より

第二回戰　六月十三日(金曜日)滿倶球場で三時より

決勝戰　六月十五日(日曜日)實業球場で二時卅分より

なほ審判官はリーグ專屬審判の

新田恭一(球審)

錢村辰巳(壘審)

兩氏を招聘することに決定、目下交渉中である、因にメムバー交換は五月二十六日正午本社會議室に於て行はれることになつた

三吉積罪物語

大庭武年作　浅枝次朗畫

【六】

夜空に高く白帆を揚げて、千石船の如月丸は、船底一パイに積み込んだ米俵を、當時饑饉で米價の暴騰してゐる上方の地へ急送する爲めに、折りからの月明を浴びて隅田川河口を勢よく出帆した。景氣のよい出船の氣分が、立ち働らく船夫たちの心の中に躍つてゐた——

それから毎日の海上生活に、三吉は不馴れの仕事ながら、狙ひ使はれるまゝに一生懸命働いた。最早捜索を逃れた事と信じた彼は、この上不貞腐れるのは餘りに幸運を惠んでくれた神に對しても濟まない次第だと考へた。それよりもなほ彼は已の犯した罪を坐視するに耐へられない氣持があつた。彼は爽快な海上の仕事に總ての身心を委せ切る事によつて心の平和を保たうと考へた。

又、彼は今後必ず正面な道を歩いて少しでも立派な人間になる事を心に誓つた。たとへ怖るべき兇状持の身であつても、さうすれば多少でも身の罪は償はれてゆくに違ひないと思つた。然も彼の罪は外見こそ怖ろしい殺人であつても若し公平な眼が裁いてくれるとしたら、それは正當な防衛と——認めてはくれないだらうか。彼には始めから惡意や殺意があつたのではない。もしお關の態度があんなに邪慳なものでなかつたら、あんな血腥い事件はひとつも起らずに濟んだのであつたらう——三吉はさう考へては、ともすれば荒み勝ちな心を慰めてゐた。それにしてもその時その時のめぐり合せの惡さには自分ながら口惜涙がこぼれるのだつた。

——だが、三吉らには計り知られない匪命の手は、既に江戸を遠く離れ遙々と涯しなく續いた海原の上を走る船の上にまで及んでゐたのだつた。それは出帆後二日目の午後だつた。

「——なにしろお前さん、もうその日のさるの刻には瓦版が出たのだ。それあ大した評判さ、深川六軒堀の二人殺し、殺された女の方は深川小町と云ふ素晴らしい別嬪だつて云ふんだから、これぢや人が騒があな。なんでも御檢視の役人衆さへ、あんな女をむざむざ殺すなあ惜い話だなんてひそひそ話してゐたさうだよ」

船の舳の板の間で、煙管を片手に恁ふ話してゐるのは三州屋と云ふ綿商人だつた。彼は村田屋の好意で荷船に便乘したゞつた一人の乘客だつた。聞き手は手の空いた三四人の船夫たち——それに平助がまじつてゐた。

「それあ何とも惜い事をしたなあ——」年を取つた船頭が邪氣のない笑ひを浮べ乍ら言つた——「それでなにかい、その殺されたもう一方の、男と云ふなあどう云ふ男なんだい」

「それがさ」——三州屋は煙管をぽんとはたいて云つた——「どうも釣り合はねえ話だが、そつちの方は四十すぎの醜男で、附近でも評判のよくねえ遊び人だと云ふのだ。岡燒半分に無理心中だらうなんて云ふ人もあるが、やつぱりそれが女の情夫らしいんだよ」

「成程ね」

聞き手は仔細あり氣に頷いた。

「ぢやその、二人を殺した男つてのは、かいもく目鼻はつかねえのかね」

その時恁ふ訊ねたのは、人々の後に足を投げ出してゐた平助だつた。

「なんの、それあちやんと分つてゐるんだよ、なんでもその女の以前の情夫でやつぱり無頼漢の若い男だ相だ。てもなく總の意恨返しさ。奴さんうまく逃げたつもりなんだが、やつぱりお上の目は逃れねえ、裏から出る所をちらりと顏を知つてゐる人に見られて了つた。すぐに人相書が廻る——話によるとこつちはなかなか好い男で、なんとかの三吉、さうだ小鷹の三吉とか云ふ男ださうな——」

「へえ——それあ不思議だ。殺す男が好い男で、女と殺される男が醜男だなんて。なにかやつぱり因念ものだらうな——」

一同は思ひ思ひに感じたやうに小首をかしげた——ギクリとしたのは平助だつた。偶然あの三吉では？と思つたが、色眼鏡で見るとどうやらその頃の三吉の擧動に腑に落ちない所があるやうに思はれる。第一稼業變えをしたいなぞと相談を急に持ちかけてきた事から可訝しいものだ——平助は首を垂れて、ぢつと考へ込んだ。

他の一同は、一向にそんな事にはお構ひなしで、てんでに冗談やら無駄口をきゝあつてゐた。三州屋の瓦版の受け賣り話は、長閑な日なたぼつこにはもつてこいの好話題だつた。

凪いだ海面は美しく日にキラキラときらめいてゐる。遠くに豆州の山山が、美女の眉あとのやうに、青々と、ほのかな餘情を誘つて見える。舳の方からはゆるやかな調子の船唄が、聞えてゐた……

新刊紹介

▲露西亞事情(百五號) 白海の孤島に流された河田三郎君の露西亞監獄生活實話(定價廿錢東京丸ビル露西亞通信社發行)
▲西部戰線異狀なし(解說)(浦宗絢著) 中央公論社から發行され一躍日本の出版界を風靡した同書の解說本(定價廿五錢ポケット型九十一頁東京本郷森川町紅玉堂書店)
▲國際事情(二百五十八號) 時報2(二百五十九號)海洋自由論の一瞥(外務省情報部發行)
▲女人藝術(五月號) 一端に躍る若人(林村しづ子)指輪(矢田清子)未開社會に於ける性と抑壓(小林すみ子)等(定價四十錢東京牛込左内町其社發行)
▲短歌前衛(五月號) メーデーを歌ふ(坪野哲久)其他等(定價廿錢東京小石川小日向臺町其社發行)
▲戰友(五月號) 定價十錢東京牛込原町三帝國在鄕軍人會本部發行

川柳募集課題
◇連鎖街　五月十五日〆切
◇朝起き　五月二十日〆切
◇パラソル　同上
▽一題五句住所氏名明記▽大連市彌生町十六高橋月南宛
滿日文藝係

▲水鄕(五月號) 無名俳人への活路(角井翠影子)等(定價卅五錢神戶東須磨和田別邸其社發行)
▲農業世界(五月號) トマトの簡易な作り方等(定價四十錢東京日本橋本石町三博文館發行)
▲海友(五月號) 大連港の特產物輸出等(定價卅五錢大連寺內通大連海務協會發行)
▲科學知識(五月號) 震災記念堂(伊藤忠太)製鹽の話(田中新吾)海底地質の話(重松良一)等(定價五十錢東京丸ノ內二ノ六科學知識普及會發行)
▲協和(二十六號) 滿鐵側面史、新奉線造由來(藤田順)等(定價廿錢滿鐵本社滿鐵社員會發行)
▲新天地(五月號) 實滿野球座談會其他(定價卅錢大連楠町七四其社發行)
▲大陸(五月號) 定價五十錢大連西公園町其社發行
▲滿洲短歌(五月號) 新地(江口とり子)等(定價三十錢大連霧島町滿洲婦士醫術協會發行)
▲生活と宗教(五月號) 定價十一錢名古屋中區南久屋町破塵閣書房發行
▲文藝(五月號) プロレタリア藝術の發展性(上中信夫)等(定價二十五錢東京市牛込新小川町文藝社發行)
▲世界と我等(五號) 倫敦海軍會議を終へて等(定價十錢東京丸の內二國際聯盟協會發行)
▲露西亞事情(百六號) 一九三〇年度國民經濟擴充計畫等(定價廿錢東京丸ビル露西亞通信社發行)
▲農民(五月號) 夜明ける村(小須田薰)等(定價十錢東京北多摩千歲村全國農民藝術聯盟發行)
▲勞農(五月號) 群肓無產黨を指導す(荒畑寒村)(定價卅錢東京市外淀橋柏木其社發行)
▲文學風景(五月創刊號) 本號を暴露文學號としてゐる「新興文學としての暴露小說を論ず」青野秀吉等(定價二十錢東京神田表神保町天人社發行)
▲文藝レビュー(四月號) 定價二十錢東京世田ヶ谷二九九四其社發行
▲農業の滿洲(五月煙草耕作號) 煙草の耕作と肥料との關係に就て(突永一枝)等(定價三十五錢大連紀伊町滿洲農事協會發行)
▲精神(五月號) 時事偶感(加藤咄堂)等(定價十八錢東京代々木山谷其社發行)
▲電氣の友(五月號) ネオンサイン用變壓器に就いて(梅澤英二)東電改革問題の一考察(高品增之助)等(定價四十五錢東京銀座八丁目其社發行)
▲實業之世界(五月號)「禍を轉じて福を獵した話」「鐘紡の賃銀値下は果して惡か」「最近經濟界の動き」等(定價五十錢東京芝愛宕町其社發行)
▲我觀(五月號) 比例代表制批判(坂千秋)日支新關稅協定(武內文彬)暴露されたる滿洲疑獄(木田勝治)スポーツ時代に與へる(安部磯雄)其他等(定價五十錢東京京橋銀座西五其社發行)
▲人生(五號) 定價十錢東京市小石川林町ローラン社發行
▲青泥(二號) 定價二十錢大連久方町大連川柳社發行

不景氣の折柄其影響を受けず益々歡迎され每號大躍行を示してゐる雜誌がある。その雜誌は「主婦之友」である。

その理由は……「主婦之友」の記事はすべて實際的で、どの記事を讀んでも、それが直ぐ家庭生活の上に役立つものばかりだからである。

五月號は「子供の敎育號」と題し濱口首相初め十名士の「私を今日あらしめた母の敎育」、「子供を立派に敎育する方法の座談會」、「子供の惡癖を矯す秘訣」、「優等生の家庭敎育法」、「成績不良兒を優等生にする秘訣」などが大呼物である。この外に「家庭に於ける偉人の生活」といふ記事がある。

實雜記事としては「中流文化住宅の經濟的新築」、「お女中大學」誌上開校と銘打つてあるが第一講座が「洗濯」や療養記事には「眼病を自分で治した療法公開」、「子供の脫腸を母の手でした實驗」、「肺病の自宅サナトリアム療法」、「ヒステリーの根治法」

美容、裁縫、料理の記事「ニキビソバカス、ヘタケの民間療法」「男女兒女學生用スポーツ服の仕立方」、「防水布の作り方」、「野菜を主とした清新な季節料理」など

連載小說では長與善郎の「輝く廢墟」、白井喬二の「人肉の泉」、三上於菟吉の「暴風雨の薔薇」、この他に曾我廼家五九郎人情喜劇「かけぐち」石上欣哉の「石井漠小浪兄妹哀史」がある(定價五十錢、主婦之友社發行)

毛生藥ヨダサンの効果

原料のみにて製造した毛生藥ヨダサン陸軍一等軍醫晉尾米國醫學博士の方劑にて各地の患者に實驗の結果人なみ黑い毛が生へ每日禮狀や感謝狀が來て居るとのこと希望者はハガキにて大分縣東國東郡安岐町安岐藥草院宛に申込めば詳細書を送るよし

優良なる齒刷子容器の景品附ライオン齒刷子

日常使用する齒刷子の中で、毛の形や、柄の具合が、理想的で藥品消毒が熱氣消毒がしてあるので、最も安全なのはライオン齒磨本舖發賣のライオン齒刷子である。

今回ライオン齒磨本舖では、一般愛用者諸君への奉仕としてライオン齒刷子の一號形、二號形、三號形に限り、臨時に、優良なる新案齒刷子容器を景品として添附して賣出して居る

大阪商船出帆

●門司、神戶、大阪行(前十時出帆)　うらる丸 五月十日　香港丸 五月十三日　ばいかる丸 五月十六日　はるびん丸 五月十九日
●上海福州基隆高雄行(後三時出帆)　盛京丸 五月十四日　長沙丸 五月廿四日　福建丸 六月二日
●朝鮮經由長崎鹿兒島行　關東丸 五月廿一日
●北米シヤトル、タコマ行(上海、神戶、四日市、橫濱經由)　ありぞな丸 六月十三日
●紐育行(神戶、四日市、橫濱經由)船客御斷り　あるぐん丸 五月廿二日
●歐洲行(上海、香港、新嘉坡經由)船客御斷り　あむうる丸 五月八日
●天津行(天津埠頭、佛租界碇留)　武昌丸 五月十八日　河南丸 五月廿五日　貴州丸 五月十一日
●橫濱直行(午後二時出帆)　河南丸 五月九日　貴州丸 五月十六日(宇品寄港半時出帆)　武昌丸 五月廿三日

大阪商船株式會社大連支店　電話四一三三七番
●專屬船客案內所　滿洲旅館協會　信濃町遼東ホテル內電七五七四番
●乘船切符發賣所　大連市伊勢町　ジャパン、ツーリストビューロー　大連案內所(電話五五五四番)　大山通出張所(電話七〇三四番)　沙河口出張所東萊洋行內(電話九五〇六番)
專屬荷扱所大連市山縣通　國際運輸株式會社大連支店　電話三一五一番
ニホーム荷扱所(電話四八〇二番)

日清汽船出帆

●青島上海行　華山丸 五月十四日　唐山丸 五月廿日
代理店　大阪商船株式會社　大連支店　電話四一三三七番
專屬荷扱店(大連市山縣通)　國際運輸株式會社　電話三一五一番

大連汽船出帆

●青島上海行　大連丸 五月十日　天津丸 五月十三日
●天津行(天津太沽航)　濟通丸　天潮丸　濟通丸
●登州府龍口行　龍平丸
●名古屋行　東崗丸
●名古屋、橫濱行　富丸
●阪神行　盛臺丸
大連汽船株式會社　電話番號代表四一八五番
專屬荷扱店(大連敷島町)
阪神航路專屬荷扱店(大連須磨町)　永和公司　電話七二七五・七八六八番
澤山兄弟商會
乘船切符發賣所(大連伊勢町)　ジャパン・ツーリスト・ビューロー大連案內所　電五五五四番

日本郵船出帆

●歐洲行　だかあ丸　松江丸
●北米行

近海郵船大連出帆

武相丸　相模丸　淡路丸　玄武丸　相模丸　勝丸　高雄丸
●長崎神戶大阪行
●天津行
●基隆高雄行

朝鮮郵船大連出帆

●青島仁川行　會寧丸 五月廿二日
●仁川、長崎、鹿兒島行　羅南丸 五月十二日
朝鮮鐵道各主要驛及本社各營業地貨物受證發行
右汽船出帆日時は天候其他の關係に依り變更することあるべし
大阪商船、近海郵船、朝鮮郵船株式會社大連代理店
日本郵船株式會社大連出張所　大連市山縣通電話
乘客荷扱店　丸二商會　電話四二六四・五八八八番

島谷汽船大連出帆

●南鮮裏日本北海道行　鮮海丸 五月二十日　大成丸 六月四日
寄港地　鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、境、宮津、舞鶴、新舞鶴、敦賀、伏木、函館、小樽、各等客室設備あり
●朝鮮裏日本北海道樺太行　長成丸 五月十二日
寄港地　鎭南浦、仁川、釜山、舞鶴、敦賀、伏木、新潟、舟川、函館、小樽、大泊　各等船客設備あり
島谷汽船株式會社大連出張所　大連山縣通一五三
代理店　大三商會　電話四七一一・三四八二番

高橋汽船大連出帆

●命令定期大連芝罘線　芝罘行　福壽丸　五月十日後六時
●命令定期大連龍口安東線　安東行　海壽丸　五月九日後三時
代理店　大連加賀町三〇　松浦汽船株式會社　電六一一七・三八五一番

政記輪船出帆

廣利號　五月九日威海、青島
永利號　五月九日後六時芝罘
中華號　五月九日橫濱、清水
廻安丸　五月十一日上海
有利號　五月十一日安東
同利號　五月十二日泉州、興化
政記輪船股份有限公司　電話四一四一番

阿波共同汽船

●威海衛、青島行　第十六共同丸　五月十四日前十時
●芝罘、威海衛、仁川行　第廿六共同丸　五月十四日後七時
●芝罘、威海衛、青島行　第廿一共同丸　五月十二日後七時
●芝罘青島行　第卅六共同丸　五月十日前十時
●鎭南浦行　長山丸　五月十五日
●藤原とは貨物連絡取扱致候
大連市山縣通二〇〇番地　阿波國共同汽船會社大連支店　電長六八九一・五〇〇一

夕刊 滿洲日報 五月八日

（一） 號三十二百六千八第 （日曜金） THE MANSHU NIPPO 日九月五年五和昭 （可認物便郵種三第）

義務教育費增額案は十五名の委員に附託

田中文相より提案理由を說明

けふの貴族院本會議

【東京八日發電】いよく本舞臺に入つた貴族院は八日更に現內閣の大看板義務教育費增額案を迎へて一段の活氣を呈す、諸般の報告あつて午前十時十分開議、德川議長は日程を變更して第二より第七を先づ上程することを諮り直に

一、市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案（政府提出、衆議院與附第二讀會）

を上程、田中文相の提案理由の說明あつて質問に入り

森田氏

一、一般の收入が減つてゐるのであるから官吏の俸給も減らすのが當然と思ふが如何

一、專門學校を出た者すら四十圓五十圓で就職してゐるのに地方費で就學した小學敎員が從來通りの俸給を取るは寧ろ不合理ではないか

と喰つてかゝるが首相、文相答へず、次に

中村氏の質問脫線

中村純郎九氏（交）登壇

（施政方針に對しくどくと何事かつぶやき續けるが少しも徹底せず、耐りかねた德川議長は「本案に對する質問に限ります」と注意する

一、本案は小橋君の文相在任中に發案されたものであるが、果して然らば動機に不純なものがある

一、かゝる重大案を何故短期の特別議會に提出しなければならなかつたか

（といふ意味らしい繰事を並べたかと思ふ途端に質問は大脫線して統帥權問題に轉じ）軍令部長が職を賭して反對してゐるのに政府のみの意見で回訓を發するとは怪しからぬ

といふや、議長は「君の質問は本案とは關係ないから注意します」

の勸告を發したことは事實である

選擧の道具に使はぬ

と注意するも中村君「えへん」と咳ばらひして一向平氣、折角の議場はすつかりだらける

濱口首相

一、小橋君の問題と本案とは關係がない、選擧の道具に使つたのではないかといはれたが政府は決してそんな不誠實な政治はやらぬ

一、今日のやうな財政難に際し負擔輕減の必要はないと申されるが、それは見解の相違である

一、明年度も一千萬圓を增額するといふやうなことは今から申されぬ

中村氏　一千萬圓を增額しても年々學級數が增加するから之を以て地方が減稅に當てる譯に行かぬではないか

と迫り文相と押問答の後、中村氏減俸問題と本案の關係を質し、井上藏相關係なしと答へ代つて

一大行政整理の斷行が急務

政府に其意思ありや

高橋琢也氏（交）登壇　政府は本問題を大變重大視されてゐるやうであるが、それほど重大なれば何故一大行政整理を斷行して二千萬圓なり三千萬圓なりを增額されぬか、一體政府は行政整理をやる氣であるか（とて減俸問題、產業合理化問題、失業問題、思想問題等について政府の施設を論難し）首相は最も緊急を要する問題を先にすると言明してゐるが、然らば政府は本案を以て現下の失業問題並にそれに依つて一層激化されつゝある思想問題より重大視してゐると見る外はないが、それで差支へないか

濱口首相

一、官廳の事務改善には今後大いに努力する

一、救護法の實施については充分講究する

一、地方の窮乏は負擔が多過ぎるためで之を緩和することが最も緊急の問題である

林伯の動議で委員附託

此時林博太郎伯發言を求め

林伯　本案は重大案であるから特別委員數を十五名とし議長より指名されたい

との動議を提出し滿場異議なく贊成依つて議長は近衞文麿公以下十五名を指名す、次に日程を續け

一、輸出、補償法案

一、賠償金特別會計法中改正法律案

一、製鐵所特別會計において大藏省預金部又は日銀、正金、興銀に對する債權を受くることに關する法律案

一、關稅定率法中改正法律案

一、朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案

をいづれも委員に附託し

を委員長報告通り原案可決零時二十一分散會

消費稅か直稅の輕減が必要

森田氏義教案に反對

森田福市氏（交）登壇

一、今日の農村の不況は政府が農民の收入を減ずる政策を執つた結果であるから之を救ふには先づ消費稅か直接國稅を減ずべきではないか、僅か一千萬圓の敎育費增額では何にもならぬ

一、將來如何にして地方の負擔を輕減するか

一、增額の財源たる歲入の見積は過大ではないか

一、文部省が小學敎員の初任給引下げ反對の通牒を發したといふのは眞實か

一、減俸案は何故企て又何故止めたか

この增額は結局地方の負擔輕減

濱口首相

一、政府は農村の收入減を圖つたことはない

一、この增額は結局地方の負擔を輕減する、しかし減稅についても考慮してゐる

一、今後更正豫算に依りて負擔を輕減する方針である

一、歲入見積については委員會で申上げる

一、減俸の企圖は政府の緊縮政策の方針を示すものであつたが、輿論に鑑みて見合せた

田中文相　初任給引下げ反對

兵力量決定權と陸軍の態度

質問に對し冷靜沈默

【東京八日發電】兵力量決定の憲法上の解釋につき政府は明確なる答辯を避けてゐるが內實においては兵力量の決定は政府の

專管事項

なりと確信し居り將來も實際上この方針を實施すべきことは今回のロンドン會議の回訓における經緯に見ても明かである、これが實際問題として將來如何なる結果を生むかは重大問題であるが、海軍の場合は政府が兵力量を決定するとしても兵力量の根本は國際會議で大體協定されてゐるから事實上政府がこの權能を行使する場合は當分皆無と見ても大過がない、從つて實際問題として大なる影響はないとの見解も取り得るが、陸軍の場合は之と異り兵力量は各國の自由なる方針に依つて決定されるのであるから政府が必要と認めたる場合實際に兵力量の變更をなし得る譯である、從つて現に目前に迫つてゐる

軍制改革

に對しても實際問題としては宇垣陸相の在る限り憲法上の解釋がどうあらうとも政府の處置は受けまいが極端にいへば師團半減も政府がなし得るといふこととなるのである、陸軍が今期議會で「陸軍の兵力量も政府が決定すべきものである」との結論に押詰めやうとする質問に對し冷靜錄の如く沈默を守つてゐるのもこの陸海軍兵力量決定上の實質的な相違性に立脚するものであつて、いづれの政黨に依つて組織されたる政府であらうとも政府が萬一前記の解釋に基づいて强硬態度に出づる場合があれば敢然政府と抗爭することを避けざる決心である、而して陸軍が斯くの如く政府の兵力量決定權把握を

嫌忌する

のは實情に通ぜざる政黨政治家が政爭を通じて兵力量を左右することは國防を全うする所以に非ずとする信念に據つたものである

財部全權けさ着哈

日、支、露官民多數の歡迎裡に

今夜滿鐵公館に一泊

【ハルビン特電八日發】ロシヤが特に財部全權一行のため專用貴賓車を連結し國境滿洲里もこれまでのレコードを破つて乘換せず國境を通過し一行の第二二九號車は八日午前八時卅五分黎明の鐘をついて全市に鳴るロシヤ寺院の鐘の音のうちに八木總領事、本省より出迎への古賀大佐、澤田特務機關長、細木少佐、軍司滿鐵、加藤商議會頭、岩永文化協會、窪田事務官松島總督府事務官、小川署長、鈴木民會長代理、山田商議書記長、在哈新聞記者團その他官民多數、支那側からは張行政長官東鐵露支幹部メリニコフ・エムシャーノフ・ルーデイ氏等の盛なる出迎へを受けたが財部夫人の顏は常になく晴々しく見え在哈邦人婦人會、白百合會の主なる人々と驛頭での挨拶を交してゐたのは人目を惹いた、財部全權は夫人、軍醫、副官と共に滿鐵公館に入り今夜一泊することになつたが全權夫妻は長途の旅行に花らしきものを見なかつたので庭園に今を盛りと咲き誇る桃の花を眺めてホッとした

輕率に進退しない

財部全權辭職說を否定

【ハルビン特電八日發】現在注目の的となつてゐる財部全權の進退問題につき眞意を質すと財部全權は政府が國家全權としての廣い見地から是なりと信じて調印した以上、假令不滿な點があつても之を基礎として最善の手段を講じ國防を全うしたい予一個の毀譽褒貶は度外視してゐる決して一時の快を得るため輕率に進退しないと暗に辭職說を否定してゐる

古賀副官と車中で密談

【ハルビン特電八日發】財部全權は途中出迎への古賀副官と約一時間にわたり車中夫人を退け祕密談を試みたが問題一身の解決は京城で齋藤總督と會見後の模樣、滿鐵理事公館に入つた全權夫妻はけふ休息をも取らず入浴後は總領事館から送つて來た新聞に目を通してゐた

東鐵沿線邦人送迎

【ハルビン八日發電】財部全權は滿洲里よりハルビンへの途中四月二十日以來の日本各新聞を興味深氣に讀み耽り東鐵沿線邦人の歡迎

高松宮さま新嘉坡に御上陸

總督御機嫌を奉伺

【鹿島丸八日發電】鹿島丸は八日未明新嘉坡港外に到着した、午前九時新嘉坡總督サー、セシルクレメンテイ氏は鹿島丸を來訪高松宮、同妃殿下の御機嫌を奉伺し兩殿下には午前九時二十分御上陸直ちに總督邸を御答訪遊ばされたる後邦人小學校に台臨、在留邦人の奉迎を受けさせられ日本會評議員に謁を賜ひたる後兩殿下にはジョホールを經て護謨園に成らせられ總領事館における午餐後植物園等を御視察午後八時十五分總督官邸の晩餐會に御臨席同夜十時御歸船あらせらるゝ筈

けふの寫眞

（上）皇太后陛下には大正天皇御錦りましてより四ケ年青山東御所にお住ひ遊ばされてゐたが、六日午前十一時新たに御造營成れる大宮御所へ御引移り遊ばされた、お寫眞は新御殿御着の皇太后樣（下）皇后陛下には五日午前十時青山權田原の憲法記念館構內で舉行された日本赤十字社第三十八回通常總會に行啓、會員一同に對し優渥なる令旨を賜つた、お寫眞は中央皇后陛下、左は閑院總裁宮殿下、右は德川會長

海相不在中の事務報告に來た

副官として出迎へるは當然

出迎への古賀副官談

【ハルビン特電八日發】財部全權を迎へた後、古賀副官は別に訓令に來たのではない東京を立つ時、各新聞記者諸君からその樣に報道することがニウスの價値があるとして傳へられたので副官としては當然、迎へねばならぬから來たまでだ、全權は京城一泊の豫定であるが齋藤總督夫人が、財部夫人と會ひたいといふことでもあり、かつ通過に際し素知らぬ顏をして行けぬからでもある、何分、五ケ月間の海相の不在で色々の要件あり打合せはした、軍令部長の說服は高等政策に參與せぬ私には分らない、矢吹海軍政務次官が京城に來るといふことは知らぬ來るとすれば出迎へに過ぎぬと逼げたが財部全權の最後の肚は京城で齋藤總督と會見の後に決定する模樣で京城の會合は注目さるを受けつゝ元氣で八日午前八時官民多數の盛大な歡迎裡にハルビン着、偕行部夫妻左近司中將樺山伯以下四名はハルビン、京城に各々一兩日滯在し東京着は十六、七日頃となる豫定である

日本婦人も今後世界的に活動

財部夫人靜かに語る

【ハルビン特電八日發】財部全權一行はボーイスカウト日支官憲の出迎へをうけて安達まで出迎へた古賀大佐と共に着哈直に滿鐵理事公館に到り休憩する間もなく多數の露支有力者の訪問をうけ軍縮會議に就て詳細說明を行つた、門前には特に支那側から派遣された巡警が嚴重警戒してゐた、車中に往訪せる記者に對し財部全權は四月二十日以後の新聞に目を通しながら「ヤー議會でやつてゐるな」と大きな聲を出して「東京へ歸つたらこきまわされるぞ、一つ元氣をつけやう」と夫人に風藥を出させ飮んだ後默つて讀みつゞけた、傍らの夫人は旅の疲れも見せず靜かに語る「英國の婦人は初めはちよつと交際惡いとの話であつたが松平夫人の御紹介で初めから非常に親しくして頂いて大變愉快でした、マック首相の令孃とも往來しましたがお年は二十七歲だが大變しつかりした立派な人でした、外國に出るのは初めてゞしたが、辛いことばかりでした、大變靜かなものですね」英國議會も見物しました、日本議會の亂鬪騷ぎで論議されてゐる夫の身の上を案ずるやうであつたが「之から日本婦人も世界的に活動するやう敎育し氣をつけねばなりませぬ」と結んだ

【寫眞は財部夫人】

鮮人問題を討議

吉林全省行政會議

【吉林七日發電】吉林省政府主催の第二次全省行政會議は省政府樓上廣間にて去る五日より開會され張作相主席を首めとし、各省政府委員、各機關の領袖及び各縣長並に乾安設治員等合計五十餘名參加し會期は約十日間である、因に前回の會議に提出された議案は百二十七件其中討議されたのは八十九件であり多くは地方的問題で餘り注意を惹くものがなかつたが今次の會議は間島一帶の朝鮮人問題が議題に上される模樣で注目されてゐる

蒙旗諸問題提出

【吉林七日發電】東蒙古郭爾羅齋斯王は今次の吉林全省行政會議に對し蒙旗の諸問題を提議すべく目下城內官銀號內に止宿中であるが省政府では齋王の歡待に大童である

浮び上つた舊直隸派の將領

打倒蔣介石氏に蹶起

【天津特電七日發】舊直隸派の復活を一身に負つて江北招撫使に就任した齊燮元氏は次の如く部下を任命した

總參議　師景雲（前曹錕秘書長）

秘書長　陳宦遠（前國會秘書長）

參謀長　楊文愷（前農商總長）

財政長　張志潭（前內務總長）

軍法長　劉玉春（前吳軍師長）

右の顏觸はすべて舊直隸派の御大揃ひ五ケ年振りに浪人から浮び上つたことをハツキリ現はしてゐるこれ等の人々は鄭州へ旅行中だが齊氏は早くも就職の通電を發して南京政府打倒を宣言し「今や垓下の楚歌を聞く重ねて江東の父老を慰めむ」と史に結びつけて江蘇督軍の復活に萬丈の氣焰を揚げてゐる、また張學良氏の代表と自稱して入津した孫傳芳氏は頻りに舊部下及び山西側と聯絡を取つてゐたが愈々閻錫山氏から齊氏の江北に對して江南招撫使に任命されることになつた、近く當地において就任し同じく南京政府打倒を叫んで浙江を目標に進むことにならうが北支那では…招撫使に對して

奉軍辦事處灤縣城內に設置

【山海關特電七日發】奉天軍が灤河以西へ進出したとの說が再び喧しく傳へられてゐるが全然事實無根である、但し張學良氏は南北開戰近しと見て灤州方面を殊に注意し東北軍辦事處を灤縣城內に設け處長に李春芳氏を任命した

反蔣派の進擊期

閻氏太原歸着後

【天津特電七日發】鄭州に於ける閻馮兩巨頭の軍事會議につき當地支那側にては次の如き說を傳へてゐる

一、閻馮兩氏は二週間鄭州に滯在し然る後馮氏は前線に赴き戰爭を指揮し閻氏は北平に入りて中央の事務を執ると同時に汪精衞氏も北上して黨の問題を解決するであらう一般の觀測では北方革命政府は閻馮汪を中堅として遲くとも五月末頃成立するであらう

二、軍事會議は近く終了するが閻錫山氏は直ちに太原に歸るべく政府組織問題は戰爭終了後となろう、同氏太原歸着の日が前線に火蓋を切るの時である

莫全權一行イ市到着

熱狂的歡迎裡に

【ハルビン特電六日發】五月一日ハルビンを出發しモスクワの露支正式會議に向つた莫德惠全權一行は四日午後六時頃イルクーツク市に到着しソヴエート側首腦者から熱狂的の大歡迎を受け同時にモスクワのリトヴイーノフ及カラハン全權からは一行を歡迎する旨の祝電を受取つたと

人事

▲陸大生一行五十六名　敎官牟島少將に引率され八日入港うらる丸にて來連

▲女子藥專四十五名　同上

▲旅順師範學生三十名　同上

▲愛媛女子師範百二十名　同上

▲新庄淸一氏（大阪商船專務）同上

▲長澤奎五氏（關東廳土木課大連出張所長）八日入港大連丸にて歸連

大觀小觀

初夏、新綠の候、秩父宮殿下の御英姿を拜す。ただ感激と申すの外なし。

◇

高松宮殿下、同妃殿下、今朝九時、新嘉坡に御上陸。

◇

財部全權、今朝、ハルビン着。

◇

時局の人だけに、その一擧一動が問題にされるのは已むを得ぬ。

◇

が、ただ少しく健康を害し、ハルビン、京城等に一泊するを餘儀なくせらると。

◇

若槻全權も、歐洲を旅行しつつあるが、少しく健康を害してゐるといふ。

◇

すべての問題は時が解決する。

天氣豫報

九日（南西の風）曇霧雨模樣

滿潮　午前七時二十五分　午後七時五十分

干潮　午前一時五分　午後一時二十分

遙けき海路御恙なく 秩父宮殿下けふ御着連

陸大生と御ともぐ〵うらる丸で 初めて拜すそのお姿

五月の空に若葉風吹くけふのよき日、われらの御待ち申し上げた秩父宮殿下には陸大生の御資格を以てうらる丸にて御來滿遊ばされた、朝來薄曇りの空に夜來の風波おさまり大連港內は各船とも三檣旗を揭げて敬意を表し奉つた、水先案內船鐵島丸は中尾水上署長、中川埠頭副長、長沼憲兵分隊長、佐藤陸軍運輸部出張所長、高橋關東軍參謀、日下關東廳文書課長及び新聞記者を乘せて午前七時甲埠頭を離れ港外に殿下をお出迎へ申し上げた、見渡せば三山島の山々は朝靄に霞み水上署の警邏船平安丸、遼海丸及び海務局の繫留船金州丸ほか二隻は港外を航行して水上御警戒の任についてゐる、既にうらる丸は三山島沖に姿を見せ、黄白舅を過ぎて午前七時半寺兒溝沖の港外に着く、鐵島丸より拜し奉れば前甲板のブリッヂよりカメラを御手に大連港內を御撮影遊ばさる御姿こそ、滿洲の地にて初めて拜し奉るわれらのお慕ひ申し上げる秩父宮殿下である。

赤誠溢るゝ奉迎裡に 第一步を印せらる

埠頭待合所貴賓室において 畏くも有資格者に拜謁を賜ふ

うらる丸が港外に到着する頃より宮殿下には前甲板のブリッヂにあらせられ、岡本船長より展開しゆく大連港風景につき御說明を聽し召されつゝ埠頭を御展望あらせらるうちに、うらる丸は豫定の如く着埠、太田關東長官、關東軍司令官代理三宅參謀長、滿鐵總裁代理大藏理事、三上副官、小林長官秘書官、鐵島總裁秘書役は船內に進み殿下御部屋に伺候して御機嫌を奉伺した、やがて午前八時三十二分宮殿下には**陸軍大尉**の通常軍服にて御部屋を出でさせられ、舷側まで岡本船長の御先頭にて懇々御上陸遊ばさる、神戸よりお伴申し上げた新庄商船專務、岡本船長以下船員一同及び御同船の光榮に浴した船客一同は甲板に整列してお名殘惜氣に殿下の御下船を奉送するうちに、宮殿下には秋山埠頭長の御先導、宇佐美鐵道部長の御誘導にてブリッヂを渡らせられ、岸壁に堵列して奉迎申し上げる學生團に**御會釋を**賜ひつゝ滿洲の地に第一步を印せられた、太田長官以下扈從申し上げ宮殿下には埠頭待合所貴賓室に入らせられ、こゝにて藤根、神鞭、大藏滿鐵各理事、高柳中將、伍堂中將、岩井少將、內藤少將、水谷大連民政署長事務取扱、田中市長、恩田市會議長、服部滿鐵囑託に單獨拜謁を賜ひ、次いで待合所に整列した有資格者約八百名に對し**列立賜謁**あり、待合所通路の兩側に堵列した小學生、待合所前の少年團、女學生らに御會釋あらせられつゝ御見學の御日程に移らせられた

埠頭ビルから 港內御展望

市川次長の御講演を御聽取

埠頭ビルに入らせられた宮殿下には第三號エレベーターにて屋上に昇らせられ陸大生と共に市川鐵道次長の「大連港に就いて」の御講演を御聽取あらせられたが、宮殿下には設けの椅子にもよらせられず全く陸大生としての御資格で學生團の中央に立たせられ御熱心に市川鐵道次長が五葉の地圖によつて御講話申し上げるのを御聽取、更に市川次長が眼下にみはるかす大連港を一々御指示して前後約二十分間に亘り御說明申し上げた

直ちに大連神社 忠靈塔に御參拜

滿蒙資源館へお成り

埠頭ビルを出でさせ給ふた宮殿下には先驅の自動車に次いで滿鐵より差し廻しの大連一號のロールスロイスに召され、本間御附武官御陪乘、太田長官、三宅參謀長、大藏理事、中谷警務局長以下扈從申し上げ、陸大生一行は滿鐵乘合自動車三臺に分乘して港橋を山縣通大廣場へと御順路大連神社に向はせられた、アカシヤの新綠に爽々しい街々の御沿道には各學生團體及び**一般市民**が堵列して奉迎申し上げるうちを殿下には一々御會釋を賜つた、民政署前には署員および市吏員、大連醫院前には白衣の看護婦が堵列し奉迎申し上げた、宮殿下には九時二十分過ぎ大連神社に御到着、一ノ鳥居より御下車あらせられ、水野神官の御先導にて參道を進ませられ、拜殿前に御起立御拜あらせられて御退下、青葉に風薫る中央公園に自動車を進めさせられ、田中市長の御先導にて忠靈塔下に御參拜畏くも地中に眠る英靈を親く弔はせられ、田中市長より附近の情景について種々御說明申し上げた、宮殿下には次いで御道を中央公園を拔けて**電園下へ**連鎖商店の外廓を左に眺めさせられつゝ西通りから伊勢町を經て午前十時兒玉町の滿蒙資源館へ成らせられた、館前には村上館長以下職員一同の奉迎裡に館內へ入らせられ、滿蒙の地質に就き村上博士より、また農業について松島滿鐵農務課長よりそれ〴〵御說明申し上げるところがあつた

資源館員に酒肴料下賜

秩父宮殿下には八日午前十時陸大生と共に滿蒙資源館にお成りの砌お附武官を通じて村上館長へ資源館關係員一同に對する酒肴料を賜はつた

華工に近づかせられて 御熱心に御覽

日淸油房にお成りの宮殿下

滿鐵社員倶樂部で御晝餐

滿蒙資源館を出でさせられた殿下には山縣通をH淸油房に成らせられ古澤專務以下社員の奉迎裡に御着、丸粕工場前にて古澤專務より大豆の出廻りに關し地圖を以て御說明申し上げたのち古澤專務の御案內にて丸粕工場內にて平常と何等變らぬ華工の作業狀態を御覽、畏くも陸大生と共にいと御氣輕に作業をする華工に近づかせ給ひ御熱心に御覽あり御興味深げに拜せられた、次いで精製工場にて精油の見本より圖解による油房作業を御聽取あり、二階の精製アルカリタン、三階の脫色、脫臭タンクを御覽あつて種々御下問あり一時間近く御見學あらせられて正午油房を御發、順路大連滿鐵社員倶樂部に向はせられたが、滿鐵本社前には滿鐵社員が整列して奉迎申し上げた、宮殿下には倶樂部第二集會室に於て御晝餐を召させられた

午後の御動靜

大連滿鐵社員倶樂部にて御晝食御小憩遊ばされた宮殿下には午後零時五十一分御發、大連窯業會社、中央試驗場、大連工場を御見學後御親閲式に臨ませられ大連運動場を經て再び社員倶樂部に成らせられ午後の御日程を終らせられて、滿洲館の滿鐵總裁の御招宴に臨ませられヤマトホテルに御假泊あらせられる

あすの御日程

秩父宮殿下九日の御日程は左の如くである

九日午前七時二十分ホテル御出發、大山通、日本橋を經て大連驛御着、七時三十分特別列車にて御發旅順へ向はせられる、滿鐵よりは藤根理事、宇佐美鐵道部長、藤井、林兩秘書役、草場囑託將校等御陪乘、八時四十分旅順驛御着、有資格者に驛貴賓室にて賜謁、同九時三十分白玉山納骨祠御禮拜、途中在鄕軍人靑訓生徒、學生等を御親閲遊ばさる、納骨祠前にては關東軍三宅參謀より御講話申上げ、同十時三十分戰利品陳列館にお成り本田德太郎氏の御說明を御聽取遊ばされ、同十一時五十分黄金山にお成り、久保田海軍中佐、松崎一等機關兵曹より日露戰役に殊勳を立てた閉塞隊の行動について御說明申上げ、午後一時二十分東鷄冠山砲臺にて御晝食を攝らせられる、同二時より同砲臺にて村田步兵大佐、河村砲兵大佐、大塚砲兵大佐、中村少將、細川砲兵少佐の各專門家の御講話を聽取、右終つて御下山、同六時三十分、偕行社における畑軍司令官の御招待宴に御臨席遊ばされ同夜は旅順ヤマトホテルに御一泊

御着連の秩父宮

寫眞

（1）大連埠頭に第一步を印せられた殿下
（2）埠頭ビル屋上において市川鐵道部次長から陸大生と御同列で說明を聞召される殿下（前列向つて右からお二人目）
（3）大連神社御拜（寫眞右から中谷警務局長、仙石滿鐵總裁代理の大藏理事、三宅參謀長、太田關東長官、御先導は水野大連神社々司
（4）忠靈塔に御拜の殿下
（5）港橋附近に奉迎の女學生

殿下の御機嫌

太田長官から それ〴〵打電

秩父宮殿下御上陸と共に御機嫌麗しく市內各箇所を御視察遊ばされたので太田關東長官から同十一時、秩父宮別當、宮內大臣、拓務大臣宛左の通り打電し御執奏を乞ふた

秩父宮殿下には本日午前八時三十分大連御上陸、御機嫌麗はしく御豫定の通り各箇所を御視察遊ばさる

陸大生招待會

今夕、滿鐵社倶で

滿鐵では八日午後六時三十分より社員倶樂部に於て陸軍大學教官砲兵中佐蕪田康一、同步兵少佐奈良晃、副官步兵中佐相良巳都鷹、學校附步兵大尉本村千代太、宮內屬曾根田泰治、同溝口三郎の諸氏初め十三名、陸軍大學生五十名合計六十三名を主賓とし晩餐會を催すことゝなつたが陪賓として關東軍村上副官、朝鮮軍山田參謀、都間憲兵隊副官、主人側は草場滿鐵囑託將校、同藤原囑託將校、、市川鐵道部次長、市川地方部庶務課長、平野學務課長、石井庶務部庶務課長、酒井鐵道部庶務課長、太田運轉課長、淸水工務課長、石本情報課長、金井衞生課長、小須田興業部庶務課長、長山主計課長、岡部社會課員等列席、市川地方部庶務課長が滿鐵を代表して挨拶をなす筈である

御歡迎宴出席を御遠慮

軍司令官と總裁

八日午後六時三十分より滿洲館に於て催される秩父宮殿下御歡迎宴の陪席者中、畑關東軍司令官は病氣のため御遠慮申上げることゝなつたが、また主人側の仙石滿鐵總裁も同樣御遠慮申上げることに決定した

滿洲美術家協會 展覽會

十日から開催

總會員九十餘名、眞山孝治・平島信、仁林鬆信、石田吟松の諸畫伯を擁し、新たに帝展、二科の新進田口正人、佐藤功、福田義之助、竹林愛作諸畫伯を迎えて面目を一新した滿洲美術家協會では、第二回展覽會を來る十日から向ふ五日間大連商工會議所二階で開くが、前記眞山、平島、田口、竹林諸氏初め伊藤順三、石田茂、阿佐見庄三郎、江內鼎、池田季藏の諸畫伯は既に各自の力作を搬入し、女流作家の作品も二十數點に達する狀況で今から盛會を豫想されてゐる

志賀庄七ら 有罪と決定

きのふ起訴さる

土地疑獄の中心人物と見られる大連民政署土地係主任志賀庄七氏らに絡る官有土地貸下不正事件は取調一段落となり七日大連地方法院檢察局において志賀氏以下五名を左の如く起訴した

大連民政署土地係主任屬 收賄 志賀庄七
建築設計技師 贈賄詐欺 西田忠一
土地ブローカー 贈賄詐欺橫領 淸野正夫
土地ブローカー 贈賄 川上福市
土地ブローカー 贈賄幇助詐欺 坂本茂市
土地ブローカー 贈賄詐欺 熊谷寬一

修養團向上會

毎月十一日開催の大連修養團向上會は今月に限り二十一日に延期、旅順師範學堂長津田元德氏を聘して開催するが一般多數の來會を歡迎すると

艶色生膽秘譚 (105)

伊藤松雄作
河原緑亀太郎畫

品川沖(二)

ヴランヴキーラはフラスコをわきたたせてゐた燐酸火を消し、ぢいつとギヤマン管を見つめてゐた。波の音は遠くわびしく、夜の更けるにつれ、いつものこと乍ら、邊りはぶきみなほどしづまり返つてゐる。

と、表扉がかるく叩かれた。

「風かな…」

耳を澄ませると、確に人の訪れらしい。

足音を忍ばせ書齋を出たが、家内には誰一人眼ざめてゐる筈はなかつた。

と、再び表扉がかるく叩かれる。いかにもおづおづと、他聞をはばかつてゐるらしい音である。

「ほう、危害を加へやう人とも思はれぬ」

ヴランヴキーラはホッと安心した。

「どなたかな?」

低聲に訊いた。

「あ、小生でござるか、手前關川でござるよ」

「おゝ、關川殿か…」

ヴランヴキーラは急いでハンドルに手をかけたが、もう一度念を押すやうに、

「宇田川關川殿か?」

「はい、ヴランヴキーラ先生、江戸湯島の關川でござるよ」

ヴランヴキーラは鍵前をはづした。

ガッタり開いた扉、疲れきつた關川が、影のやうにスッと身を入れた。

「先生、すぐかたく扉をおしめ下さいまし」

ひどく慌てゝゐる。

「もしやと云ふことがござる」

「さやう、近頃は警戒がきびしいでな、併しよくまいられた」

二人はヴランヴキーラの書齋へ入ると、はじめて顔をまともに向ひ合せた。

「關川どの、御婦人はどうなさつた?」

「え?」

ヴランヴキーラの府からお仙のことをいきなりきかれやうとは思はなかつたから關川びつくりした。

「こいつアとんでもねえことになつてゐるぞ、いいかげんな儘へごとを云ふよりもいつそ何もかも喋舌ちまつた方がいいかもしれねえ」

さう思つた關川、三藏が懷中物をお仙にシテやられて以來のことを眉もつかずに述べたてた。

が、さすがに追分宿で一服盛られたことだけは言葉を濁らしてしまつた。

處がヴランヴキーラは一應きき終ると、

「その御婦人の行方いまもつて分りませんか?」

微笑をうかべて訊ねる。

「それが、まア當分は別れやうと云ふことになつて……」

「は、は、は、は、私知つてゐます、その御婦人は江戸に歸つてゐます…」

「え!」

關川はギヨツとした。

「ね、ヴラレヴキーラ先生、一體なんでまたあなたは私がお仙と江戸を出奔しことなんぞ御存知なのです?」

「卍の左近殿、例の三藏二人がたづねて來ました」

「さ?」

關川は自分といふ仲介者をだしぬいて二人が神奈川宿までやつて來たことをきくと一層腹立しくなつたのである。

「それも關川殿の行方さがしにな」

「成程」

「處が鐵砲火藥の話半に邪魔が入つてそのまゝお別れ申したが」

「ふうむ――その後は?」

「その後はお訊ねもありません。併し、その後思ひもかけぬ人がやつて來ましたよ、本人ではありませんが」

「ほう?」

關川は腑におちなかつた。

踊る幻影

「何が彼女をそうさせたか」を製作して果然注目された鈴木重吉監督と高津慶子のコンビネーションで杉狂兒と共に新興帝キネの代表作品として發表されたもので物語りはサーカスを背景として、モンタージユ映畫として宣傳され、三木技師のカメラワークは凡ゆるテクニックを驅使し推賞されてゐる、寫眞は杉狂兒の道化師と高津慶子の曲藝團女王メリー【十日から演藝館上映】

アスファルト

新しい名花ベテイ・アーマンの出現を高らかに傳へたウーファ映畫九卷、監督は名匠ヨウ・マイであゐ、物語りは二十世紀の文明があはただしく行き過ぎる大都會のアスファルト舗道に咲いた女賊と警官の氣まぐれな戀がまことの相ゝ惱みを描き出してゐる

◆そしてこの一篇の良さはファースト・シーンのオーヴアラップの連續によつて描いて行く夜のベルリンの情景から交通巡査の手が出て群衆の中に女賊エルザに扮したベテイ・アーマンをスクリーンに發見するまで

◆次いで興味はベテイ・アーマンの性的魅力であり、そのスクリーンに醸し出されるエロチツクな場面と惱ましい男と女の爭ひの相である、而もその取扱ひが日本人の氣持に一脈相通ずるところに親しみを覺える作品であり、ベテイ・アーマンを樂む一篇である【次週常盤座上映】

唄話

協和會館はいよいよ近く一部改築に着手するが▲外廊から工事を始めるから五月一杯は催し物に使へることになつた▲常盤座の專屬樂隊員は大阪で約二十名ほど集つたと本間監督から通知があつたとのこと▲何のかのと言つても此頃の滿洲は浪曲全盛で際のあつた篠田實の來演が確定▲紺屋高尾のレコードで賣出してゐるだけ期待されてゐる

キネマと演藝

▲五月六日協和會館で平間文壽氏の獨唱會、主催者の準備に手落ちがあつた爲に淋しかつたのはお氣の毒である、會は九時にもう散會になつたので聽衆は名殘り惜しそうに歸つて行つた、演藝館の「何が彼女を……」を見に旅順映畫協會の山口氏が來連、常盤座へ行くと長春新活社の森氏が來てゐるパレてから「アスファルト」の試寫、ベテイ・アーマンが素晴らしい長いまつげで惱ましてゐる、内地のプリントで甚だ巧みにカットされてゐる、たゞデユープであるため細部が味はれないのは何とも言つても心殘りである、豐竹昇之助一行の挨拶状が來る

ラヂオ

大連 JQAK 五月九日午後七時 廣告祭の夕

▲挨拶「廣告祭に就て」大連新聞社長寶性確成
▲講話「廣告に就て」大連商業學校商業科主任教諭横山一郎
▲合唱「廣告祭行進曲」「合唱廣告祭」參加者有志、指揮西村不二吉
▲講話「廣告劇演出に就て」後藤計吉
▲廣告劇「新綠即興四景」(五城杜夫作) 總指揮西村不二、演出指揮後藤計吉、音響効果西村不二 △第一景途上スケッチ(思出の吹) △第二景商店街景 △第三景カフエー時代 △第四景五十年後
▲料理獻立
▲天氣豫報

東京 JOAK 五月九日午後六時廿五分

▲講演 日本の發明が西洋へ買はれてゆく話 倉橋藤治郎
▲連續講談「浪花三兄弟終焉」神田山陽
▲聲色「吹寄せ」櫻川長壽
▲義太夫「義經千本櫻」竹本小仙

輸入組合の改善意見擡頭

從來の消極的運用を改め積極的にすべしと

全滿各地輸入組合の大部分は創設後滿二ケ年を經過し略所期の目的を達成しつゝあるが、今日までの業績を概觀すれば主力を堅實な消極的經營に注ぎ專ら內容の充實に力めた傾きがある、右は創業日尚淺く且つ

不景氣 の折柄肯定さるべき經營方針たるはいふまでもないが既に輸入組合の基礎も相當確立したので今や業績に對する批判と運營上の改善が加へらるべきものとの議論が漸次輸組の內外に擡頭しつゝあり、現に滿鐵當局としてもその融通資金の最高限度たる五百萬圓の半をも活用し得ない現狀を慊らずとし、合理的にして統制ある準備手段を以て運用するならば現在の貸付限度二倍を三倍に擴張するも差支へなからうとの意嚮を包藏してゐると傳へられてゐるされば遠からず何等かの形に於て改善更新の

方途が 講ぜらるゝに至るべく、六月上旬開かれる聯合會總會に於ても奧地二三の輸組より之が提案を見る模樣である、目下のところ聯合會並に大連輸組としては提案をなす運びに至らないと稱してゐるが、聯合會神成理事長は左の如く改善意見の一端を洩らした、なほ改善の一核心をなす貸付年度擴張を實施せんとすれば相當の準備を要し、就中地場仕入に伴ふ弊害を防止する對策を講ずることが緊要である

各地輸組を一律に拘束するは不可 貸付擴張は第二段 神成輸組聯合理事長語る

地場仕入の名にかくれ實體なき取引により資金融通を受くるものが全然ないとは云へぬがそれは極めて少いと思ふ、かゝる弊害は組合員日常の經營狀態につき間斷なく周到な調査を行へば發生の餘地がない、貸付限度擴張に當りかゝる方面の弊害防止に腐心するよりは當然問題の中心に觸れねばならぬ即ちそれ〲土地事情の特異性を有つ各地組合を現在の如く一律に規束してゆくのは考へ物で各地事情を大別分類した上で、出資口數の如きも一定の最高限度を定むると同時に最底限度も低下する

必要が なからうか、次に現在の組織が預金や貸付利息をそのまゝ流動資金化しつゝある根本方針を改組して之等を別途積立如きものに編成替することにより一定の時期まで固定資金化することが組合の內容を充實堅實化す所以ではなからうか、かゝる方針が樹立されたのち貸付限度を二倍乃至三倍に擴げても後顧の憂ひなく堅實に最高額まで活用され得る見込みが立つであらう、この場合融通資金の增加は當然著しく限定されるが組織に於ける增加額が加速度的に年々倍加されて基礎を鞏くするのに較ぶれば强ち非難さるべきではない、而もこの缺陷に對しては融通回轉數を極力增加するやう努力すれば必要額の需要を充たし得るものと信ずる、ともかく當方としては滿鐵の資金回收に對し豫め合法的にして確實な一定の對策を樹立しておくことが最も肝要なことゝ思ふ

當組合は空取引を防止してゐる 窪田大連輸組理事語る

大連市內の取引乃至大連奧地間の取引に於て組合員が空取引の上に資金融通を受けるといふ事實はないでもないが當組合では左の方法によりかゝる弊害發生の餘地なからしめてゐる、即ち專任の事務員一名をして組合員の資產や信用狀態や營業狀況を絕え間なく巨細に調査し、昨今の如く相場の變動甚だしき折柄は大量のストックを抱へてゐるものに對してその値下りについて注意を加へる外ブラックリストに載つてゐる人々に對しては特に警戒をしてゐる、此の日常の調査が最も大切でこれが十分行き屆いておれば資金融通狀態が正常的のものか變則的のものかは取引の時期、金額、品種、取引先等を考へ合せて容易に判ずることが出來る、そこで貸付に關し警戒を要すると考へた場合はその都度取引商品の所在をつきとめ取引の實體を確めた上で融通することにしてゐる、かくすれば地場取引の弊を完全に防止し得べく今日までのところ此の種の被害に遭つたこともない、それで當組合としては目下のところこれ以上の方法を講ずる必要はないと與つてゐるので之れに對し別にこれといふ意見はない

聯合見本市 哈市も希望 パンフレットで勸誘

大連に於て七月七日から三日間本邦商品の見本市が開催されるが、ハルビン輸入組合では滿鐵勸業と商議の應援で、見本市の終了後同見本市の北滿進出策につきパンフレットを出して勸誘することに決定したと

不景氣打開に小策は駄目だ

行くところまで行くがよい 新庄商船專務談

大阪商船專務新庄精一氏は八日入港のうらる丸にて來連したが左の如く語る

秩父宮殿下御渡滿のため特に便乘してきたもので、他の私用乃至社用を帶びたものではない、うらる丸にて直ちに歸阪する、內地財界不況の深刻なることは今更云ふ迄もなくこれがため海運界の悲況は層一層に目立つてきてゐるが、而も世界的の不景氣に刺戟さるゝこと多大なるものあるがため、今姑息なる手段方法を以てしては到底現下の不況を打開し得ざるのみならず、却つて實勢を惡化することゝならう、此の意味に於て吾々としては民政黨內閣の主義政策を可とするものである、行詰る所まで行つて後に建直すのでなければ本當の底力は生じ得ないものであるし、財界の光明は認め得られぬものとしなければならぬ從つて此の際徒らに小策を弄するを避け飽くまで質實に此の悲況に堪えることが必要である、海運界の不況を打開するの窮策として內地船主間では共同して繫船又は解船が刻下の問題となつてゐるが繫船、解船によつて結局利するものは外國の船舶會社であるから、容易に實現を期待し得ないのである、商船會社の如きも新聞によれば今期は無配當なるを免れないかのやうに傳へられてゐるが、一、二、三月は例年に於ても收入は少ないのであり、五月、六月において充分の利益は擧げ得なければ結局無配當となるかも知れぬ

四月卸物價續落

白米綿糸布類は騰貴

大連商工會議所調査による四月末現在における大連卸賣物價は調査品目七十種中前月に比し騰貴十一種、低落二十八種、保合三十一種にして平均一分七厘の低落、之を前年同期に對比すれば一割九厘の低落となる、即ち品目別に前月と比較すれば

騰貴 白米(滿洲特等同一等)大豆、高粱、粟、馬鈴薯、玉葱、綿糸、綿布、モスリン、大豆油

低落 小豆、麥粉(米國、內地、上海物)牛蒡、醬油、食鹽、鰹節、砂糖、茶、ハム、鷄卵、晒木綿、蒲團綿、木材、丸鐵、銑鐵、亞鉛引平板、洋釘、疊表、塗料、木炭、薪、大豆油

保合 白米(朝鮮特等)押麥、清酒、麥酒、味噌、牛肉、豚肉、鷄肉、煉乳、色甲斐絹、銘仙、金巾、綿ネル、羅紗、煉瓦、セメント、屋根瓦、板硝子、平鐵、酒精、石炭酸、石油、石炭、コークス、燐寸、半紙、洋紙

更に類別に依る騰落を前月及び前年同期を基準とし指數にて表示すれば左の如くである

類別	前月對比	前年同期對比
穀類(十二品)	[illegible]	[illegible]
蔬菜類(三品)	[illegible]	[illegible]
飯料及調味料(十品)	[illegible]	[illegible]
肉類(七品)	[illegible]	[illegible]
衣料品類(十品)	[illegible]	[illegible]
建築材料(十五品)	[illegible]	[illegible]
雜品(十二品)	[illegible]	[illegible]
平均	[illegible]	[illegible]

墨西哥銀と兩輸入禁止

◇大したものではない◇ 西山正金支店長談

國民政府は今回メキシコ銀及び兩輸入禁止を發表したとの電報が當地に入つたが右につき正金西山支店長は左の如く語る

私の方には特電は入らないが、兩及びメキシコ弗輸入禁止の情報が入つたこと耳にした、しかし兩は支那で作るものであるから兩輸入禁止とは一寸變ではないか、又メキシコ弗とは西貢よりピアストル銀が少しばかり輸入されてゐるから、きつとそれを禁止するのであらうと思ふ、しかし大した材料にならうとは思へない、支那で銀輸入禁止は絕對に出來ないことはないだらうが、北に閻氏南に蔣氏が並立してゐる間は絕對に不可能だらう、しかし最近は宋子文も輸入禁止に贊成しつゝあるといふから――

四月中の特產市況 (下)

豆信調査

四月中に於ける特產市況は左の如くである

高粱 月初各限に亘る賣方主力の崩れ退きに漸騰商狀を呈して初旬末五限四、五八、六限四、五六と月中の高値を出した然れ共市場空氣は概して先安氣構へにて引續き奧地筋の轉賣多く、且小口の賣もの等に取引稍懸況を見たが其後踏上げ一巡に市況閑散軟弱となつた、而して近來銀暴落の影響であらうか山東及び上海方面の需要は運賃諸掛り銀建の京奉線其他の支那鐵道により營口方面よりの輸出漸次旺盛の傾向ありて着車著しく減少し、中旬初に於ける埠頭在荷は僅かに六十車見當にして前年に比し五百車餘り減少したが、輸出不振及假需要筋の減退等より更に仕手に妙味なく遂に下旬初四限四、四八、五限四、四一、六限四、三九、七限四、三八と月中の安値を出した、其後市況は當限納會接近に伴れ旗埋め多く……

豆粕 月初閑散であつた……

豆信手數料改訂申込

組合對策協議 米突制は承認

大連取引所信託株式會社では屢報の如く手數料改訂問題につき種々頭を惱ましてゐたが豆信側より六日取引人組合書記長荻原氏に非公式に手數料改訂を申込んだので取引人組合では昨八日午後取引所樓上會議室に於て委員會を開催し種々協議を重ねたが、問題が問題であるだけに、即答を控へ、今後數回委員會を重ねたる上、回答することになつた、又同委員會で屢報の滿鐵の米突法實施につき協議を行つたが、既報の第一案たる一車は三百五十二袋積み受け渡しの場合は三百五十二袋を渡し、二袋は約定値段ではなく標準値段に於て決濟されることに決定した

大阪商人と――在滿の邦商

兩者の不平不滿 (二) 野添孝生

四、過信の結果が祟る

かくて大阪商人が、本年の舊正前後から今日に亘り、滿洲殊に奉天の支那商に、大變な目に會つたのである、この間のことは、既に周知の事柄であつて、今更事新しく述べるの要もないが、その當時の狀態は、實に氣の毒なほど憐であつた、殆ど大阪から奉天商工會議所に來る書狀も、また日每に來る電報も、その悉くが支那商に對する債權の取立て依賴であり、しかもその上に、次から次にと大阪から債權取立てにやつて來られたには、私達をして一驚を喫せしめたばかりでなく、隨分氣骨を折らしめたものである。何分にも倒產者中には、明かに詐欺破產と認められるものが少くない狀態にて、これに對し若もその手段をあやまつたが最後、所謂惡事千里を走る喩に洩れず、必ずや全滿洲に波及し如何なる狀態を見るやも知れない虞が充分にあつたからに外ならぬ、當時最も私達をして心配せしめた支那商の遣り方は、邦商がその決濟を迫ると、金を以て決濟は出來ないから、商品を受取つてもらひたいといふのであつた。しかしてこれを受取らんとすれば、高々金三圓位ひのものを十四、五圓に評價し、これが厭なら受取つてもらわぬまでじやと空嘯いた點である若しも斯樣な狀態が、次から次にと傳染して、我れも人もと云ふやうになれば、全然手がつけられなくなる、奉天會議所が極めて强硬な態度を以て、奉天總商會に交涉警告したことは、恐らく今日まで多くの人の知らない苦心の存した點であつた。私が前に述べたやうに、支那商が一度假面を脫げば、驚くほど大膽となり、全然恥を知らない徒になるといつたのは、實にこの一事を指すのである。大阪商人が平素支那商の何者なるかを知らず、總てを信用して取引する結果は、斯樣な祟りを見るに至つた[illegible]この度大阪に行つて、多くの[illegible]と懇談したのも、かうしたこと[illegible]再び繰返さないやう希望するに他ならなかつた。私は更に進んで、尙この機會に支那商の如何に恐るべきものであるかを次に述べなければならぬ

五、危險な合同組織

支那商は經營組織の上に巧であるから、安心して取引が出來ると稱し、大阪あたりでは、この組織たる聯號(レンヘオ)を非常に謳歌してゐる。成程この聯號組織なるものは一人の財東(資本家)を中心として、種々なる店が出來てゐるため、平素事なき時代に於ては、極めて鞏固な便利な經營組織であらう。しかしこの度の奉天に見る如く、多年に亘る軍閥搾取による民力の疲弊、奉天票の慘落、銀の暴落、官憲の亂暴な都市計畫による金融梗塞の極度等によつて一般的に打擊を受けた際は、平素聯號なるものを信用して、取引高が多額に上つてゐる結果、非常な危險を見たのであつた。現に詐欺破產によつて著名である奉天の慶玉、慶興久にしても、また同聯潤を中心に倒產を見た三商店にしても、これ皆聯號組織のものである。その他今尙大阪あたりにて、非常な信用を贏ち得てゐる某聯號の如き、一般に危險視されて居りこの五月節句を無事に切拔けたとしても、八月の節句が何うかと危ぶまれてゐる。聞くところによれば、この某聯號の如き、若しも馬脚を現はせば、大阪邊の問屋にて殆ど倒產に近き打擊を受けるものがあると稱されてゐる。尙最後に注意を要する點は、既に倒產して多額の迷惑をかけた店が、更に商號(ツーヘオ)をかへて、表看板を立派に商內をやるものが今後必ず出來る一事である。本年舊正前後から今日まで、奉天城內支那商の破產休業實に大小約千五百軒を算する狀態であるから、商號をかへて更に大阪商人を欺瞞するものがないと誰れが保證しやう。

黄塵

◇…けふわれ等の宮樣として御慕ひ申し上げる秩父宮殿下をお迎へ申し上げ目のあたりその御勇姿を拜し奉る誠に有難い限りである。

◇…殿下には陸軍大學生の御資格を以て滿洲の戰跡を親く御見學遊ばされるのであるがけふ滿鐵其他民間事業をも親く御視察遊ばされあす旅順の戰跡を御覽になり廿五年前の屍山血河の激戰を偲ばせ給ふ御豫定と聞く。

◇…東洋平和維持のため一死以て君國に捧げた忠勇無比のわが英靈は殿下の御英姿を拜しさぞや地下において感激の淚に咽ぶことであらう。

銀塊安で鈔票弱氣配

今朝の海外材料として銀塊は十九片十六分の七と(四分の一安)先物は十九片八分の一安)……

今日の相場

市況

奧地反撥で高粱强調

當市動かず

満洲日報

社說　大工業地としての關東州

大工業地としての條件はその工業の性質、並に種類によつて多少の相違はあるが、如何なる工業にも缺くべからざる必要條件は云ふまでも無く、製品の需要地を背後に控ゆること、製品の輸出、原料の輸入に便宜なる良港を、その前方に有することである。この意味において物資に對する無限の消費力を持つ滿蒙を背後地とし、中支における國際的港──上海と、山東の關門──芝罘とを結ぶ三角形の頂點に位し、沿岸貿易上の中樞である大連港を有する關東州は正に上記の大工業の勃興すべき最も有利なる條件を享有するものと云へる。

關東州の保有する有利なる條件は單にそれのみでない。一衣帶水を隔てゝ內地を控えてゐる、而も內地への輸出には一部の製品ではあるが免稅の特典を與へられてゐる。更に凡ゆる動力の源泉をなす石炭は撫順より比較的安價に且つ無限に供給を受ける事が出來る。加ふるに勞銀は低廉である。然るにも拘らず關東州は未だ工業地としての名を聞かない。そこに何等か缺陷が──地の利の上にでなく──制度、施設の上に存在するのではあるまいか。

顧つて關東州內に於ける工事の現勢を見るに、地方的事業である瓦斯、電氣は別として、油房業、鐵工業、窯業、精米或は釀造業其他投資額十萬圓以上の工場は僅々百餘。この投資總額は五千數百萬圓に過ぎない。生產高は一億一千六百萬圓で、油房業の八千五百萬圓、鐵工業の一千五百萬圓を除けば爾餘の工業の生產額は一割強に當つてゐる。而も此等諸工場が全能力を發揮すれば、その產額は二億圓、卽ち現在の二倍に達すると云はれてゐる。斯く工場施設五割の休止狀態は如何に關東州內工業の不振なるかを如實に物語つてゐる。

更に製品の販賣方面を觀るに總販賣額約一億一千九百萬圓、內外國向輸出八千九百萬圓、卽ち總販賣價格の八割を占め、次に州內消費一千四百萬圓で一割二分九厘、最低は支那諸港向の二百萬圓、一分八厘である。右の數字中、外國向の大部分、卽ち八千五百萬圓は油房生產品にして他工業製品は僅かに四百五十萬圓に過ぎぬ。

滿洲向三百九十萬圓、支那各港向二百萬圓では實に話にならぬ少額であるが、寧ろ此の少額なることが將來への餘力を存するもので決して悲觀すべきものでなく、州內工業の發展の上に喜ぶべきことである。邦人の滿蒙發展と稱するも、商租權問題は依然解決せず、農業的發展は到底望み難く、結局は商業的、工業的發展に俟つ他はないのである。それには工業的發展の根源地として關東州を選ぶが最も至當ではあるまいか。

滿鮮、開催された第五回關東廳經濟調査會に於ては範圍を攝め諮問案「滿洲に於て特に獎勵すべき重要工業の種類及び之が助成の方策如何」に就て審議し、目下、小委員會に於て夫々研究調査中であるが、由來、同種會議の咨申案にして實行された例を聞かぬ、單に眼潰しの仕事に終つたのは遺憾である。今回は特に幹事より「實現性乏しき工業に就ての調査審議は自ら諮問の範圍外にある」との諒解を各委員に求めてゐるから、恐らく近く完成すべき咨申案は實現の可能性あり、且つ關東廳として實行すべき義務を有するものと思はれる。

出來得べくんば同會議は更に一步を進めて、州內工業不振の原因を檢索調査して根本的にその病源を芟除、剔抉し、以てその健全なる發達に貢せんことを併せて希望する。

義教費增額案はじめ政府提案悉く通過す

野黨政友會、掉尾の追擊を試む

七日の衆議院本會議

【東京七日發電】七日の衆議院本會議は午後一時二十五分開會、追加豫算案も壓倒的多數を以て豫定の通り通過し大嵐一過の感あるとはいへ、野黨は殘された唯一の重要議案、義務教育費國庫負擔一千萬圓增額案に對しなほ追擊を試むべく掉尾の論戰が展開された。好天氣に惠まれ傍聽者は相變らず滿員の盛況である貴族院傍聽席には鈴木喜三郎、小久保喜七氏等の顏も見え陸海軍將校數十名も熱心に傍聽した。開會直ちに日程に入り先づ

一、市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案（政府提出）

を上程、武內作平氏（民）登壇し特別委員會の經過および結果を報告したるのち質問に入る

鷲野米太郎氏（國同）　只今武內委員長より報告があつたが委員會の審議が不充分である、本問題は教育の根本方針に關することであるから輕々に實施すべきものではなく當然文政審議會に諮るべきであると思ふが政府の所見如何、第二に苟くも議會にて全額負擔主義を聲明した以上將來の義務教育を國家事業とするか、從來通り地方自治體にまかせるか、この根本方針を承りたい、第三將來における財源は果して確實なりや、震災地小學校貸附金、保險會社助成金等千三百萬圓の回收が出來ずまた東京、橫濱の震災復舊利子補給七、八百萬圓を支出せねばならぬとせば二千餘萬圓の財源を必要とする、また五年度より實施すべき附帶決議まで附した救護法の實施も出來ぬ財政狀態でなほ義務教育費增額は必要がない

と反對を唱へて降壇

濱口首相　第一、第二の質問は一括してお答へする、政府が國庫負擔金を增額する時は財政上の問題を考慮した上行ふべきで現在問題となつてゐるのは一千萬圓の增額問題である、將來全額負擔が實際問題となつたならお尋ねの文政審議會に諮る件は考慮する、救護法は六年度豫算編成の際充分考慮する

井上藏相　保險會社助成金は每年完全に返納を受けてゐる、小學校貸附金も財政計畫には償還の出來そうなものだけを入れてあるから回收は確實である

鷲野氏　首相のその場限りの答辯には滿足するものではない民政黨は野に在る時は勇敢で一度朝に上ると何一つ出來ない

と擺府改革問題等を持出し喰つてかゝるので民政側「何を云ふ」と騷ぎ立て濱口首相も「答辯の限りに非ず」と一蹴しいよく討論に入る

增額は獨り富裕都市を利益せしむるのみ　數字を擧げ岡田氏肉薄

岡田忠彥氏（政）　國庫負擔一千萬圓增額の財政問題につき委員會とは別個の方面より述べる（とやれば早くも與黨側より彌次が飛ぶ）委員會にて一千萬圓の經常歲出を剩餘金で賄ふことを詰りたる質問に對し井上藏相は歲入歲出概計表を提げて答辯されたが、かゝる一片の紙片を示しただけでは說明にならぬ概計表を見るに六年度には五十五萬圓、七年度には六十四萬圓八年度には八十四萬圓の剩餘しかない（と財政計畫の基礎薄弱なるを數字を擧げて指摘し）五年度より實施すべき救護法も行はず、金解禁の後始末として政府の當然自らなすべき失業救濟も行はずして何が故に獨り義務教育費國庫負擔增額が急を要するか、吾人の解し得ぬところである、また一千萬圓を全國一萬二千町村に割當て、どれだけ政府の宣傳する如き負擔輕減となり得るか、一村で二、三百圓、多くとも四、五百圓が地方民の負擔輕減にどれだけの影響があるか（と述ぶるや與黨側「鰻を云ふな、二町村八百圓平均だぞ」と彌次る岡田氏更に）國庫負擔割當額に相當する家屋稅その他の地方稅減稅に當つては臨時市町村會に附議せざるものたりとの內相の通牒は地方自治を破壞するものなり（と國庫負擔增額と地方負擔輕減とが事實上極めて困難なるを指摘した後）政府は義務教育費全額負擔を聲明してゐるが、かゝる教育制度の根本に觸れる國策上の大問題を聲明する前に政府は何故輿論に問はなかつたか、しかも全額負擔聲明の根據の說明を求めても首相は委員會にて何等說明が出來なかつた、更に增額は貧弱町村に何等惠まれず獨り富裕都市を利益せしむるもので黨利黨略以外何物もない、しかも無爲無策の政府は緊急施設を要する中產以下大多數國民の生活不安除去、失業救濟には何等誠意なく、共產黨よりも危險なものである

と結べば、野黨一齊に拍手を浴びせ與黨の騷然たる彌次の裡に降壇

反對するものは農村に歸れ　增額の好影響を重視せよ　增田義一氏の贊成論

代つて贊成演說を試むべく民政黨より

增田義一氏　地方財政の窮乏は明白な事實で此點から義務教育費國庫負擔增額に依り地方民負擔の輕減をなすは必要である、一千萬圓と云ふが町村に割當て八百三十餘圓となるから決して尠少でない、且つ補助を國家から受けると云ふことは地方小學校の教員に好ましい精神的影響を與へる（とやれば「負擔輕減とは違ふ」と政友會側喧々囂々）緊縮節約時代に國家がこれだけ奮發するは教員も地方民も感謝するに違ひない、小學校教員は增俸要求の決議をやつてゐる（とやれば「見ろ增俸だ」と彌次られ增田氏も「俸增でなかつた、取消す」と訂正）全額負擔は財政に餘裕を生ずるに連れ實現して行くものである、教育の眼目は人間らしい人間を作るに在り、此度の擧が教員に感謝の念を與ふる精神的好影響を重視せねばならぬ（などゝ辯じ立てるが政友依然騷ぎ立てる、增田氏平然として）義務教育費負擔增加は軈て高等小學校教員にも均霑されるであらう、而して國庫にして小學校教員俸給の負擔に堪へずとせば市町村は如何にしてこれに堪へ得るか、また此增額は農村救濟上にも效果がある（とやれば「そんなことを云ふと實業之日本が賣れなくなるぞ」と彌次が出て滿場哄笑）反對するものは一旦農村に歸るが良い、義務教育費增額を以て選擧に勝つたのは之が國民の與望たるを示すものではないか

と政友側に皮肉つて贊成論を述べて降壇

一瀉千里に政府案可決確定

藤澤議長　これを以て本案の討論は終結しました、直に第二讀會を開くことに異議はありませんか

と諮り多數を以て決定、この時與黨の進行係

岡本實太郎氏（自席より）　これより直に第二讀會を開かれんことを望む

と議事進行を間違へ「それは何だ岡本落第」と政友手を打つて彌次るやら喜ぶやらの騷ぎの裡に藤澤議長も野黨の罵々に突込まれて第二讀會と第三讀會と取違へて又復大笑の裡に兎に角原案のまゝ多數を以て可決確定、次で

一、輸出補償法案（政府提出）

を上程委員長

岡崎久次郎氏（民）委員會の經過報告をなす、野黨は半數以上退席し彌次は盛んなるも議場次第にだれ氣味、次で質問討論通告なきため直に第二讀會に入り

岡本進行係　之より第二讀會を開き第三讀會を省略して委員長報告通り可決確定されんことを望みます

と述べ右案も可決確定、次に

一、賠償金特別會計法中改正法律案

一、製鐵所特別會計に於て大藏省預金部又は日本銀行、橫濱正金銀行又は株式會社日本興業銀行に對する債權の讓渡を受くることに關する法律案

右政府提出二案を一括上程委員長池田敬八氏（民）委員會經過を報告あり報告通り可決確定、次に

一、關稅定率法中改正法律案（政府提出）を上程委員長永田善三郎氏（民）の委員會經過の報告あり報告通り可決確定之にて散會時に午後三時三十八分

賀陽宮殿下元山へ　朱乙溫泉御立寄

【京城特電八日發】參謀演習御參加のため御滯城中なりし賀陽宮恒憲王殿下には京城における演習を終へさせられ七日午前八時五十分京城驛發列車にて將校四十名と共に元山に向はせられたが殿下には元山より更に羅南會寧に赴かせられ朱乙溫泉に御立寄りの筈にて十二三日頃には再び御歸城の御豫定である

大權の干犯

軍令部の同意なくば

第五十議會における政府の答辯要點

【東京七日發電】七日の貴族院本會議に於て池田長康男と濱口首相との間に質疑應答中、統帥權問題に關し問題となつた第五十議會（加藤內閣）における塚本法制局長官の政府を代表してなしたる答辯中の要點は左の如くである

憲法第十一條の統帥權は所謂帷幄の大權であつて第十二條の大權を包含しないものと解してゐる尤も第十二條の大權は第十一條の大權と緊密の關係を有するに依り共の行使の上に於ては第十一條の大權の作用を受くるものがあると云ふ事をお答へする

卽ち右の答辯中「其の行使の上に於ては第十一條の大權の作用を受くる」と云ふ事は卽ち第十二條に依る兵力量の決定等には總て軍令部の完全なる同意を要するものであつて、所謂作用を受くる以上は法律の解釋上第十一條の統帥權は第十二條に對し權力を持つものであるから、今回の軍縮協定に於て政府が單に軍部の意見を斟酌したのみでは不備であつて軍令部の完全なる同意がなければ大權干犯となる事を明瞭にしてゐるものである

統帥權問題　首相の答辯

【東京七日發電】七日午前貴族院本會議に於ける池田長康男の質問に依り問題となつた統帥權に關する濱口首相の答辯（速記）左の如し

第五十議會に於ける當時の內閣が憲法第十一條について議員の質問に答へた趣旨を此內閣は變更するかと云ふ質問であるが、之は御考慮を願ひたいと存じますが、その當時の內閣に於て答辯した如く現內閣に於て全部之を肯定し又は全部之を否定すると云ふが如き確定的のお答は出來ません（中略）此二箇條の關係を直截明確に區別して學究的の答辯をすることは非常に困難である、さりながら大體に於ては第十一條と第十二條との區別は立て得ることであらうが池田男の云はれた如く相互に作用する場合がある、從つて此二者の關係は極めて微妙であるので私は容易に只今の御質問に對しては、はつきりした御答辯を差控へることが適當であると思ふ

第五十議會當時の答辯解釋

【東京七日發電】池田長康男の質問によつて問題となつた第五十議會における當時の塚本法制局長官の答辯を當時の閣僚であつた濱口首相はじめ幣原、宇垣、財部の各大臣が現在に於ても當時の解釋をそのまゝ認むるや否やは重大な注目を惹くに至つたが、當時憲法第十二條は第十一條の作用を受くるものであるとの重大な答辯をなさしめた當時の質問者花井卓藏博士は左の如く語つてゐる

當時の自分の質問に對し內閣は宇垣、財部の陸海軍大臣が協議をなしこれを閣議に諮つて解釋を決定したうへ法制局長官をして答辯せしめたるものであるから本日首相が第十一條と第十二條の關係につき曖昧な言辭を弄して答辯せるが如きは甚だ不當であつて濱口首相として當然肯定すべきものであることは明瞭

陸相の答辯は必要なし

【東京七日發電】七日の貴族院本會議に於て池田長康男より第五十議會に於ける塚本法制局長官の說明を是認せらるゝやといふ意味の質問が宇垣陸相に提出したので、陸軍省では政府と種々打合せをした結果首相の答辯を以て足れりとする見解に一致した、從つて陸相は答辯しない事になつたわけである

海相の歸京は十五日ごろ

【東京七日發電】財部海相は七日滿洲里に到着そのまゝ歸國を急げば十一日夜入京することが出來議會に間に合ふわけであるが、政府はこれまで議會に對しては首相が海相事務管理として答辯をなしてゐる關係上、財部海相が議會に出席することゝなれば目下問題となつてゐる統帥權に關し答辯の一致を缺ぎ閣內不統一を招來する處あるとて、政府としては此際海相の歸京を遲らせ議會後に入京せしめて海軍協定の善後策卽ち政府對軍令部並に海軍省對軍令部の政治的問題を處置せんとするものゝ如くである、從つて海相は京城に於て大先輩にして政治家たる齋藤總督と會見し、海軍協定の顚末を詳細に報告すると共に此際海相の執るべき處置並に自己の進退問題等につき示教を受け議會後歸京することゝなる豫定で、目下の處海相の進退は齋藤總督との會見並に十五日ごろ歸京、首相及軍令部長との會見後に具體化するものと見られてゐる

帝國に有利と認め條約に調印して來た

進退問題其他は歸朝後決める　財部全權元氣で語る

【滿洲里七日發電】財部全權はシベリヤ旅行の疲れも見せず大元氣で語る

今回の會議で五ケ國全權は終始和氣藹々裡に腹藏なくその意見を披瀝討論した、軍縮の大事業に一新紀元を來し且つ國際協調の實を擧げ條約を纏め得た事は帝國の上から見て兎に角結構と云はねばならぬ、尙ほも當初の所期に反し完全なる五ケ國條約を得なかつたのは遺憾であるが然し軍縮の大事業は一氣呵成に出來るものでなく步一步之が實現に向つて進むべきものと信ずる、條約の**內容に**就ては歸國の上政府に報告し又若槻全權と共に上奏せねばならぬ爲めそれに先だつて深く其の內容に立ち入り所見を述べる事は其の時期でないと思ふ、勿論帝國の所期の主張を貫徹しなかつた事は事實であるが、從つて國防上の見地から不滿足であるとの意見も出るであらう、然し國家內外の情勢より考へまた條約に附せられた保留的條項とに鑑み之れを歸結する事が帝國に有利なりと認め調印して來た次第である、軍令部長の上奏うんぬんの事は自分も耳にしてゐるが其の內容が如何なるものであつたかは全く承知してゐない、會議中我々全權の間に種々**議論を**鬪はした事は勿論であるが之れは內輪の研究であつて一旦帝國として對策を決定した以上一致協力して之れが解決に當つた事はもとよりである而してこの間若槻全權の苦心と他に對する我主張貫徹のため倦まざる努力とは到底尋常一樣のものでなく眞に敬服して已まない處である、協定に對する不滿の點は協定中現下の軍事計畫に關するものでなく五年先きの問題であり且つ現下の重大國際關係に鑑み曹明の限りでない又余の進退問題其の他の諸問題に關しては歸朝後政府同僚と篤と熟議の上決する考へで只今何も考へてゐない

貴族院の議事圓滿に進捗

民政黨前途を樂觀

【東京八日發電】民政黨では豫算案を定刻で議了し、義務教育費案その他重要法案を僅か二時間の討議を以て議了したるは空前の好成績である、殊に教育費案は野黨も內心贊成で殆ど全會一致で可決したるは全く國民總意の反映である若し之を貴族院にて濫りに阻止する如きことあらばそれこそ國民を敵とするものである、又統帥權問題の如き政友會は內心政府と同一意見を有しながら政爭の具に供してゐるのであり、憲法第十一條、第十二條の論議も明白である、然るに貴族院で殊更に政府を追窮せんとするにおいてはこれ亦國民の意志を無視することゝなるを以て政府を鞭撻して堂々と貴族院に對抗すべきであると强硬意見を抱いてゐるが、幹部多數の觀測は貴族院反政府系の一部の策動はあつても多數公正の識者は政府の態度を是としてゐるからかゝる重大決意を要せずして會期を終了するものとしてゐる

義教費增額案　貴院も通過見込

【東京七日發電】義務教育費增額案の貴族院に於ける狀勢は反政府系の策動が此の一點に集中されてゐる爲政府としても樂觀を許さず極力諒解に努めると共に情報の蒐集に努めてゐるが、委員の定數は十五名に決したるも研究會に於ては前田利定子を委員長に推薦せんとの議あり鈴木喜三郎、山岡萬之助氏等の策動露骨となり來りたる爲め政府は前田子を委員長とするは不利なりとし極力反對したる結果、目下の處では大體政府側に有利に展開し結局火曜會側若くは伯爵團中より委員長の推薦を見るものと豫想し然る上は大體に於て會期中に審議終了し通過を見る事となるであらうと觀測してゐる

政府の答辯方針

義教費案及び統帥權問題　首相翰長と打合はす

【東京八日發電】濱口首相は八日午前八時半鈴木翰長を官邸に招き貴族院に廻附された義務教育費案の情勢につき聽取したが鈴木翰長は同案に對する質問の要點は全額負擔主義問題、一千萬圓增額の財源問題及び配分方法にあり答辯に窮する事はない、要は反政府議員の議事引き延ばし策を警戒するにありこの點貴族院の諒解を得せしむる必要あり

と述べ次いで統帥權問題に關し種々協議する處あり本問題は反政府系議員を多少刺戟した感あり今後本會議及び豫算總會にては相當答辯に意を用ゐて政府今までの言動と矛盾せざる樣せねばならぬ、只軍縮條約における加藤軍令部長の同意解釋問題については所見を明かにせぬが得策と思ふ、財部海相の滿洲里における談話は大した內容のものでないがこの際海相の言動は政府に重大關係を與へるから海軍側と協議して置く要あり新聞に傳へられる海相の談話について質問ありとも報道の眞疑不明として答辯しないとの意見に決し濱口首相は登院直ちに山梨次官、杉山局長と打合せた

歐亞連絡列車から

兵卒の給與は米國が世界一

志願者は英と同樣少い

六日の歐亞連絡列車で米國に二ケ年間留學してゐた陸軍大學教授根岸博氏と名古屋商工會議所理事で世界の產業狀態を六ケ月間視察して來た宮川保氏が通過歸朝した──根岸氏は語る

米國の常備軍は三年前までは約十二萬であつた、毎年豫算關係によつて編成が變るので其役の增減については詳しいことは知らぬ、私は主として東部方面の米國軍隊と學校に留學してゐたのであるが却々規律も嚴重で日本と比較することは別として立派なものである、軍人は全部志願兵で兵役年限は制限されてゐない兵卒の給料は最低月三十弗であるから所謂米國式の世界第一であらう、米國の軍隊を觀た眼で歐洲各國の軍隊を觀たが、矢張り米國が一番よい、何といつても金のある國だから、然し志願者の少ないことは英國と同樣らしい、なほ本國から海外へ派遣してゐるのは布哇、フイリツピン、天津等で東洋については注意を拂つてゐる樣子だ

絹製品の歐洲輸出有望　宮川氏の意見

早足で世界一周して來たのであるが、世界的の不況は遺の米國にも影響してゐる、然し他の各國に比較しては問題ではない、戰後一番困つてゐるのはドイツとイギリスの失業者の增加したことであるが、チエツクスラバツクはドイツから脫して後日の出の勢ひで工業は進んでゐる、日本品の歐洲各市への進出は充分可能性がある、特に絹製品と東洋趣味のもの！ついて大に歐米人の嗜好に適するやう研究し改善すれば有望であると思つた（ハルビン特信）

前文相奏請責任決議案　政友で支持

【東京七日發電】政友會は七日院內に代議士會を開き八日の本會議に提出される尾崎行雄氏の小橋前文相奏請の責任に關する決議案が上程された場合には黨議を以つてこれを支持するに決した

十四日に閉院式　十三日までに全部を審議

【東京七日發電】貴族院に廻附された昭和五年度追加豫算案は八日より三日間總會の審議を續け十一日午前分科會、午後總會で決定のうへ十二日の本會議に上程可決し十三日の最終日に於て義務教育費その他の法律案を上程審議のうへ可決する順序であつて、たゞ義務教育費の委員會審議が遲延する模樣であるが、政府側ではこれも最終日までには審議を終了し得るものと見込んで居るから會期延長の必要なく十三日を以つて貴衆兩院とも審議を了し十四日午前十一時閉院式を行ふ豫定を以つて進んでゐる

貴院與黨系　前途樂觀

【東京八日發電】貴族院における義務教育費案の運命を危ぶまれてゐた特別委員は八日決定を見たが研究會では正午常務委員會を開き委員長の人選につき意見交換の結果委員長は近衞文麿公（火曜會）說多數なる時は之に同意するに意向一致した、而して近衞公は近く渡支するので委員長は柳澤伯に落ちるかも知れないが、柳澤伯は研究會改革派に好意を有するので、いづれにせよ貴族院與黨系では委員の顏觸決定と共に著るしく愁眉を開いた形である

宇垣陸相　十一日頃登院

【東京八日發電】宇垣陸相はその後經過良好で八日主治醫の談によればこゝ一兩日はまだ登院は許せぬとの事であるがこのまゝ順調に進めば十一日頃には登院し得る見込みである

義教費案の貴族院特別委員

【東京八日發電】貴族院における義務教育費國庫負擔增額案の特別委員は左の如く議長より指名された

近衞文麿公（火曜）柳澤保惠伯（研究）野村益三子（研究）西尾忠方子（研究）加納治五郎（同和）眞野文二（同和）伊澤多喜男（同成）肥後秀男（公正）斯波忠三郎男（公正）千秋季隆男（公正）南弘（交友）湯地幸平（研究）澤村重（研究）瀧藤總明（交友）大谷尊由（研究）

陸相の答辯　首相同樣と決定

【東京八日發電】七日の貴族院本會議における池田長康男の陸相への質問に關しては既報の如く池田男は首相の答辯に對して强いて陸相の答辯を要求しなかつたのであるから、その點答辯の必要なしといふに決し政府は七日午後四時院內大臣室に濱口首相、鈴木翰長、杉山軍務局長等協議をなし、若し本會議において池田男より再び質問あつた場合につき宇垣陸相の意向を徵したるところ濱口首相の答辯と同樣なりと答辯することに決定した

米海軍豫算　千三百萬弗增加

【ワシントン七日發電】アメリカ下院支出豫算委員會は本日本會議に一九三一年度海軍豫算案を報告したが右は總額三億七千九百三萬六千八十六弗でその中ロンドン協定の範圍內の建艦費は四百九十萬弗で前年度豫算に比し一千三百三十五萬一千五十九弗の增加である

江西北部の中央軍兵變

【東京八日發電】その筋着電に依れば江西省北部を守備中の第十二師金漢鼎軍の一部は兵變を起し德安、九江方面に向ひつゝありとの報傳はり漢口にては邦人保護のため軍艦鳥羽急行の筈

セ將軍日本へ

【天津特電七日發】セミヨノフ將軍は當地にて何事かを策してゐたが支那側の信用も薄らいた今日相手にする者もなく七日出帆の船にて孤影悄然として離津した、氏は橫濱に赴き靜養すると語つてゐた

葫蘆島起工式　來廿五日擧行

【奉天六日發電】葫蘆島築港の起工式については築港準備委員會で打合せ中の處來る廿五日擧行することになつたが張學良氏も出席する筈で同地治安維持のため曹魁元を隊長に部下五百名を率ゐ五日大虎山發葫蘆島に向はしめたと

滿洲里乘換廢止案　露支會議に附議

【ハルビン特電八日發】歐亞聯絡直通列車の滿洲里乘換廢止案はモスクワ正式會議にて附議する筈であると

安東領事歸朝

【奉天特電八日發】安東宇佐美領事歸朝を命ぜられ後任は奉天總領事館森岡正平領事が一時兼任することになる模樣

大平副總裁　松田拓相訪問

【東京特電七日發】大平滿鐵副總裁は六日正午衆議院に松田拓相を訪問し上京の挨拶を述べたが、七日午後一時更に訪問、滿鐵の今期業績、臨時業務調査委員會における職制、傍系會社整理其他の審議內容及び經過を報告し且つ滿洲の近狀についても說明するところあつた、副總裁はなほ八日朝十一時頃同じく院內で井上藏相と會見し上京の挨拶を兼ねて同樣の報告をなし且つ問題の昭和製鋼所その他の件につき打合せを爲す筈

小日山滿鐵理事　辭令發表さる

【東京七日發電】辭表を提出した小日山滿鐵理事に對し本日左の如く辭令の發表があつた

南滿洲鐵道株式會社理事　小日山直登

免南滿洲鐵道株式會社理事

小日山前理事退任告別

滿鐵理事小日山直登氏は七日附を以て正式に退任したので九日午前十一時三十分より本社會議室にて在連社員に對し退任告別をなす筈而して右告別が終つた後記念撮影をなす筈

安眠子

この程開かれた東北最高軍事會議で東北軍の給料未拂のため兵變が心配されてゐるが財政窮迫の今日財源捻出の方法全く盡き取敢ず東北省主要銀行に依賴して一時の立替拂ひをして貰はうではないかといふことになるさうだが支那南北戰の決定權を握つてゐる東北軍からこれだから情ない▲八日ハルビンに着いた財部全權、諸を聞まして「世の中には曉程になつても鉄程と問ぶ者もあるから軍縮會議で日本の主張ばかり通さうといつても駄目だ、且つお互、國防に不安が來るとは思はぬ、何となれば問題は現在のことでなく五年先きのことだから」と、この一言で財部全權の肚の中が讀める▲全權の列車が滿領ノーオシピリスク附近を通行中名物の箱乘スリが忍び込み時計洋服その他の目ぼしい物を盜み去つたのはお氣の毒

特產

定期後場（銀建）

▲大豆（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　三十九車

▲普通大豆（出來不申）

▲豆粕（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　四萬六千枚

▲豆油（保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　一千箱

▲高粱（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　十七車

▲包米（出來不申）

現物後場（銀建）

	寄付	大引
混保（後込）	七〇一〇	七〇一〇

ナ豆（裸物）出來高　五十車

普通大豆　出來不申

豆粕　一二八〇　一二八五　出來高　三萬枚

豆油　出來不申

高粱　出來不申

包米　四七八〇　四七八〇　出來高（上モノ）一車

商品

後場（出來不申）

綿糸（保合）銘柄　約定期　値段　梱數

扇面　延五月十五日　[illegible]　10

麻袋（出來不申）出來高　十梱

錢鈔

定期後場（單位錢）

期	寄付	高値	安値	大引
近期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　近　三十四萬圓　遠　百四十三萬圓

現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	出來不申	[illegible]

出來高　銀對金　二萬八千圓　銀對洋　二千圓

滿日地方版

奉天

二名の馬賊 我警官に捕はる
人質で八千元儲け
逃走準備中惡運盡きて

[illegible]

枕木と石塊を 鐵道線路上に
撫順驛と古城子間で

[illegible]しきものあるを發見急停車取調べると三尺位の枕木二本、石塊四個をならべ不逞の計畫をたてたものあり事重大なので沿線警備の守備隊側及び警察兩當局實地檢證目下犯人嚴探中である

公金を拐帶し 情婦こ逃ぐ

北海道後志支廳屬手塚金吾（三七）は本年始め公金六千四百圓を着服し同所女給仕熊谷タケ（二一）と手に手をとり逃走その親友たる龍鳳坑東鄕七號角川千里方へ最近來た形跡があると言ふので警察では手配中

九十八名の中から 七十四名合格
花柳病は皆無近視は多い
好成績だつた徵兵檢査

[illegible]なるに本年は廿四名で結局七十四名合格丙種は廿四名丁種は一名もなかつた、甲種のみの合格率昨年は二十パーセントであつたが本年は三十パーセント、全體の

合格率は 昨年は五十三パーセントなるに對し本年は七十五パーセントと云ふ好成績であつた

疾病で一番多かつたのは近視の十名で撫順の壯丁は大概中等學校卒業以上の者が多い關係上眼鏡使用者が二十五名もあつた、既報の鬮町三丁目の竹原軍好君は見事甲種に合格し鬼の首でも取つたやうに狂喜してゐた

主家に三回放火 全家族を燒殺す目的
＝怖ろしい支那少年

[illegible]

乞食狩
九十名捕ふ

[illegible]

全奉ア式蹴球 優勝旗爭奪戰
◇來る十一日擧行

[illegible]

町の便り

[illegible]四洮鐵路視察中であつた在奉新聞通信記者團一行十名は六日夜無事歸奉した

◇

小西關市場居住金炳泰（三六）は詐欺未遂にて懲役一ヶ月、朝鮮生れ住所不定元福充（二八）は窃盜罪で懲役二ヶ月、十間房柳華永（三一）は館令違反にて拘留十四日、撫順[illegible]金寨朴海山（三八）は窃盜罪で懲役五ヶ月金龍朱（二九）は窃盜罪で[illegible]

哈爾賓

吾等の町を語る
先づ靈の向上
植民地氣分を離脱せよ

岡茂氏談

[illegible]

つては呑み　損をしては飲むと云つた工合で、大小ともにお靑樓に蕩盡した金は莫大なものです、それだけならよいが、全部店のものがさうした調子になるのだからうまく行かぬのが當然ですな」

◇

「人件費の如きも支那人は大洋の五元位で濟むが、日本人は其の十倍も要るとか、ちよツと招待して一夕の宴に金の二、三百圓は飛んでしまふのですから――然し是非必要な經費は別に問題ではない

日本人は眞面目に働けば、そして日露の役に於けるが如き困苦に堪へるならば、決して世界を恐れるには足らないでしよう、が最も惡いのは俸給生活者も商人も海外に住んでゐるのだから――と植民的氣質のある點です、これは商人として立つには不眞面目となり、官吏、俸給生活者は自から身を損ねる結果となるのです、商人は破産する、俸給者は酒を呑み過ぎて動脈硬化性となる、彼自らが墳墓に墜ち込んで行かうとしてるのだ、これでは日本人は永遠に發展は難しいでしよう」

◇

「特にハルビンは過去の進歩から推測すれば、鐵道の敷設によつて今後十三年間には現在の特産が五、六倍増加するとして、十年前には東支が運賃率を値下して浦鹽輸送に努めた歷史を反對に南滿も東支も共に輸送に應じ切れぬことにならう

「この大勢からいつて、日本人が働くにはどうですか、これまでの缺陷の經驗でよいでしようか」

「まだ〳〵當地は日本人のみならず誰でも活動し得る餘地はありますよ、但し日本にゐる考へで働くことを條件とし、且つハルビンが國際經濟都市として伸びて行く素質をもつてゐるから物質的に陶醉してはならない、ことです、精神的向上の修養をすることです、隙があれば麻雀をしたり、酒を飲んだり、ダンスをして夜ふかしするとか、さうして閑があれば勉强すること です、ロシヤ語でも支那語でも一人前圖拔けてをれば生活に不安を來すやうなことはない、ヤレ俸給が少ないの、といつて眞面目に働かないのヤレ待遇が惡い

ものは、自然的淘汰されるのは當然ですよ」

◇

「不景氣だと云つても、一生懸命働けば食へないことはないのです仕事がないと云ふのは、仕事を見つけない人のことだと私は思ひます、靑年團、誠志會でも私の希望としては毎月二、三回は精神修養の會合をするとか、體育の練習をするとか、有意義な生活をしたいものです、さうした團體が邦人を指導するならば、必ず健實な發展を求められます、私は半生の殆ど北滿で暮し、ロシヤ勢力の最盛期から支那の擡頭と其の變遷の多い民族鬪爭の話歷史を見て、我々日本人の學ぶべき點が多くハルビンは實によい處だと思ひました斯うした實驗は他にありませんから」

◇

岡さんの哈爾賓觀は單なる觀測ではないらしい、十有星霜の生活が愉快であつたのである、これでないと住める町は愛されぬだらう【寫眞は岡氏】

哈爾賓

注目される 鐘交渉員の態度
此の問題を機會に
歸化權問題の根本的解決

日本總領事館を襲擊した暴徒は支那當局の主張する處では、韓籍を有する鮮人であるから支那法により處罰したいと鐘交涉員は述べてゐる、韓僑歸化人同志會は吉林省城を中心にして昭和二年始めて正義府の首領株が勸告で成立したもので、在滿鮮人の各團體首腦者が秘密裡に會合し支那當局の庇護のもとに歸化權を拾得することを決議したが、正義、參議、新民府等の幹部會議も結局地盤協定が成立せず決裂したのである、當時

吉林當局 と我吉林總領事との間には該歸化問題に就いて折衝が重ねられ、今日に至るも未解決の儘で、今回の事件により根本的の解決を必要とする氣運となつて來た、鐘交涉員は吉林省の出身で本問題については十二分の豫備智識を有してゐるが、相當の責任あり單に歸化鮮人だからとの理由で引渡しを拒否することはできないでらう

犯人を庇護するか 奇怪な支那側
◇……引渡を澁る

我總領事館暴行鮮人に對し八木總領事から嚴重交涉し犯人引渡方を支那當局に通告したことは既報の如くであるが、支那側は依然として歸化鮮人を理由に目下取調中と稱して交涉に應ぜず、寧ろ暴行犯人を庇護し、事件を有耶無耶に葬つて暴行者を釋放せんとするの意嚮さへ有してゐると傳へられてゐるが、假なりとせば今や南京政府が主張せる法權回收に對し影響する處があらうと見られてゐる、

濱江雜俎

在哈鮮人婦女子のため一口金廿圓の二百口合計金四千圓を資本として婦人勸業所を設け失職せる婦女子や手に職のないものに賃仕事を與へ、將來は彼女等の精神向上と修養をも指導すると

◇

居留民會補習學校に二日から設けられた露支人への日本語科は、既に百餘名の入學希望あり盛況

また腦膜炎發生
＝益々蔓延の模樣＝

又復六日流行性腦脊髓膜炎が發生した右は北臺町一の五越勝吉（一〇）で即時入院せしむると共に警察では交通遮斷大消毒を行つた、傳染病棟主任伊藤醫學士は語る

今年の腦脊髓膜炎は極めて惡性で前月來既に五名も發生した、傳染系統は今なほ不明であるから各家庭では充分注意を要す、特に幼少年に罹病者が多い、その豫防法としては外出先から歸つた時オキシフルの含嗽をやらし咽喉部をいためぬやうするに限ると

人事

▲多田第十六師團參謀　六日過奉北行

▲板垣關東軍參謀　六日來奉

▲宮崎關東軍々醫部長　七日歸旅

▲入木奉天高女校長　七日着任驛には同校職員生徒多數の出迎へがあつた

▲李吉海鐵路局長　六日長春へ

▲片瀨晋氏　奉天機關區長に五日附を以つて任命さる

懲役三ヶ月、六日夫々判決言渡しがあつた

◇

七日午前十一時五十分頃滿醫大學々生葉維翰（一九）が自轉車に乘り皇姑屯に向ふ途中驛前において滿鐵撒水用自動車と衝突し、葉はなげ出され左上眼その他に全治三週間の重傷を負ふた

夏物仕入期を控へて 冴えぬ哈市財界
輪組の金融狀態平凡

四月は夏物仕入期の注文品が到着する月ではあるが、ハルビン輸入組合の金融狀態から邦商の現在を視ると、貸出額に於て一千百餘圓を減じ、新らしい仕入も餘り行はれてゐない、いづれにしても一般經濟界は堅實以外にスペキユレーションを許さぬ時代であるから當然かも知れない、それでも一ケ月二十數萬圓の金融は行はれてゐるので、邦商が全然沈滯してゐると云ふ譯ではない、四月末現在は左の通り

出資金　一四九、三六九、七〇　圓

貸出金（一九二口數）一三八、四六七、六六

其の動靜は、貸出九六口に對し九二の回收、金額に於て回收は一一五四四〇圓八八に對し貸出一一四四一五圓五三

で回收金高は一千圓增となつてゐる、三月末現在に比較すると口數に於て四口增で前月と同樣平凡であるこれは財界の原狀維持を物語るものであらう

鞍山中學校の學生一行は來る十八日午後四時半來哈、二村滿鐵社會課長は十二日チチハルから來哈の豫定

◇

特別區警察管理處にては奉天當局よりの命により特別區管內の赤化宣傳を目的とする左翼分子を警戒するやう取締令を施行した

◇

仙臺木檜九本田巳代之助から二男榮一（二四）が家出したまゝ行方不明であるから居所判明すれば御通知下さいと、ハルビン日本總領事館に搜查願狀を送付して來た、子を想ふ親心

◇

二名の支那人共產黨員が支那側に逮捕された、廿一ヶ條文を懷中にしてゐる

◇

領事館を襲擊した鮮人暴徒は東部線阿城縣を根據地としてゐた者と判明、歸化しても鮮人は鮮人であると證明された

松江餘滴

張煥相の建立寄進になつたハルビン郊外の極樂寺▲八日は灌佛會で支那人の人出▲無慮觀衆十數萬とあり佛前の賽錢がトンズルの山▲飽警察處長は浴佛會に民衆が盲動してはならぬとあつて廟會を禁止し樣とした▲人間が多數集合すると暴動をすると假設してゐる飽君の頭腦の明晰さが判る▲盲滅法の取締には浴佛の開眼も必要だ▲飽君はカンカンの反共產黨だとあり▲人間の集合はよくないと禁止する處永劫佛性は少ない▲泥棒した兒にも繩捕がらめしい▲群衆を赤化だ暴動だと愚信してゐる飽君を誰が濟度するか？▲電信電話權は主權が支那にあるから監督權は當然支那のものだとの二段論法▲歸納者には首肯してよいが▲露支協定の精神がうらめしい▲「其第九條には東支鐵道の直接管理下にある營業に屬する事項を除き」とあり▲問題は東支の電話、電信が直管下にあるものなりや否やを先決問題とせねばならず▲其の點では東支の營業であることに疑ひがないから支那の主權は二重に及ばない結果となる▲だから監督權は支那にないとソウエート側は主張するだらう

長春

讀書子の福音 圖書館を新築
神社附近の庭球コートを利用し
庭園を有つ壯麗なもの

長春圖書館は益々利用者が增えるが現在の建物は借家なので設備にも種々缺ける所があつて、今春地事は中央通り長春神社向ひ側テニスコートの場所を使つて理想的の圖書館を建設することゝなつた、

新圖書館は中央通りに面して相當大きな庭園を持つ筈で、圖書館利用者にとつて一大福音である許りでなく長春市街に一段の美を添へるものである

今度は生活改善
家庭研究會が＝
一周年記念の新目標

長春家庭研究會は昨年四月創始以來各方面から歡迎されてゐるが、滿一周年を迎へるのを機會に今度は生活改善に向つて邁進すべく、八日午後一時から滿鐵俱樂部に總會を開き隔意なき協議を遂げた

廣場の一隅に建築することゝなつた、新建物は三層樓にて九十三尺に三十四尺だと

少女歌劇團來る

目下南滿各地巡業中の少女歌劇一座は來る九日來長、長春座に於て九、十兩日興行すると

警備演習終了

長春守備隊は公主嶺騎兵隊と合同して五日午前九時から鐵道警備演習を開始公主嶺獨立守備隊の三浦大隊長が檢閱官となり三日間に亘つて繼續し七日終了した

ツーリスト ビユーロー
移轉新築着手

長春のツーリスト・ビユーローは近く停車場前に移轉決定してゐたが愈々工費三萬圓を投じ停車場前[illegible]

普蘭店

春祭り賑ふ

普蘭店神社春祭は五日宵祭、六日本祭を施行し各戶國旗神燈を點じ神輿の渡御はなかつたが境內には子供相撲や福引等で賑はつた

淸潔檢查良好

普蘭店一圓の淸潔檢查は七日早朝より市街全般に亘りて施行、概して成績良好なりしと

鐵嶺

待たれた龍首山の 大◇野◇遊◇會
愈二十五日に決る
兒童運動會や寶探しもある

延期に延期を重ねた鐵嶺敎化聯盟及び緊縮委員會主催の鐵嶺全市民の野遊會は、七日地方事務所で協議の結果來る廿五日開催と決定した、會場は龍首山、午前十時を期して會場に集合、子供運動會や寶探しなどの餘興を加へ各種賣店を山上に設備し辨當は各自持參、用意無き者は會場に於て隨意求められるやうにする、會費は不要、健康增進の爲めにも終日春の一日を愉快に過ごさうといふのである

五氏に記念金
夫々贈呈す

前鐵嶺小學校職員たりし白髮、志田、鈴木、磯西、小野寺五氏に對し鐵嶺父兄會からの記念品贈呈醵金は百四十一圓に達したので下山會長から謝狀を添へそれ〴〵任地に送金した

豐田驛長辭任
近く歸鄕する

平頂堡驛長豐田賢次郎氏は今回職を辭し近く鄕里岐阜に引揚げると

「ヴオルガ來る」
けふ公會堂で

大連に封切上映されるや幾萬のファンを熱狂させたといふ泰西映畫「ヴオルガ」十二卷は今九日當地公會堂に上映番外として河合映畫特作杉狂兒鹿島陽之助等主演の「熱火の舞」全八卷がある、入場料は大人七十錢軍人四十錢小人二十錢と

遼陽

全遼陽春季運動會
競技種目決る
出場申込は明日まで

遼陽滿鐵運動支部では市中側も參加せしめて十八日午前八時から白塔公園グラウンドに於て春季大運動會開催の準備中であるが、當日運動競技に參加希望者は十日迄に地方事務所社會係迄申込まれたしと競技種目左の如し

▲百米、二百、四百、八百、千五百、忠魂碑往復マラソン、八百米リレー、棒高、砲丸、走高跳、三段跳、盲啞競爭、提灯、跛競爭、煙草、パン食、饀摑み、抽籤借物競爭、綠の糸、瓶運び、洗面器被り、一人一脚、步度制限、戴籤スプーン、白面競爭、障碍物、サツクレース、二人三脚、抽籤競爭、土嚢運び、假裝行列

適齡壯丁出發

昭和五年の徵兵檢查適齡者は遼陽在住壯丁で卅八名の處、內一名事故、卅七名が八日奉大檢查場に於て受檢、遼陽警察署の飯田兵事係が引率出張した

白塔よだり

招魂祭最初の企てとして八千米突マラソン競走が發表せらるゝや、靑年も老頭兒も地下に眠る英靈一萬二千有餘の慰安と云ふ意味で申込既に五十人に及び、當日は六十人以上に上らうと、體育獎勵にもなり結構の事だ▲滿鐵社會係は招魂祭に一人でも多く參拜さす爲め杵淵校長と相談の上招魂祭標語を作成し近日中兒童をして各家庭に宣傳すと▲日本で有力な生命保險會社が被保險者に保險金の支拂上ごた〳〵が起つて居るとの噂がある、早く解決せぬと會社の信用問題だとの風評

鞍山

全滿素人相撲大會
前景氣頗る旺
九、十の兩夜は活動寫眞
大會の經費を捻出

鞍山に於て來る十八日擧行される全滿素人相撲大會の經費捻出の爲め、九、十の兩日演藝館に於て活動寫眞を開映するが當日入場者は相撲大會も無料入場出來ると、倘州外の奉天、撫順、安東、長春等では何れも二組宛の出場申込みあり、鞍山でも毎夜猛練習を續け前人氣盛んである

軍人會員の 招魂祭參拜
十日午前發で 遼陽へ

鞍山在鄕軍人分會では十日午前九時二十五分發列車にて赴遼、招魂祭に參拜する參拜希望者は當日午前九時十分までに驛前に集合されたしと因に祭典後は自由解散

輸組四月業績

鞍山輸入組合の四月中業績は左の通りである

一持分　組合員數七十八名、口數二七一六〇口、出資金一三六、八〇〇圓、拂込高一三四、〇二四

一貸付　本月貸付件數一七九、貸付高七五、八〇七圓、六〇二圓、回收高七二、八〇七圓、月末現在件數四六〇件、月末現在貸付高一一三三、〇五一圓

小學生旅行
旅大方面へ

鞍山小學校尋常六年男子三十七名女子三十二名計六十九名は木村、大倉、矢野の三訓導に引率され、六日午後十時半發夜行列車にて旅大視察に出發した

製鐵所見學

鐵嶺小學校生徒は八日午前十一時四時三十分着列車にて營口より來鞍し製鐵所を見學した

警備演習打合
菅原主計來鞍

遼陽駐劄第十六師團の各聯隊警備演習は六月より七月にかけて鞍山を中心として擧行すべく之が打合せの爲め、經理部菅原二等主計は六日來鞍し地方事務所にて宿舍軍用品配給能力等の調査をなした

畜牛結核豫防注射

滿鐵下山多次郎氏は來る十五日來鞍し十八日まで四日間に亘り鞍山管內の畜牛の結核豫防注射及び檢查を行ふと

仁川公立商業學校生徒は九日午後

開原

十一日は兒童デー
小學校庭で種々の催し

來る十一日の兒童デーには開原にては開原小學校々庭に於て午前九時より兒童愛護デーを開催し、幼兒並に兒童の遊戲童謠舞踊及び體育運動をなすと、尙當日は幼稚園及び學校に通學せざる幼兒にもお土産袋を呈する、兒童デー趣意書の配布、兒童愛護に關する標語ポスターの揭示も行ふ

春期慰安車
金溝子と滿井

滿鐵にては中間驛在住社員慰安のため毎年春秋二回慰安車を巡廻して居るが、本年度春季慰安車は目下巡廻中にて來る二十日金溝子驛二十一日滿井驛に停車慰安すると

安東

全鮮警視級異動
平安北道では四名

豫て噂のあつた全鮮警視級の異動は二日付發表された、內地移入警視昇任及轉勤を合せて二十九名、退官十五名と言ふ近來の大異動であるが、森岡警務局長が朝鮮警察界の空氣を一新し能率の增進を圖る爲めに着任後初めて揮ふ大斧鉞である、此の大異動で

平北道保安課長橋口政義警視は咸興署長に、新義州署長古市金彌警視は釜山署長に、江界署長山下正藏警視は平壤署長に、楚山署長東川茂警視は仁川署長に轉補されたが、四氏とも揃ひも揃つて榮轉許りである、而して四氏の後任には靑森縣休職地方警視木村與惣吉氏が保安課長、忠北高等課長出中嘉一警部が警視に昇進新義州署長に、忠南大田署長武藤利三郞警部が警視に昇進江界署々長に、平北寧邊署長前田貴警部が警視に昇進楚山署長に任命された

警察の分駐所
六道溝に設置

密輸入取締り並に江岸警備の徹底を期する爲め安東警察署は新に六道溝に分駐所を設ける事となり、同時に半年に亙る懸案であつた稿關監視所も近く開設される筈になつてゐる

幼兒用プール
六道溝に新設

滿鐵地方事務所社會係では近日中に六道溝桃源滿鐵プールの修繕工事に着手する事となつたが、同プールは小學生以上の專屬となつて居る爲め今年は更に幼兒專用プールを附近林間に新設する事に決定し、總工費は約九百圓にて六月下旬には完成の筈であると

各氏に內伺れへか申込まれたいと

釜の中に 嬰兒死體
鮮支人の所爲？

去る五日安東縣滿鐵病院構內第三病舍後方汚物燒き場の釜の中に生後間もなき嬰兒の死體を投棄してあつたのを巡廻中の同昌橋派出所巡査が發見した、嬰兒は桃色の病院用ガーゼに包まれ鮮血に染まり脫脂綿の上に裸體の儘横に寢せてあつた、捨場所を特に釜の中に選らんだ點と死體がガーゼや脫脂綿に包まれてある點が從來の鮮人や支那人の嬰兒殺し事件と趣きを異にしてゐるので當局の搜查は多大の興味を以つて注目されてゐる

金剛鐘乳洞の 探勝會

安東山岳會主催の平北寧邊郡地下金剛鐘乳洞探勝會は來る十八日午前七時五十分安東驛出發、同十九日午後八時安東歸着に決定した、募集團員は二十名以內で會費は金十二圓九十錢、參加希望者は來る十五日迄瀨之口、原田、影山、相[illegible]

競馬の三日目

安東競馬第三日は細雨に祟られながらも總賣揚高一萬六千九百餘圓で初日以來通算すれば四萬六七千圓の揚高となり、殘り三日間が雨に祟られざる限りは豫想の八萬は突破するものと見られてゐる、尙大連競馬終了で同地よりの參加もある筈で一層人氣を呼んでゐる

吉林

劍道稽古納會
五日警察署で

吉林總領事館警察署では五日午後四時より劍道稽古の納會を行つたが、石射總領事、長岡副領事等列席し三本勝負より始まり次で公所員籠谷三段審判の下に高點試合を行つた結果

△一等木山部長△二等東巡查△三等竹中部長等

夫々入賞した、終つて堀、山崎兩氏の帝國劍道型があり盛會裡に午後七時頃閉會した

吉林研究會の 名稱變更か

吉林研究會では從來支那側から吉林省に內政其他重要事項でも研究するかの如く誤解を受けるので、此際「研究」の二字を適當なる文字に換へようとの意見が擡頭、近く改稱を見るであらうと

大學校起工式
七日擧行さる

吉林省立大學校の工事入札に關しては既報の通りであるが、起工式は七日午前十時より吉海線吉林總驛附近の建築豫定地點に於て盛大に擧行された

苦闘を語る
創業廿周年を迎へて
南滿洲瓦斯株式會社に　富次專務を訪ふ

副產物のコークス、タールは主產物の瓦斯さへ賣れない狀態にあつた當時であるから尙更賣口がない、たま／＼鑄物用にと思つて少量ながらも買ひに來る人はあつても瓦斯コークスはその用途に向かず、家庭用の燃料には極めて不適當だが、これを餘り勸めると肝腎の瓦斯が更に賣れなくなる、瓦斯設備のない支那人方面には勿論賣れない、結局滿鐵の販賣課（今の販賣課）を經て、市民に一手販賣を引受けせしめたが、最初の引受人は販路を見出すまでに潰れてまつたやうな始末である、

▽―△

タールも同樣、支那人方面に或は船底塗料とし或は泥屋根塗料として勸めても見たが、これは極めて少量で、タール・タンクには溢れる、仕方なくボイラーで焚いたものだが、今日では道路用として使用されるやうになつたから、コークスと共に販路にはヤット困らなくなつた、

▽―△

創業當時、も一ツ惱まされたのは瓦斯原料炭である、當時の撫順炭といへば所謂千金寨坑の炭であるが、これは非常に固まりの惡い炭質であつて、爐に入れて使用して見るとコークスは半分以上粉コークスとなり、塊コークスを拾ひ取つて瓦斯製造の燃料にするとあとは賣品にならない粉コークスだけになる、これは瓦斯工業に於て根本經濟に狂ひを生ずることゝなるので、凝固性の強い石炭を得たいと撫順の各層について炭質を試驗したが矢張駄目であつた、

▽―△

已むを得ず掘たてのピカ／＼した新しい塊炭を取寄せ、これを粉碎して瓦斯の製造に充てたが、これでは餘りに炭價が贅澤であり、更に粉碎費までも加算せねばならぬ事情にあつたことである、今日では大山坑、東鄕坑の兩炭が凝固性に富み塊炭が切込みとなり、切込みが粉炭となつて瓦斯の製造費は著るしく低下されるやうになつた、

▽―△

開業當時は企業計畫書通りに千立方呎が三圓といふ料金で、當時の內地瓦斯會社料金二圓四十錢に比し非常に高率のやうに思はれたが、大連はその設備に巨額の費用を要することゝ、植民地だけに萬事が贅澤であるといふことから、三圓でも充分賣れるだらうとの意見から決定されたもので、何等の根據によつて制定した譯ではなかつた、

▽―△

當時、瓦斯の使用率が極めて少かつた理由は矢張料金が高價だつたこともその一つの原因であつたらうと思はれる、そこで開業早々自分は內地へ料金制定の根據を調べに行つたものだが、東京、橫濱では別に根據はないけれど、最初から二圓四十錢にしたわけで、說明は出來ないが、多分英國あたりの標準をそのまゝ持つて來んだらうとのこと、大阪、神戸、名古屋等では東京、橫濱が二圓四十錢にしてるからそれと同額にしたまでだと如何にも頼りない話であつた、そこで歸連後自分は當時の炭價と滿鐵の配當を基準にして、五年後に豫定量の瓦斯が賣れるとすれば二圓で賣つてもいゝといふ計算をたて、大いに說明に努めた結果、重役の決裁を得たので開業六ケ月後の十月から三圓を二圓に値下したが、當時としては例のない大英斷であつた（寫眞は開業式に招待の奉天側諸名士）

十月十日から施行の 貸借の時效法
邦人には適用されまいが 手續の必要はある

本年十月十日より實施さることゝなつた支那の改正民法施行にかゝる經過法たる貸借時效滿了、其他消滅事項の規定は該法にして若その效力が本邦關係者にも及ぶものとすれば、その影響甚大なるものあるので、關係當事者は至急相當の

對策を

必要とする、即ち該法總則第六章に依れば

一、法律に特に時效期間の規定を設けざる請求權は十五年

二、貸金の利息、不動產賃貸料、株式の利益配當金、其他一年又は一年以下の期間を以つて定めたる定期給付債權等は五年

三、旅館、飲食店及娛樂場等の宿泊料飲食費、其他運賃商人又は製造人の供給したる商品產物の代價等都合八種の債權は二年

と以上三種を以つて時效滿了、何れも消滅時效を

完成す

ることとなつてゐる、而して右時效中斷原因としては、請求、承認及起訴の三規定が設けられ更に同施行法第十六條に依れば、右に依りて消滅時效完成したるもの、或は時效期間に一年未滿の不足あるものは、該法施行の日より一ケ年以內請求權を行使し得とあるも、その但書に於ては時效完成後より該法施行時に至る間に於て、既に司法所定の時效期間の二分の一を越へたるものはこの限りに非ずとあるので、結局本年十月十日以後數ケ月にして時效滿了し同日迄に時效期間の二分の一を經過せざる

債權は

同日より一年以內に於てのみ請求權を行使することが出來るが、十月十日に於て時效期間の二分の一に相當する時日を溯りたる時點以前に於て時效完成したる債權は、全然請求不能といふことゝなつたわけで、例に依つて支那式の隨分亂暴なる法令であるが、帝國政府筋では別に特殊の意思表示たき限り、本邦人に對しては當然效力なきものとしてゐる一般には至急相當の手續きに出づるが得策であらう

▽―新刊批評―△

▲土曜講座講演集（第一輯）社會の正しき輿論の喚起のため、社會教育の使命と重要性に鑑み關東廳が每週土曜に旅大兩地で開らいてゐる成人教育土曜講座での各知名講師の講演集が本書である、藤根滿鐵理事の「滿洲の鐵道概況」其他、園山良平、森本大連地法院長、佐藤潤平、佐藤正典工學博士、西山正金大連支店長、津田旅順師範學堂長、金井滿鐵衞生課長、難波勝治諸氏の講演を載す（四六版二百八十二頁定價八十錢大連紀伊町中日文化協會發行）

▲現代暴露文學選集（第一期）表題の如く銘打つて先づ最初に七册を出版したがそのうち「ある私娼との經驗」と「パルチザンウオルコフ」の二册はつひに發賣禁止となり、近日改訂出版されるはずである

「暴力」（武田麟太郎著）は或る共產主義者の筆になつた都市勞働者の生活を深刻に表現しやうとしたもの

「熊の出る開墾地」（佐々木俊郎）は內地を追はれて北海道の新開拓地に依然たる貧乏生活をつゞける農民生活の陰慘な生活の內面を

「或る自殺階級者」（淺原六郎著）は子供は病んでゐる或るサラリーマンの家庭の生活內容を

「工場勞働者」（岩藤雪夫著）は煤煙と機械の中に生きる工場勞働者の生活を

「炭坑」（橋本英吉）は、或暗い鑛山勞働者の各方面の生活をそれぞれを、被壓迫者の立場から現はさうとしたものである、淺原氏の筆は流石に訓らされたもの、他の四人はそれと反對に率直に無技巧に筆を進めてゐる例によつて所々に〇〇××の羅列を見るが、かうした種類の出版である以上、それは致し方もない事であらう、各册二百頁前後（定價各册三十錢、東京市神田區表神保町天人社發行）

紙上漫談（下）
高尾雄峰

『投機の解剖』

投機が如何に人間の運命を弄ぶか、てな事は皆百も承知か、二十五歲の若い男、頭は丸刈り、風采は頗る揚らねど、機を捉む事は一種の天才で、既に十餘萬の財を蓄へて居ると云ふ、其の橫の五十男へ品卑しからず、されど衣服破れて見るかげもない人、これなん關西財界に鳴らした大實業家のなれの果ての由、時と所と因果律との三線の合する宇宙の一ポイントを巧に掴んだものが此の社會の偉人である、投機の字を考證するに機は幾なり、危なり、又稀なりとある、何れもキと音ずるけれども、幾はほとんどで、危はあぶない、稀はまれと解すれば、この一點を掴むことの如何に至難にして危險なるかゞ、ぼんやりながら分つて來る、けれど、人生の成功者にして未だ嘗て此機を掴むことを忘れたものはなかつたやうだ（ある取引所で――）

『ユーモアーと笑』

日本人にはユーモアーが無いと或る書物に書いてあつた、それにある、えらい人の講話も聞いた事がある、然し私は決してそうとは思はぬ、何故ならば日本の女性を見たつてわかる事だ、箸の上げ下しが可笑しいと笑ふ、人の歩み方が面白いと笑ふ、まして彼女等が二三人集まつて居る處にそーつと立つて聞いて居ると、何か知らくす／＼と笑つてゐるのを見受けるからだ「娘十七八よく肥えよく笑ふ」とさへ云ふではないか、それから日本の俚諺にも「笑ふ門には福來る」「笑ふ顏には矢立たず」「笑ふ顏に打たれぬ」「笑つて損した者なし」この綴りの奴、少々いや時々當らぬ事もある、時と場合ではぶんなぐられぬとも限らぬから、まだ／＼廣く調査したら笑に關する資料はざらにあらう、兎にも角にも日本人にユーモアがない、笑はぬ人種だとは間違つた見解ではあるまいか「ア、」「アハ、、、」「アッハッ／＼」「ワハ、、、」「ウ、フウフ」「フ、、、」「ウフウフアハ、、、、」「ウハ、、、、」御婦人ならば「オホ、」「オホ、、、」豪傑は「カラ／＼」「カンラカラ／＼」北叟笑みに「エヘ、、、」「エヘ／＼」呂律の廻らぬ「イヒ、、、」「イヒ、」「イヘ、」忍び笑ひ「クッ／＼」「ゲッ／＼」「クツリ／＼」「クッ／＼」「フー」其他「ゲタ／＼チラ／＼」「キヤッ／＼」「ムムムム」等がある麥の粉やむせて腹立つ大笑ひ。

人世を蝕はみ誰にでも傳染す！
癩病の話
醫學博士 小久保惠作氏（遺稿）

（一）

西曆一八七二年ハンゼン博士の癩菌發見によつて、癩は遺傳ではなく傳染性である事が斷定せられ、內外の學者は擧つて此の說を是認唱導する處となり、臨床醫學上に一新紀元を劃する事になつた。

×　×　×

此の業病が遺傳でない事は生理學上に於ても、男子の精虫及女子の卵子は他の微生物の介在する時は斷して受胎せざる事實によつて證明されてゐるにも拘らず我國に於ては未だ「遺傳」と信ずるもの多く、從つて警戒を怠るために年々新患者が增加し今日に於ては世界第一の癩病國に列せられ誠に寒心に堪えぬ次第であります。（東京朝日所報）

×　×　×

癩菌が人體內に侵入すると徐々に密集繁殖して外部に症狀があらはれるので此の間を潜伏期と云ひ一年乃至十年位に亘る事もある。

潜伏期中は血液檢査をしても癩菌は發見出來ず、僅に患者自身の感覺に異狀を呈するに過ぎぬものである爲め偶々、皮膚病、梅毒、神經痛、と誤られ姑息な手當てを施す裡に潜伏期が過ぎて昂進期に進むのである、昂進期に入ると病勢の惡化する速度は極めて迅く僅か數日のうちに顏面筋肉が膨張弛緩し果には腐敗せる梨の實の如く凸凹を生じ口唇は腐蝕崩壞して齒を露き出すの醜怪極まる相貌となるものであるから吾人は平素警戒せねばならぬ。

×　×

既に發病せる患者は勿論本稿末尾の初期兆候に心當りの人は予の知友福田秋水氏（東京市下谷區車坂町九二ノほ號）に照介し治療藥を乞へば小包便で無代送呈さる

傳染初期の兆候

（一）眉毛が痒く、搔けば粉が剝れ又は頭髮、眉毛、鬚毛、腋毛陰毛等が徐々に脫毛する。

（二）多期になると顏、手足が褐色を帶び粗肌となり、或は疼傷或は、水泡を生ずるも夏になると治り亦は顏面に油を塗りし如き光澤あり而て顏面に熱を發し、逆上て頭痛を起す。

（三）鼻孔內に腫物を生じ鼻の疏通を缺き鼻汁は膿の如く粘り、而て偶々鼻血が流れる事がある。

（四）躰の一部に小虫の這ふ如き感のする事あり、亦はチク／＼と針を刺さるゝ如き痛みあるも瞬時にして罷む。

（五）睫毛が逆生し拔き採るも亦生え眼球を刺して痛く眼瞼もピク／＼と痙攣しウルミて涙が出る。

（六）手足に脂肪氣なく、皮膚に皺を生じて老人の如く爪は白く脆なり指先の知覺が鈍くなる

（七）田虫様の頑癬を發生し、搔けば粉を剝す。

（八）躰の一部に知覺を失ひ亦は反對に此の部分に物が觸れば非常に疼痛を感ず。

家庭とコドモ

婦人參政權附與は時季尚早か
市川房枝女史談

婦人參政權問題を以てたまく時期尚早論を唱へたり、甚だしきに至つてはこれを阻止せんとして反對する者さへありますが、これ等の人は世論に反對し時代の潮流に逆らはんとするものと云はなければなりません、我々婦人は何が故に男子の爲すが儘に屈服しなければならぬのでせう、人類社會の半數は婦人であります、社會は決して男子ばかりによつて組織されて居るものではありません、社會も家庭も畢竟同じ事で、家庭が夫婦によつて作られ、そこに一つの政治が行はれてゐるのと同樣に社會も亦男女共力して築き上げられてゐます、それと同時に國家の政治が男子ばかりで行はれなければならぬと云ふそんな不合理な事はないと思ひます。國家將又人類社會の自由、平等、幸福のため婦人に對して參政權を附與する事は寧ろ當然過ぎる程當然の事で、決して尚早ではないと思ひます。彼の米國の禁酒法案は誰の手によつて爲されたのであるか、それは婦人大衆の努力の結晶であつたのであります。又公娼廢止運動なども我國では多年唱へられて來たのでありますが、たゞかけ聲ばかりで何等解決されず依然として取り殘されてあります、其の他幾多の諸問題が山積してありますが、これ等はすべて我々婦人の手によつて解決されなければ、何時になつても單なるかけ聲ばかりに失する憾みがあると思ひます。これ等の目的の達成を圖らんとするには、先づその手段として我々婦人大衆が一致團結し、婦選獲得の爲めに邁進しなければならないと思ひます。

大チャンノ モウジウガリ（9）
ハルミチ作　ジラウ畫

オモハヌ ヘウノ エモノ ニ イサミタツタ シバラク ユクト セントウノ ドジン ハナ
ドジンドモ ハ アシドリ モ カルク モリノ ニカヅ ミツケテ ピタリト アシ ヲ トメマ
オクヘ オクヘ ト ズンズン ハイツテ イキ シタ「シヅカニ シヅカニ」「ナンダ？ナンダ？」
マス 大チャンタチヲ ノセタ ジドウシヤ ハ 「アレヲミロ アレヲ」ドジンドモノ メハ ヒ
シヅカニ ドジンドモノ アトヲ ツイテ イキ トリノ ドジンノ ユビサキニ アツマリマシ
タ。

推薦兒童讀物
教專內兒童讀物調査會の　少年水滸傳外五種

教專內兒童讀物調査會では第十八回例會で左記五冊を推薦した

▲少年水滸傳　幾分の殺伐殘忍の氣分はあるが義によつて働く諸豪傑の心に引きつけられるものがある、四年以上、三島霜川著四六版裝幀乙、金の星社發行價一圓五十錢

▲少年王　在來の所謂童話と異り殆ど全部感激的な實話で明治大菊版春陽堂發行裝幀甲、價三圓五十錢

▲木馬のゆめ　どの小話も總て子供の生活に親しみ深い玩具や虫けらや草花などを材料として之を童話風に詩情な筆づかひで面白く書かれてある、空想的で直覺的で二三年生の讀物としては申分のない書である、酒井朝彥著、菊版裝幀甲、金蘭社發行價一圓卅錢

▲日蓮上人　傑僧日蓮の面目躍如たるものがある、權勢にも怖れず法難を惡戰苦鬪し己が信ずる宗教の傳道に努力する涙ぐましい迄の日蓮の姿が子供にも理解される程度によく現はされてゐる、五年以上程度、川崎春二著四六版裝幀乙、金の星社發行定價九十錢

▲ひらがなゐばなしワンくものがたり　全部十二篇から成つてゐるが何れもワンくの話で父親がその愛兒をそばに置いて物語つてゐる樣な親しみの深い態度でしかも上品に書かれてある尋一、二年程度千葉省三著菊版裝幀甲、金蘭社發行價一圓卅錢

鶴田畫伯の講演會
家庭研究所で

渡佛の途次大連に立寄つた鶴田畫伯は滿鐵社會課の依頼により來る九月午後一時より播磨町家庭研究所に於て一般婦人のため繪畫鑑賞について一場の講演を試みる由、同氏は現日本美術學校教授で太平洋畫會の重鎭である

童詩
お寺のじぞうさま
大廣場二年　若木節子

じぞうさま
どうしたの？
おこつたやうに
だまつてる。

木

今まで
はだかだつた木も
青いおべべをきた
だれに
かつてもらつたの。

帝の人間味にあふれさせられた御仁德や「大震災記」における美しい逸話等、只單なる兒童の讀物としてのみでなく作者の抱負たる「家庭の人々の愛用婦人に向つての訓話材料として使用されることを切望」してよい本である、四年以上鈴木三重吉著

＝献立と榮養＝

献立は　食物の各成分の合理的な組合せでなければならぬ、例へばビタミンAを多く含む肉のフライや天麩羅にはビタミンB及びCを含むキヤベツや海草を組合せる必要がある、汽車の辨當などにはカツレツや魚や馬鈴薯などばかりでビタミンBCを含む青い野菜やトマトなどの類を添へないのがあるがこれは榮養價値から見て完全な辨當といふことは出來ない組合せから言ふと日本の刺身など

組合せ　は組合せから見て理想に近いものである、しかし、刺身とツマとが添へられて始めて完全な食物となるのであるから、ツマを食ふのは見つともないなど言つて食はないのは間違つてゐる、世には榮養だとかビタミンだとかそんな面倒臭いことを考へる必要がない、食ひたいものを食つてゐればそれでいゝんだなどゝ澄ましてゐる人があるが、本人の氣づかないところに榮養上いろくの缺陷が起つてゐるのである（醫學博士佐伯矩氏談）

ブルクント ラヂオ

メ ヲ ツブツテ ラヂオ ニ キキトレテキマス 「ボツチヤン バカリ キイテキナイデ ボク ニモ キカセテ チヤウダイ ヨウ」ブルクン ハ ボツチヤンニ ネダツテ ラヂオ ノ レシーバー ヲ アタマニ カケテモラヒマシタ「アー キコエル キコエル、オモシロイナー」ブル ハ

カメラ遍歴　水産試驗場の巻【上】

お次は關東廳水產試驗場　老虎灘線の終點濱町で電車を降り約一丁ばかり後もどりをすると風光明媚な靜ヶ浦の入江を前にして木柵をめぐらした平家建の小さな木造建築物がある、これが即ち水產試驗所だこの建物に隣合せて活動常設館のやうなコンクリートの建物があるが、これは近年建增した別館ださうである。門を入つて玄關のドアを押すと建物の中は人つ子一人居ないやうな靜けさだ、左側の事務室らしいところを硝子越しに覗いて見ると事務員らしいのがひとりぽつねんと机に向つて何かやつてゐた、廊下を掃除してゐた日本人の小使に來意を告げると「どうぞこちらへ」と別館の方に案內される

◆

こゝの所長は關東廳殖產課主任が兼ねてゐるので本日は不在庶務主任の近藤氏及市村氏が交々話してくれる

◆

元來水產試驗場といふのは殖產事業の一つであつて、漁業の指導機關である、昔の漁師は祖先傳來の捕漁法でやつてゐてそれでよかつたのであるが學術の進步した今日では舊式な漁撈法ではせち辛い生存競爭に打ち克てゆくことが出來ない、魚は海に網を入れさへすれば必ず獲れるものとは極まつてゐない、昨年の何月何日には××島の附近で海老がうんと獲れたから本年も同月同日に網を入れたら乾度獲れるだらうと思つても、どつこいさうはいかない、網の下には常に餌が居るとは極まらないのである、氣候、温度、潮流、さうしたものゝ變化は直ちに魚族の棲息位置に影響して來る、本年はいつ頃どこに網を入れたらいゝかさうした豫想は學理的研究の結果として地圖の上にちやんと現れて來る、漁師は一々水產試驗場の指揮を仰いで網を卸かせば必ず大漁が得られ、魚が澤山捕れゝば市價が安くなり、一般家庭の食膳が大いに賑はふと言つたわけで水產試驗場の存在は間接的に我々の臺所に影響して來る、こゝに於て我々が水產試驗所の仕事のアウトラインを知ることも強ち興味のないことではない筈だ。

◆

現在關東廳水產試驗場でやつてゐる仕事は漁撈、製造、養殖、海洋の四部に分れてゐる、此四つの中で一般漁業と最も密接な關係のあるのは海洋調査であつて、海洋調査が完全でないと魚族の棲息位置をはつきり知ることが出來ない　こゝの水產試驗場では絕えず船を出して大連から鴨綠江の山東高角約百哩の間山東高角から朝鮮沖の大青島間約百哩、及山東角から南方百哩の間の海底の狀況、海流、水温、海水の比重、微生物等を絕えず調査研究してゐる、かうした調査を材料として詳細な分布圖が作り上げられるのであるがこの地圖を見るとどこには何日頃どんな魚が集つて來るといふことが手に取るやうに分るのである＝此項未完

寫眞說明
上＝關東廳水產試驗場の正門
下＝製造試驗室

探偵小說 **女妖** (84)

江戸川亂步 作
横溝正史 作
伊藤幾久造 畫

古塔の老婆 (四)

浪子は郵便配達夫に別れると大急ぎで河内莊へ向つた。

自分の他に二人も河内莊の事を聞いた者があるといふ事は、何とはなしに、彼女を不安にさした。ひよつとすれば、自分の敵が自分を出し拔かうとしてゐるのではなからうか。今自分の目的としてゐる事を、彼も亦先廻りをして探り出さうとするのではなかららうか。

浪子はどちらにしても、これは一刻も猶豫ならぬと思つた。

河内莊といふのは、シャトワール村の、殆ど端づれのところに建つてゐる。見るからに陰氣な、古びた建物だつた浪子はその裏門のところに立つた時、何かしら異常なおののきを感じた。それは、その建物から來る、一種不可思議な威壓するやうな匂ひのためであつたらうか。それとも、何か又、他の理由があつたためであらうか。

河内莊の門を入ると、右の方に小さな窓がついてゐる。それが臨時に拵へられた村役場の受附らしかつた。浪子はその薄暗い受附の前に立つと、

「一寸、お訊ねします」

と聲をかけた。

と、奧の方から、五十格好の、見るから田舍の村役人らしい爺さんが、よぼよぼと奧の方から出て來た。

「はア、何か御用かね？」

「あの——。一寸、臘本を見せていただきたいのですが」

「臘本、はア——。して誰のものですな」

「河内兵部の子孫を知りたいのですけれど……」

「河内兵部？」

役人は眉をひそめた。

「えゝ、河内兵部——たしかこの河内莊の主人だつたと思ひますが……」

「おかしいな」

役人は首をかしげながら「今日はどうも變だぜ。河内兵部の事を訊ねて來たのは、今日はこれで三度目だぜ」

「え？」

浪子は又しても思はず息を呑み込んだ。

「まアあたしの他にも河内兵部の事を聞いて來た人があるんですつて？」

「ありましたよ。しかも、たつた今のことですよ」

爺さんはさう言ふと、ごとごとと立つて奧へ引込んだかと思ふと厚い臘本の綴りを抱へて持つて來た。

「さア、御覽なさい。その代り、後でちやんと返してくれなきやいけませんよ」

「有難う。ぢや、一寸……」

成程、さういへば、大抵かうした役場の臘本といふものは垢にまみれてゐるものだのに、こればかりは綺麗に垢もついてゐない。たつた今誰かが見たものだと直ぐ分る。

浪子は大急ぎで河内兵部の部を引いて見た。

河内兵部——一八一七年、シャトワール村に產る。

長子、河内史郎の長子、一八六〇年死亡。

河内史郎の長子、河内稽樹、一八三八年生る。

山科珊子と結婚。

翌年長女、かづ子出生——

浪子は茲まで讀んで來て、はつと息を呑んだ。

驚いた事には、それから後にあるべき筈の頁が、無殘にも引裂かれてゐるではないか。

誰かが引千切つて行つたのだ、切口の新らしいところを見ると最近に千切つたものに違ひない。

「やられた！」

浪子は思はず眞蒼になつた。

秩父宮のお側近く光榮に浴した人々の謹話

數字的なものに御興深げに拜す

御説明者 市川鐵道部次長謹話

埠頭ビル屋上において「大連港について」市川滿鐵鐵道部次長は約廿分に亘り明治三十七年五月廿七日大連を占領した當時より今日までの大連港に關する概況につき御説明申し上げたが恐縮して語る

露西亞から占領した當時の埠頭地圖と現在の地圖を比較しながら御説明申上げたが、殿下には

終始御熱心に

お頷き あり、殊に數字的なものに對しては御興深かげに拜された、一つ〳〵地圖を御比較のうへ御研究態度で御聽取遊ばされたが、大體お話した筋は滿蒙の鐵道並に貿易との關係、不凍港にして自由貿易港たる所以、出入船數及び輸出入貨物數港灣設備及びその能力、そして建設費等を詳しく申上げ、更に將來の計畫たる

甘井子 石炭船積專用埠頭の完備、グレーンエレベーターの試驗設備、沿岸の埋築工事等の大要につき御説明申上げたのである

農產につき御説明

滿鐵農務課長 松島鑑氏謹話

私はお出迎へ申上げると共に玄關口に侍立して御誘導申上げた神輭理事より村上氏と共に一般農產方面台覽の説明者としての御紹介を賜はり農產室、畜產室等の各室を御案内申上げました、殿下は農產室のうち特に羊毛、棉花、大豆等の工業用原料作物を極めて仔細に御覽になりそれに對する御説明を特に熱心に御聽取遊ばされた樣に拜しました、殊に御説明申上げる間いつも個々の陳列品の前に御起立約一時間に亘り終始端然たる御姿勢にてお耳を傾けさせられたことは申上ぐるだに畏いことで感涙に咽んでゐる次第であります、拜察するに御兄君陛下と共に殿下は殊の外博物學的方面に御興味を有せらるゝかの樣に拜しました

御熱心に御傾聽 誠に恐懼に堪へない

御説明者 村上滿蒙資源館長謹話

資源館の一般農產室、同參考室及び畜產室等における御説明は松島農務課長より申上ることゝなり不肖は殿下御加入の陸大生第二班を第一班は立川、第三班赤瀬川の兩所員がそれ〴〵分擔致しまして一般鑛產室並に參考室、地質調査所各部を御案内申上げました、畏いこと乍ら殿下には各室に於て御説明申上るごとに「ふむ〳〵」とおうなづき遊ばされ終始御熱心に御傾聽を賜はりましたが誠に恐懼に堪へない次第であります

最初に 鑛產室の模型室から台覽遊ばされましたが、石炭の陳列箇所に於ては殊の外御興深げに御觀察遊ばされたかに拜せられ不肖が母國の鑛產界と對比致しまして滿蒙に於ける原鑛物の狀態を言上致しましたところ、一般鑛產室の陳列品に對しては特に熱心にお眼を留めさせられたかの樣に拜しました、殿下が產業方面に特に御留意相成る御樣子のうかゞはれましたことは所員一同と共にまことに感佩の至りであります

お氣輕に 學生と御行動

陸大生の謹話

私共は二等室ですから殿下とは船中では別々でありましたが、殿下は始終デッキゴルフを遊ばされた長いこと乍ら我々學生の中では一番お強くあらせられます、至つて御氣輕で全く我々學生と共に行動遊ばされますが、航海中徒然の餘り私共が麻雀やトランプ等をやつてゐますと殿下は傍においでになつて御興深げに御覽になり「この札を出してもいゝのかなあ」等色々お話しかけになりました、全く殿下の御日常生活は皆が想像する以上に平民的な御質素なものです

各所の風景をフイルムに

船中の宮殿下

高橋うらる丸事務長談

六日門司を出帆した日は時化ましたが、昨日は頗る好天氣で殿下にも御元氣にて一日デッキゴルフに興ぜられたが、そのお上手なのはスポーツの宮さまとしてわれ〳〵の仰ぎ奉るところであります、また殿下には至つて平民的に渡らせられ食堂も一般の一等船客食堂にて畏くも牛島少將、本間御附武官、蘇田陸大教官、新庄大阪商船專務岡本船長と食卓につかせ給ひ、夜は御部屋にて御讀書に耽けさせられ十時頃御就寢あらせられましたその他一般の陸大生と何等御變りなく船中に於ける陸大生の講話も學生と共に御聽取あらせられました、また殿下には十六ミリ撮影機で各所に於て御自らクランク遊ばされ下ノ關までのフイルムを同所より宮家に御送りになりました

至極御平民的

一船客の談

殿下と御同船の光榮に浴した一船客は語る

六日夕玄海灘で大分荒れましたが航海は割に平穩でした、荒れた六日夕食だけ一度食堂に御見えになりませんでしたが、その他は至つて御元氣で始終デッキゴルフに興ぜられ、またデッキを御散歩中の殿下と私共は度々擦れ違ふことなども少からずありましたがいつもにこやかな御顏を拜し、御平民的にわたらせられますので私共は長いことなく窮屈な感じさへ持ちませんでした

無事大任を果した岡本船長

謹んで語る

殿下御乘船の光榮を荷ったうらる丸の岡本船長は語る

神戶出帆の節は非常に盛んな奉送で曾てないものでした、殿下には航路の島々についても種々御下問がありましたが、地理的御細にわたつて御研究になり私は御客へ申上げられず恐縮いたしました、下の方が御承知なので殿下はしました、門司を出帆した六日晩は少し荒れましたが幸ひ大し

大阪商船の光榮

新庄商船專務談

私は商船會社を代表して殿下にお伴をして參つたのですが、うらる丸に皇族が御乘船になつたのは最初で光榮の至りであります、航海も穩やかで殿下には至つて御氣輕にわれ〳〵にもお話しかけ遊ばし大いに恐縮いたしました

御滯連中の秩父宮殿下

譚家屯大廣場に於て大連空前の大分列式

殿下の御資格を以て御親閱 光榮の四千七百名

秩父宮殿下には午後三時五分大連運動場南方廣場の御親閱場に御到着、君ヶ代喇叭吹奏裡に御臨場遊ばされ在鄕軍人、學生、青訓生、少年團の各參加團體の敬禮を受けさせられて

關東軍公司官 より差遣した芳山に召され馬上御勇姿颯爽として殿下の御資格で愈々御親閱が始まつた、總指揮官岩井豫備陸軍少將先頭に立ち本間御附武官、三宅參謀長、太田長官、高柳中將、伍堂中將、内藤少將、井上工大學長、二宮憲兵隊長、水谷民政署長事務取扱、保々滿鐵地方部長、平野同學務課長何れも馬上にて扈從し先づ左翼在鄕軍人團より順次御親閱あり、場を一周遊ばされ所定の假御座所に御歸りになるや岩井總指揮官殿下の右に侍り號令一下參加團體四千七百名の大分列式が始まつた、在鄕軍人團を先頭に工專、一中、二中、商業、青訓、育成、少年團の順序に步武堂々と

殿下の御前を 行進し場内を一周す、特定陪觀者、一般參觀者は、さしもに廣き場を埋めこの大連では空前の大分列式の見事さに恍惚となつた、同三時三十分分列式を終り水谷奉迎委員長代表し一同の最敬禮を受けさせられ君ヶ代吹奏裡に殿下は御退場、直ちに運動競技台覽のため大連運動場にならせられた

大連窯業會社や中央試驗場

大連工場等を御巡覽

御擬行遊ばされた御辨當にて御晝食を終らせられた秩父宮殿下には八日午後零時五十一分大連滿鐵社員俱樂部を御出發、御順路大連窯業會社に向はせられ、霞園下を御通過車闘街にて車上より初めての支那街を御覽遊ばされつゝガード下を大連窯業會社へ午後一時御成

中島社長以下の

奉迎を 受けさせられ陸大生第二班として中島社長の御説明にてガラス工場に進ませられカット・グラス製作部にては製品を一つ〳〵御手にされて御覽あり、いと御興味深げに中島社長に御下問あり御豫定の御時間以上に御見學あつて同一時半窯業會社を御出發霞園下を電車道に沿ふて伏見臺の中央試驗所に御成り、世良所長代理の御説明にて階上應接室に於て大豆抽油、高粱、石炭、マグネサイドの滿洲特殊の工業に關して御聽取次いでマグネシーム實驗場より大豆抽出硬化工場を御巡覽あつて午後二時中央試驗所御出發、電車道を水源地に出でさせられ、大正通を沙河口神社前を左へ

御順路 には小學生及び市民が整列して奉迎證申し上げるうちを大連工場へ御着、船田工場長の御説明にて近代科學の躍動する機關車工場にてはクレーンにお目を止めさせられ各職場を經て屋外の各種貨車を御覽の上三等客車より御乘車、車内を二等車、一等車と御巡覽御下車の後、石炭車の特殊裝置の操作を御注目あらせられ午後三時大連口工場御發、陸大生一行と離れさせられ御順路御親閱場へ向はせられた

校歌や舞踏を秩父宮御覽

同船した女學生の光榮

八日入港した光榮のうらる丸三等室には滿鮮修學旅行の帝國女子藥學專門學校學生五十四名及び愛媛女子師範學校生徒百二十二名が乘合はしてゐたが、七日午後三時より二等食堂に於て陸大幹事牛島少將より同女學生團に對して「秩父宮殿下の御日常」と題して講話があり、右終つてから一同三等デッキに出で藥專學生は校歌を合唱し愛媛女子師範生はダンス、體操をなした、殿下にはブリッヂにお出ましになつてこれを御興深げに御覽あらせられた、後で學生團一同に對し殿下より御菓子を御下賜になつたが一同は今更殿下の御平民的なのに感泣して皆御下賜の御菓子を大切に保存し家に持つて歸つて兩親にも分ち與へると大喜びであつた

十日の御日程

御滯旅第二日

九日夜御假泊所旅順ヤマトホテルに御一泊あらせられたる秩父宮殿下には、十日午前八時御旅館御出發、先づ水師營會見所、同西南方高地に成らせられ關東軍參謀の講話を聞召され、それより二〇三高地に御登攀、三宅少將、本田隊列館長より説明を御聽取、同所にて御晝食、午後二時將校集會所に成らせられ太田關東長官、畑軍司令官、厚東要塞司令官、草場步兵中佐等より講話を聞召され御歸還、津田師範學堂長より説明を御聽取、午後六時三十分ヤマトホテルに御臨還、ヤ十分より長官々邸における關東長官の御招宴に台臨あらせられる御豫定である

偲ぶ廿五年まへ

復舊なれる爾靈山の戰跡

第九聯隊員の獻身的な努力で國民的教育の道場

二〇三 高地の戰跡を、日露戰爭當時其儘の姿に保存するため、かねて軍司令部と關東廳當局との決定により、過日來同高地攻撃正面約十町步の松林及落葉松林を伐採し、五日からは第九聯隊の各中隊より九十名宛、總數六百五十餘名の士卒が塹壕の掘返し作業を進め、厚東要塞司令官自ら現場に臨んで工事を監督し、秩父宮様の御來旅を控へて大に工を急ぎ、八日午前中を以て完了した、かくて今や爾靈山の戰跡は、一見して廿五年前の屍山血河の激戰をまのあたり偲ばしむる事となり、掘返された眞新しい塹壕は、流血淋漓今にも砲彈炸裂、土砂飛散するかと思はれる有様となつた、先づ山上より

俯瞰す れば、北方山麓から前面の高地一帶にかけて松や落葉松が五十本に一本位の割合で規則正しく殘された外はすべて伐り拂はれ、沙漠の中のオアシスの如く、コンモリ殘された森こそは、乃木保典中尉戰死の碑の立つてゐる個所であり、高地及山麓を縫ふ蜿蜒たるヒダは、即ち日本軍の攻擊路たりし塹壕の跡で、山上からはまるで指呼の間に俯瞰されるところ、そゞろに日本軍苦戰の程も思ひやられる

日本軍 の塹壕は二〇三高地の中腹迄で、その上からは露兵の防禦壕が三重四重に鉢卷形に高地を繞り、そこには堅固な掩蓋が所々に設けられ、日本軍の塹壕と露軍のそれとの間の空地には、歐露軍な鐵條網が張らされてある、日本軍は自軍の塹壕から突擊してこの空地で全く敵彈雨飛の下に暴露され、更に鐵條網を突破して

露軍の 塹壕に飛び込んだ有樣がマザ〳〵と眼に浮ぶ、而して山上の塹壕は云ふ迄もたく彼も深く且つ堅固であるが、其掘返し作業中廿五年前の遺骨や砲彈の破片や、ロシヤの銀貨迄が續々と掘

昔の姿に復した二〇三高地

遺骨て 五日には完全なる頭蓋骨三個、六日には全身の完全なる遺骨一體、山上の露軍の塹壕から出た頭蓋骨には銃劍で突かれた穴が其儘殘つてゐたが、穴の形により日本軍の銃劍なること判明

またも支那巡警がわが憲兵を袋叩き

龍井市内通行中、突然襲つて身分を知つての暴行

【間島特電七日發】龍井駐在陸軍連絡部員憲兵軍曹古賀武一(三)が七日午前一時ごろ龍井市内を通行中二名の支那巡警が突然襲ひかゝり、聯絡班員なる事を告げたるにも拘らず棍棒を以て散々に毆打し次で警笛を吹き鳴らして四名の巡警と共に無理やり連行せんとするので、同軍曹は重傷に血塗れとなりながらもその内の一人を投げつけたところ巡警等は其勢に怖れて逃走したが、同軍曹は全身打撲傷のため頗る重態で目下入院手當中である、原因は全く不明であるが陸軍聯絡員と知りながらの暴行であり最近支那官憲の對日態度險

嚴重に抗議

居留民極度に激昂

【間島特電七日發】陸軍聯絡派遣員古賀武一軍曹の遭難事件は同軍曹個人に對する原因とてはあたりなく奇怪視されてゐたところ

三吉積罪物語

大庭武年 作　浅枝次朗 畫

【六】

夜空に高く白帆を揚げて、千石積の如月丸は、船底一パイに積み込んだ米俵を、當時饑饉で米價の暴騰してゐる上方の地へ急送するために、折りからの月明を浴びて隅田川河口を勢よく出帆した。景氣のよい出船の氣分が、立ち働らく船夫たちの心の中に躍つてゐた。

それから毎日の海上生活に、三吉は不馴れの仕事ながら、追ひ使はれるまゝに一生懸命働いた。最早法網を逃れた事と信じた彼は、この上不貞腐れるのは餘りに幸運を惠んでくれた神に對しても濟まない次第だと考へた。それよりもなほ彼は己の犯した罪を坐視するに耐へられない氣持があつた。彼は爽快な海上の仕事に總ての身心を委せ切る事によつて心の平和を保たうと考へた。

又、彼は今後必ず正面な道を歩いて少しでも立派な人間になる事を心に誓つた。たとへ懼るべき兇状持の身であつても、さうすれば多少でも身の罪は償はれてゆくに違ひないと思つた。然も彼の罪は外見こそ怖ろしい殺人であつても、もし公平な眼が裁いてくれるとしたら、それは正當な防衛と——認めてはくれないだらうか。彼には始めから惡意や殺意があつたのではない。もしお鶴の態度があんなに邪險なものでなかつたら、あんな血腥い事件はひとつも起らずに濟んだのであつたらう——三吉はさう考へては、ともすれば荒み勝ちな心を慰めてゐた。それにしてもその時その時のめぐり合せの惡さには自分ながら口惜涙がこぼれるのだつた。

——だが、三吉らには計り知られない運命の手は、既に江戸を遠く離れ、着々と涯しなく續いた海原の上を走る船の上にまで及んでたのだつた。それは出帆後二日目の午後だつた。

「——なにしろお前さん、もうその日のさるの刻には瓦版が出たのだ。それあ大した評判さ、深川六軒堀の二人殺し、殺された女の方は深川小町と云ふ素晴らしい別嬪つて云ふんだから、これぢや人が騒があな。なんでも御檢視の役人衆さえ、あんな女をむざむざ殺すなあ惜い話だなんてひそひそ話してゐたさうだよ」

船の舳の板の間で、煙管を片手に惡ふ話してゐるのは三州屋といふ網商人だつた。彼は村田屋の好意で荷船に便乘したたつた一人の乘客だつた。聞き手は手の空いた三四人の船夫たち——それに平助がまじつてゐた。

「それあ何とも惜い事をしたなあ——」年を取つた船頭が邪氣のない笑ひを浮べ乍ら言つた——「それでなにかい、その殺されたもう一方の、男と云ふなあどう云ふ男なんだい」

「それがさ」——三州屋は煙管をぽんとはたいて云つた——「どうも釣り合はねえ話だが、そつちの方は四十すぎの醜男で、附近でも評判のよくねえ遊び人だと云ふのだ。嫉妬半分に無理心中だらうなんて云ふ人もあるが、やつぱりそれが女の情夫らしいんだよ」

「成程ね」

聞き手は仔細あり氣に頷いた。

「ぢやその、二人を殺した男つてのは、かいもく目鼻はつかねえのかね」

その時斯う訊ねたのは、人々の後に足を投げ出してゐた平助だつた。

「なんの、それあちやんと分つてゐるんだよ、なんでもその女の以前の情夫でやつぱり無頼漢の若い男だ相だ。てもなく戀の意恨返しさ。奴さんうまく逃げたつもりなんだが、やつぱりお上の目は逃れねえ、裏から出る所をちらッと顔を知つてゐる人に見られて了つた。役人がくる。身元が洗はれる。すぐに人相書が廻る——話によるとこつちはなかなか好い男で、なんとかの三吉、さうだ小態の三吉とか云ふ男ださうな——」

「へえ——それあ不思議だ。殺す男が好い男で、女と殺される男が醜男だなんて。なにかやつぱり因念ものだらうな——」

一同は思ひ思ひに感じたやうに小首をかしげた——ギクリとしたのは平助だつた。眞逆あの三吉では？と思つたが、色眼鏡で見るとどうやらその頃の三吉の擧動に腑に落ちない所があるやうに思はれる。第一稼業變えをしたいなぞと相談を急に持ちかけてきた事から可訝しいものだ——平助は首を垂れて、ぢつと考へ込んだ。

他の一同は、一向にそんな事にはお構ひなしで、てんでに冗談やら無駄口をきゝあつてゐた。三州屋の瓦版の受け賣り話は、長閑な日なたぼつこにはもつてこいの好話題だつた。

凪渡つた海面は美しく日にキラキラときらめいてゐる。遠くに豆州の山山が、美女の眉あとのやうに、青々と、ほのかな餘情を誘つて見える。艫の方からはゆるやかな調子の船唄が、聞えてゐた……

新刊紹介

▲露西亞事情（百五號）白海の孤島に流された河田三郎君の露西亞監獄生活實話（定價廿錢東京丸ビル露西亞通信社發行）

▲西部戰線異狀なし（解説）（浦宗絢著）中央公論社から發行され一躍日本の出版界を風靡した同書の解説本（定價廿五錢ポケット型九十一頁東京本鄉森川町紅玉堂書店）

▲國際事情（二百五十八號）時報2（二百五十九號）海洋自由論の一瞥（外務省情報部發行）

▲女人藝術（五月號）一端に縋る若人（松村しづ子）指輪（矢田津子）未開社會に於ける性と抑壓（小林すみ子）等（定價四十錢東京牛込左內町其社發行）

▲短歌前衛（五月號）メーデーを歌ふ（坪野哲久）其他等（定價廿錢東京小石川小日向臺町其社發行）

▲戰友（五月號）定價十錢東京牛込原町三帝國在鄉軍人會本部發行

川柳募集課題

◇連鎖街　五月十五日〆切
◇朝起き　五月二十日〆切
◇パラソル　同上
▽一題五句住所氏名明記▽大連市彌生町十六高橋月南宛

滿日文藝係

▲水鄉（五月號）無名俳人への活路（角津氷影子）等（定價卅五錢神戸東須磨和田別邸其社發行）

▲農業世界（五月號）トマトの簡易な作り方等（定價四十錢東京日本橋本石町三博文館發行）

▲海友（五月號）大連港の特產物輸出等（定價卅五錢大連寺內通大連海務協會發行）

▲科學知識（五月號）震災記念堂（伊藤忠太）靈魂の話（田中新吾）海底地質の話（重松良一）等（定價五十錢東京丸ノ內二ノ六科學知識普及會發行）

▲協和（二十六號）滿鐵側面史、新奉鐵道由來（藤田顯）等（定價廿錢滿鐵本社滿鐵社員會發行）

▲新天地（五月號）實滿野球座談會其他（定價卅錢大連櫻町七四其社發行）

▲大陸（五月號）定價五十錢大連西公園町其社發行

▲滿洲短歌（五月號）新地（江口とり子）等（定價三十錢大連霧島町滿洲鄉土藝術協會發行）

▲生活と宗教（五月號）定價十一錢名古屋中區南久屋町破塵閣書房發行

▲文藝（五月號）プロレタリア藝術の發展性（上中信天）等（定價二十五錢東京市牛込新小川町文藝社發行）

▲[illegible]倫敦海軍會[illegible]（定價十錢東京丸[illegible]協會發行）

▲露西亞事情（百六號）一九三〇年度國民經濟擴充計畫等（定價廿錢東京丸ビル露西亞通信社發行）

▲農民（五月號）夜明ける村（小須田薫）等（定價十錢東京北多摩千歳村全國農民藝術聯盟發行）

▲勞農（五月號）群盲無產黨を指導す（荒畑寒村）（定價卅錢東京市外淀橋柏木其社發行）

▲文學風景（五月創刊號）本號を暴露文學號としてゐる「新興文學としての暴露小説を論ず」青野秀吉等（定價二十錢東京神田表神保町天人社發行）

▲文藝レビュー（四月號）定價二十錢東京世田ヶ谷二九九四其社發行

▲農業の滿洲（五月煙草耕作號）煙草の耕作と肥料との關係に就て（突永一枝）等（定價三十五錢大連伊勢町滿洲農事協會發行）

▲精神（五月號）時事偶感（加藤咄堂）等（定價十八錢東京代々木山谷其社發行）

▲電氣の友（五月號）ネオンサイン用變壓器に就いて（梅澤英二）東電改革問題の一考察（高品增之助）等（定價四十五錢東京銀座八丁目其社發行）

▲實業之世界（五月號）「禍を轉じて福を爲した話」「鐘紡の賃銀値下は果して惡か」「最近經濟界の動き」等（定價五十錢東京芝愛宕町其社發行）

▲我觀（五月號）比例代表制批判（坂千秋）日支新關稅協定（武內文彬）暴露されたる滿洲疑獄（木田勝治）スポーツ時代に與へる（安部磯雄）其他等（定價五十錢東京京橋銀座西五其社發行）

▲人生（五號）定價十錢東京市小石川林町ローラン社發行

▲青泥（二號）定價二十錢大連久方町大連川柳社發行

不景氣の折柄其影響を受けず益々歡迎され每號大增行を示してゐる雜誌がある。その雜誌は「主婦之友」である。

その理由は……「主婦之友」の記事はすべて實際的で、どの記事を讀んでも、それが直ぐ家庭生活の上に役立つものばかりだからである。

五月號は「子供の教育號」と題し濱口首相初め十名士の「私を今日あらしめた母の教育」、「子供を立派に教育する方法の座談會」、「子供の惡癖を矯す秘訣」、「優等生の家庭教育法」、「成績不良兒を優等生にする秘訣」などが大呼物である。この外に「家庭に於ける偉人の生活」といふ記事がある。

實用記事としては「中流文化住宅の經濟的新築」、「お女中大學」誌上開校と銘打つてあるが第一講座が「洗濯」や

療養記事には「眼病を自分で治した療法公開」、「子供の脱腸を母の手でした實驗」、「肺病の自宅サナトリアム療法」、「ヒステリーの根治法」

美容、裁縫、料理の記事「ニキビソバカス、ハタケの民間療法」「男女兒女學生用スポーツ服の仕立方」、「防水布の作り方」、「野菜を主とした清新な季節料理」など

連載小説では長與善郎の「輝く廢墟」、白井喬二の「人肉の泉」、吉屋信子の「暴風雨の薔薇」、三上於菟吉の「銀座事件」この他に曾我廼家五九郎人情喜劇「かけぐち」石上欣哉の「石井漠小浪兄妹哀史」がある（定價五十錢、主婦之友社發行）

毛生藥ヨダサンの効果

原料のみにて製造した毛生藥ヨダサン陸軍一等軍醫吾尾米國醫學博士の方劑にて各地の患者に實驗の結果人なみ黑い毛が生へ毎日禮狀や感謝狀が來て居るとのこと希望者はハガキにて大分縣東國東郡安岐町安岐藥草院宛に申込めば詳細書を送るよし

優良なる齒刷子容器の景品附ライオン齒刷子

日常使用する齒刷子の中で、毛の形や、柄の具合が、理想的で藥品消毒が熱氣消毒がしてあるので、最も安全なのはライオン齒刷子である。今回ライオン齒磨本舗では、一般愛用者諸君への奉仕としてライオン齒刷子の一號形、二號形、三號形に限り、臨時に、優良なる新案齒刷子容器を景品として添附して賣出して居る

大阪商船出帆

●門司、神戸、大阪行（前十時出帆）
うらる丸　五月十日
香港丸　五月十三日
ばいかる丸　五月十六日
はるびん丸　五月十九日

●上海、福州、基隆、高雄行　後三時出帆
盛京丸　五月十四日
長沙丸　五月廿四日
福建丸　六月二日

●朝鮮經由長崎鹿兒島行　關東丸　五月廿一日

●北米シャトル、タコマ行（上海、神戸、四日市、橫濱經由）ありぞな丸　六月十三日

●紐育行（神戸、四日市、橫濱經由）あるぐん丸　五月卅一日　船客御斷り

●歐洲行（上海、香港、新嘉坡經由）あむうる丸　五月八日　船客御斷り

●天津行
武昌丸　五月十八日
河南丸　五月廿五日
貴州丸　五月十一日

●橫濱直行（午後二時出帆）
河南丸　五月九日
貴州丸　五月十六日（宇品寄港正午出帆）
武昌丸　五月廿三日

大阪商船株式會社大連支店　電話四一三七番

●東屬船客案內所　滿洲旅館協會　信濃町遼東ホテル內電七五七四番

●乘船切符發賣所　ジャパン、ツーリストビューロー
大連市伊勢町大連案內所（電話五五五四番）大山通出張所（電話七〇三四番）沙河口出張所東萊洋行內（電話九五〇六番）
東屬荷扱所大連市山縣通　國際運輸株式會社大連支店　電話三一五一番
二ホーム荷扱所（電話四八〇二番）

日清汽船出帆

●青島上海行
華山丸　五月十四日
唐山丸　五月廿日　正午出帆
代理店　大阪商船株式會社大連支店　電話四一三七番
東屬荷扱店、大連市山縣通　國際運輸株式會社　電話三一五一番

大連汽船出帆

●青島上海行　大連丸　天津丸　[illegible]
●天津行　濟通丸　天潮丸　[illegible]
●登州府龍口行　靜平丸　[illegible]
●名古屋、橫濱行　東嶺丸　[illegible]
●阪神行　煙臺丸　五月廿日

大連汽船株式會社　電話番號代表四一八五番
東屬荷扱店（大連磐島町）永和公司　電話七二七五・七八六八番
阪神航路東屬荷扱店（大連須磨町）澤山兄弟商會　電話五二六五・四六八一
乘船切符發賣所　ジャパンツーリスト・ビューロー大連案內所　電五五五四番

日本郵船出帆

●歐洲行　だかあ丸　松江丸　[illegible]
●北米行　[illegible]

近海郵船大連出帆

●橫濱行　玄武丸　相模丸　[illegible]
●長崎神戸大阪橫濱行　淡路丸　武藏丸　[illegible]
●天津牛莊行　玄武丸　相模丸　勝浦丸　[illegible]
●基隆高雄行　蓬萊丸　[illegible]

朝鮮郵船大連出帆

●青島仁川行　會寧丸　[illegible]
●仁川、長崎、鹿兒島行　羅南丸　五月十三日
朝鮮鐵道各主要驛及本社各寄港地貨物受證發行
右汽車汽船出帆日時は天候其他の關係に依り變更することも有之候
大阪商船海運販賣所　キュナード汽船會社　船客藥播代理店
近海郵船株式會社大連代理店
朝鮮郵船株式會社大連代理店
日本郵船株式會社大連出張所　大連市山縣通　電話三七三九・七八四六
客荷取扱店　丸二商會　電話（四）一六四・五八八八番

島谷汽船出帆

●朝鮮裏日本北海道行　大成丸　五月二十日　六月四日
寄港地　鎮南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、境、宮津、舞鶴、新舞鶴、敦賀、伏木、函館、小樽、各等客室設備あり

●北海道樺太行　長成丸　五月十二日
寄港地　鎮南浦、仁川、釜山、舞鶴、敦賀、伏木、新潟、舟川、函館、小樽、大泊　各等船客設備あり

島谷汽船株式會社大連出張所　大連山縣通一五三
代理店　大三商會　電話四七二一・三四八二番

高橋汽船大連出帆

●命令定期大連芝罘線　芝罘行　福壽丸　五月十日後六時
●命令定期大連龍口安東線　安東行　海壽丸　五月九日後三時
大連加賀町三〇
代理店　松浦汽船株式會社　電六一一七・三八五一番

政記輪船出帆

廣利號　五月九日威海、青島
永利號　五月九日後六時芝罘
中華號　五月九日橫濱、清水
廻安丸　五月九日上海
有利號　五月十二日安東
同利號　五月十二日泉州、興化
政記輪船股份有限公司　電話四一四一番

阿波共同汽船

●威海衛青島行　第十六共同丸　五月十四日　前十時
●芝罘、威海衛、仁川行　第廿六共同丸　五月十四日　後七時
●芝罘、威海衛、青島行　第廿一共同丸　五月十二日　後七時
●芝罘青島行　第卅六共同丸　五月十日　前十時
●鎮南浦行　長山丸　五月十五日
滿鐵とは貨物連絡取扱致候
大連市山縣通二〇〇番地
阿波國共同汽船會社大連支店　電長六八九一・五〇〇一